

今月の言葉

このところ、アジアの近隣諸国からの密入国が相次いでいる。つい先日は博多港の海上保安庁の目と鼻の先に、百三十数人もの中国人が密入国した。幸いに翌日には全員逮捕されたが、言葉の通じぬ彼らから、一人一人調査を取る作業自体大変なことと思われる。今や特定の地域に限らず、日本の総ての海岸線でも漏らさぬ警戒線が敷くとなると、とても海上保安庁と警察の組織力だけではお手上げなのではあるまいか。

かの天安門事件の折、日本政府が人権問題として中国を非難したら、「共産党政権が崩壊したら、数百万単位の難民が日本に押しかける事になるだろうに、日本政府はいかされるおつもりか」と中国政府首脳が半ばどう喝したことも、

密入国ラッシュ

丁度いいから奴隷のようにこき使え、とは絶対ににならない。この事自体は国のレベルとして豊かであり文化レベルの高さを象徴するものであるが、一面、島国故の経験不足と言う側面も大きいのではないだろうか。確かに歴史的には日本民族は

第21回通常総会および懇親会



去る六月十四日、東京・明治記念館において、第二十一回通常総会および懇親会が盛大に開催された。出席者は、警察庁からは警察庁長官以下幹部、警視庁からは警視総監以下幹部、警視庁機動隊十隊より隊長、関東管区警察局長、同公安部長以下関東管区機動隊幹部等、計百六十名を迎え、本部会員、他支部会員百七十名と、多数の参加を頂きにぎやかに行われた。

通常総会では、定款に定めた過半数の出席を得たことで、鈴木理事長を議長として次の議案が審議された。

◆第一号議案
平成五年度事業報告お

よび平成五年度収支決算承認の件
第二号議案
平成六年度事業計画案および平成六年度収支予算承認の件

これらの議案はすべて満場一致で可決され、総会を終了した。

つづいて、来賓と警視庁機動隊員等との懇親会に移った。

はじめに、鈴木理事長が開会の挨拶で総会が滞りなく終了したことを報告し、「先ごろ、沖縄への警備に出動された隊員が果民より励まされたという話を聞き、大変うれしくなった。今後、物心両面から隊員の方々が勇気百倍になるような応援をしていきたい」とその決意のほどを話された。続いて、当会の運営に多大な貢献をした功績者の方に鈴木理事長より、佐藤正忠氏、上原明氏、南敏子氏、佐々木喜朗氏、杉尾栄俊氏、岡部亨氏、次郎丸嘉介氏、

藤光正治氏、北澤仁氏の八名に感謝状が贈られた。また、永年励ます会の常任理事として事務局を統括し、新会員の勧誘などに尽力なさった麻生博氏に、表彰状が贈られた。

次に来賓として警察庁長官城内康光殿より「機動隊員は毎日忙しい日々を送っている。気力・体力は十分に練磨されているが、最近では以前と比べベテロの手口も悪質化し、少しのすきも許されない警備が必要になっている。そのような中で、常日頃からご支援を頂き、本当に感謝している。今後も、ますますの応援をお願いしたい。」と述べられた。続いて、警視総監吉野準殿より「本年警視庁機動隊では、女性の活躍の場を広げようと、五十一名の女性機



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 實
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)



▲受賞者の方々



▲受賞者の方々



▲麻生 博氏



▲警察庁のご協力により過激派の使用している模擬催涙弾を展示しました。

警備日記 Part.1

近年の警備で印象に残った出来事について皆さんの話を伺いました。

『警備日記』

関東管区機動隊

川頭 栄二

「楽しかったこと」より「苦しかったこと」の方が後に良き思い出になると言われますが、まさに、この一年は私の心のアルバムに「良き思い出」として綴られた一年でした。

千葉県警で一番若い管区機動隊員と言われた昨年、共に入隊した者ほとんどが訓練経験者という中で、生まれて初めてコテやヘルメットを着け、大桶を持った私の不安といったら、それこそアドレナリンが全身を駆け巡る感がありました。

「ヤー、トー、ヤア、ヨシッ」の掛け声を掛け、声が小さくなれば先輩に「声を出せ、気合を入れろ」と叱咤され、いつ終わると知れず走った新隊員訓練。空港反対闘争警備に従事中、連日連夜の勤務に疲れ、いたる所を蚊に刺されたのも気づかず熟睡したバスの中の仮眠。真夏にクーラーの効かない遊撃車で警戒中、余りの蒸し暑さに窓を開け、「バカヤロー火炎ビンを投げつけられたらどうするんだ」と肝も縮むほど怒られたこと等。今となつては良き思い出です。

こんなことのごく良き思い出かと思ふかも知れませんが、私はひとつひとつの動作や活動の在り方や位置づけの重みを知り、それを実践する苦しさを感じ越え、初めてそれが良き思い出に変わるのだと思うのです。

訓練に備え、男を磨くのが機動隊。私の思い出作りは今日も続く。

『通りやんせ』

中部管区機動隊

辻 昭彦

昨年十月、我が石川小隊は、東四国国体の警備警備に当たった。任務は、鳴門市役所周辺におけるエリア警戒であった。

緊張した警戒の中、シャッターという口を開け、不審者がいますよ、と言いたい気なビルを発見した。ビルの外窓からは、中の灯りや人影は見えない。しかし、このまま放置する訳にはいかない。自分のエリアでは、蟻一匹たりとも絶対に見逃してはならないのだ。

私は検案に当たった。ビルの隅から隅まで隈なく調べた。異常はなかった。と、その時「ガラガラガッシャーン」——ビルの内に不吉な音が鳴りひびいた。血の気が引く。頭の中が空白となった。私は、転がるように階段を下りて人口へと向かった。そこには、ただ暗闇だけが広がった。無情にもビルは、その口を開き出してしまっていたのである。クジラの腹の中の「ビノキオとゼベツじいさん」の心境である。

私は考えた。ビルの屋上から大声で助けを呼ぶことはたやすいが、県警の大きな恥になる。管機の笑い者である。また、ビルの横の塀に飛びつければ、なんとか脱出できるかも知れないが、失敗すれば当然大怪我である。どちらも怖い（？）選択だった。

次の瞬間、私は塀に飛びついていた。『行きは良い良い帰りは悪い。恐いながらも通りやんせ通りやんせ。』

『現場で勝負』

中国管区機動隊

岩室 浩

平成五年三月に管区機動隊員に指定されて以来、沖縄、奈良、千葉、徳島そして島根へと特別派遣されましたが、最も印象に残っている出動は、初陣でもありました第四十四回全国植樹祭警備のための沖縄

県への特別派遣です。広島管機の任務は天皇・皇后両陛下の泊れたハーバービューホテル周辺のエリア警戒と沿道警備でした。沖縄県は、第二次世界大戦で多くの方が犠牲となったところであり、また初めて天皇・皇后両陛下が行幸啓されるということ、私たちは「絶対何かある」「不審点があれば自分が納得するまでそれを解明するんだ」「現場で勝負するんだ」と心に刻み込み、一生懸命与えられた任務に取り組みました。このような勤務の中で、県民の皆さんからの「頑張つてね」との温かい励ましや言葉は二交代制の長い勤務の苦しさなどを一気に吹き飛ばしてくれ、沖縄の人情のぬくもりを感じ、今もって嬉しく思っています。

約二十日間の長期にわたる任務を完了した時は感動もひとしおでした。

さて本年十月には広島県に於て第十二回アジア競技大会が開催されます。このため私たちは開催地の名に恥じない最精鋭の部隊となるべく訓練に励んでいるところです。

私は、沖縄県特別派遣で心に刻んだ、現場で勝負を忘れることなく、資質の向上を図り、実際の現場に即応でき更に臨機応変の部隊活動ができるよう、訓練に励んでいきたいと思っています。また併せて広島へ特別派遣される隊員の皆さんに広島の人情をわかってもらえたらと思っています。

『闇夜のカラス』

四国管区機動隊

大田 卓

平成五年四月、私にとって初めての出動が沖縄県での全国植樹祭警備警備でした。入隊後すぐということや、米軍基地があるというような沖縄県の特長な地域性に様々な不安や緊張感を持ちながら松山空港を飛び立ちました。

沖縄県での任務は、主に極左車両に対する検問で、時間、場所に応じた検問を実施していた時のことでした。時間は午後十一時ごろ、場所はひめゆりの塔の近くで、辺りは交通量も少なく、人家もまばらな場所。街灯もなく真っ暗な場所でした。私は幽

霊が出るにはびつたりな場所やな」と思いますが、車が来るのを待っていました。すると向こうの方からヘッドライトの明かりが見えたので、気合を入れて車を停車させました。そして、職質をしようと運転席に近づき車の中を覗くと、なんと運転手の姿はありませんでした。私は思わず「出たー」と声を出し後ずさりしました。

その時です。運転席の窓ガラスが開き、真つ暗闇の中にぎよる目と白い歯が浮かび上がり、「ハーイ」と声が掛かりました。よく見るとここにいた黒人が運転していた。

『警備日記』

北海道警察機動隊

椿 義幸

言って、ルームミラーに映る部隊員の疲れた表情を見ながらハンドルを握っていました。先輩と運転を交代して約十キロ位走行した登坂の途中で、信号待ちをし、発進しようとした時、後方から異臭が車内に立ち込めエンジントラブルをおこしてバスが前に進まなくなつてしまつたのです。

結局、輸送車は修理不能となり部隊員は約四時間、故障したバスをのりながら札幌から代わりのバスが迎えに来るまで待機することとなつたのです。私は、「俺にまかせろ」と言つて間もなくの出来事であり、激務に耐え疲労困憊の状態に帰隊する隊員に大変な迷惑をかけてしまひ、本当に申し訳ないことをしたと思ひました。家族に会うのを楽しみにしている隊員等、皆早く帰りたいはずでした。

しかし、部隊員は誰一人として嫌な顔をせず、修理に当たる私を励ましてくれました。故障原因はどうであれ、車両担当者として最高の状態で車を走らせることができなかったことや、整備技術が未熟であった等の自分の失敗を反省している次第です。今後は車両の事前点検や整備技術の向上を図り、与えられた任務を全うする様に心がけています。

当時、乗車されていた隊員に、改めて心からお詫言ひ申し上げます。

『物騒な音』

宮城県警察機動隊

佐々木 金美

平成五年六月九日、皇太子殿下ご成婚当日、当部隊は前日からの徹夜勤務、容赦なく降り続く春雨の中、ゲリラ事案の絶対封圧、パレードの無事完遂を目指し、意気盛んにエリア警戒警備に従事した。

我々第一小隊の警戒担当区域内には寺院が多く、皇居方向には迫撃弾の発射可能なスペースがあるため、各班毎気を引き締め警戒を実施した。

午前零時回り、冷雨で体も凍えきつた時、「ガサガサ」と墓地内で不吉な物音が

私は乗車している隊員に、「任務ご苦労さん、後は俺にまかせろ」と

した。
寒さで震える体を武者震いに変えながら、相動者と物音の方へ素早く駆け寄り、強力ライトで照射したところ浮かび上がったのは、なんと「ヒキガエル」だった。我々は顔を見合わせ、苦笑いするとともに、蛙でよかったと思いつつ、更に気を引き締め警備を継続した。
刻々と時が過ぎて、空は天を覆い尽くす真つ黒な雲。
しかしパレード直前、奇蹟的とも言える一筋の光明が射し、みるみるうちに青空が広がり、まるで皇太子同妃殿下の乗ったオープンカーが国中に幸福感を振りまいたようだった。
そして歴史的な大警備を無事完遂することができた。
私は部隊の完璧なまでの警備が奇跡を呼んだと感じるとともに、一匹の蛙にも気を集中して臨んだこの気概が雨を光に変えたものと信じている。

『飛び出し』
奈良県警察機動隊
上園 義久

平成三年五月二十六日、京都府宇治市において「第四十二回全国植樹祭」が開催され本県機動隊は、近畿連合県機として難路対策沿線警戒の任についた。
和歌山県機動隊・山本中隊長指揮下、第二小隊長代理としての支援派遣は、私にとって重責であった。
警備警備第一日目、中立売警察署管内の第一勧銀丸店から府立勤労会館までの沿道警備についた午前四時十分ごろ、『府立勤労会館前で飛び出し』の無線を傍受した私と伝令は、走りについて現場急行。
伝令は中隊長へ無線通報しながら私についてくる。
現場到着後、事案の概要を隊員から確認したところ、お通過時に歩道から、人のご婦人が手を振りながら中央分離帯に向かって走り出したが他の隊員と協力し制止したとのこと。全神経を集中したこの事案も

「只々近くにきて見たかったです」と話す婦人の一言に事なきをえて、吹き出る汗を止めることが出来なかったのは私一人だったのだろうか。
『ご身辺の絶対安全確保・歓送迎者の事故防止・皇室と国民の親和に配慮し』の任務付与が、強烈に差し迫った植樹祭警備警備も隊員個々の努力により完遂することが出来た。

『沖縄出動にて』
佐賀県警察機動隊
寺戸 剛

私は、平成五年四月、第四十四回全国植樹祭に伴う警備警備のため、沖縄県派遣を命ぜられた。
我々、九州連合県機佐賀小隊の任務は、修復工事も終了し、かつての華麗な姿を見事に再現した「首里城」の警戒警備であり、そこは天皇・皇后両陛下が沖縄で最後にご訪問される最も重要な施設でもあった。
我々は城内の検索、及び不審者の発見に最重点を置き、連日慣れない環境と見えな敵を相手に気を張り詰めていた。
そんなある日の事、私は同所の若い女子職員に協力を求めて、城内の公衆トイレ内の検索を実施していた。
公衆トイレ、特に女子トイレ内は男子警察官にはなかなか検索しづらい箇所であると同時にそれだけに厳重な警戒を要した。
私が警杖でゴミ箱の中等を検索していると、傍らの女子職員が素手で汚れたゴミ箱の中をかき混ぜ、調べている姿が飛び込んできた。
私が警杖を貸すので「使って下さい」と言ったところ、「素手を使わなければ徹底した検索は出来ません」と意外な答えが返ってきた。
その時、我々の申し出に対して積極的に応えてくれたことに感謝するとともに、私の取った行動を強く恥じた。
我々警察の任務は、国民の理解、協力なしには決して達成することが出来ない事を改めて体験した出来事であった。

便送直情報機県

『新隊員を迎えて』
北海道警察機動隊
隊訓・正義、融和、根拠を掲げた隊旗の下に、また新たに使命感に燃えた「若い息吹」が吹き込まれた。
しかしこの新隊員達は、小隊に一足早い「春」をもたらしてくれた。
わが小隊は、この新隊員を含め北海道の厳しい自然環境の中、揺るぎない精神と体力を身につけるため、小隊長以下一丸となり、厳しい訓練に励む毎日です。
我々釧路方面小隊は、「北方領土」と指呼の間に迫る、日本最東端である根室を管轄しています。
四月下旬には「ロシアとのビザなし渡航に伴う右翼警備」を通じて、小隊の士気も一層高まりました。
この、丹頂鶴の舞い降りる自然豊かな美しい街の治安が「我々の双肩にかかっている」そう思うと大柄を握る拳に自然と力が湧きます。今年も様々な警備事案が予想されますが、わが小隊は今日も釧路の代名詞である霧の中道東の大地を駆け抜けています。

『経験こそ財産』
福井県警察機動隊
昨年、年は、県内外の警備警備や災害警備出動などが相次ぎ、とにかく忙しかった一年でありました。特に当県では、海、河川、ダム湖における水難救助出動が多発し、隊員もいろいろな知識・技術を身につけることが出来ました。
なかでも昨年の暮れ、ダム湖へ転落水没した車両の捜索は、折りからの雪で路面は凍結し、現場へ到着したのは三時間後という大変厳しい条件の下での出動でした。
断崖絶壁、猛吹雪が横殴りに顔をたたき、氷点下の気温は濡れたレギューターを次々と凍らせた。
「自分が凍死してしまうのでは」という恐怖心と「早急に救出しなければ」という気持ちの交錯する壮絶な救助活動を展開し、経験こそが最大の教訓であると痛感させられました。
それから半年経った現在、スクーター・ボート、水中ロボット、水中スクーターなど水難救助活動用の装備の充実が図られ、救助活動がより、層強化されました。
現在、これら最新装備の習熟はもちろ



- 治安の砦
信頼の機動隊
- 栗田工業 (株)
 - 高周波熱錬 (株)
 - 三榮商会 (株)
 - 山陽特殊製鋼 (株)
 - 大洋製鋼 (株)
 - (株)日鐵流通センター
 - 村山文雄
 - (株)上野百貨店
 - 大東港運 (株)
 - 姫田清美
 - (株)クボタ
 - 国見山 (株)
 - 岡谷銅機 (株)
 - 豊田通商 (株)
 - 太陽シャーリング (株)
 - 広島シャーリング工業 (株)
 - 藤田金属 (株)
 - (株)辻さく
 - 自見産業 (株)
 - 北海鋼機 (株)
 - 東北支部
- (社)機動隊員等を励ます会

者場の読



テレビ

柳田 敬介
(理事)

えた。街から南にのびる谷の方向が、うまい具合に生駒山に向いていたのである。そうすると、中学生どもは八キロの峠を苦にもせず、自転車こいでテレビ見物にいく。プロ野球オールスター戦で、タイガースの藤村がだいこん切りでホームランを打ったのを見たのも、となり町のうどん屋のテレビだった。

高校を卒業して東京に出てくると、毎日テレビが見られる「文化生活」。「千代の山対若ノ花」の水入り大相撲など思い出深い。もともと、東京のどこの家庭にもテレビがあったわけではない。受像機がいかにも大切そうに、仏壇のような立派なケースに収められていた時代である。

アメリカから生中継の初放送が「ケネディ暗殺」を報ずるのを、会社の独身寮で見たし、宇宙飛行士アームストロングが月面に降り立つ光景は、会社をぬけ出して、T会館のロビーで見た。

思いめぐらせば、テレビで見たあの映像、この情景。テレビを見ながら生きてきたようなものだ。このごろは、すこしヒマな時間があるとすぐスイッチ・オンするわたしの背中に「いづれあなたの老後はテレビ三昧ね。」とひやかす女房の声がある。

円高に思う

岡谷 篤一
(理事)

円高により海外との取引形態は大きく変化しています。海外出張についても過去は輸出先である海外取引先への、比較的長期に亘る定期的な挨拶回りが主でありました。それが今、東南アジアでは合併事業も軌道に乗り豊かになった現地企業よりの訪日を受けて、パートナーも我々情の視察等もし、帰国します。

米・欧州では、国内取引が増加し現地への権限委譲も進み、本社よりの出張は形式的なものとなり回数も減りました。成長著しい中国のみは、旧朋友を大切に訪中の機会も増えて時には近隣国であり一泊二日の海外出張と頻繁な往来です。

そして我が国企業の海外進出により、取引に占める日系企業の比率は年々大巾に増加しているのが現状で、今後更なる国内産業の空洞化も懸念されます。しかし、積極的な我が国企業の海外進出により現地化による経験を通じて、各社の国際競争力なり協調力は格段と強化され、その多国籍化の進展を大変心強く感じる次第です。

一方円高によって様々な社会現象も生じました。その昔在留邦人の米国の生活は、財布、家計簿と呪めつこの厳しい現実が待ち受けていたが、今や円高メリットを一時的に享受し内外価格差を実感出来る海外旅行が史上最高のブームです。反面ドルベース世界一の物件費に閉まれサービスを受ける国内旅行は、一泊旅行が欧米の一週間パック旅行にも相当する贅沢な旅となり、とても世界一の所得とその生活実感は感じません。連休中、久しぶりに名古屋から東京へドライブをしました。

まず名古屋インター手前の東山動物園付近が大渋滞し動きがとれませんでした。そして道中混雑もありましたが、全国の賑わいはなく、近隣のドライブ中心の連休道路事情と見受けられます。休日数は欧米に近づきましたが、旅行靴を満載した大移動の車列を見る海外連休風景は羨ましい限りです。

制緩和・市場開放により国内市場でも調和良く円高を享受出来る改革努力が急務だと思います。当社もイメージチェンジの輸入住宅を取扱いはじめ、一年とになりますが、規制の緩和も徐々に得ながら、デザインの斬新さとともに価格面でも円高を反映し入居者の生活に大きな満足感を持た

去る五月三日から十二日まで、洋上大学が開催され、警視庁・大阪・京都から機動隊員の方々も数名参加されました。機動隊員としての視野を広げ、国際交流を広げる良い機会であることから、当会からも心ばかりの激励を致しました。

「洋上大学に参加して」

警視庁第三機動隊
土田 信夫

私は、豪華客船「ふじ丸」でグアム・サイパンを巡るという洋上大学に参加する機会に恵まれました。飛行機での海外旅行があたりまえの時代の船旅ということ、強く参加を希望し念願が叶ったのです。

五月三日、肌寒く、曇り空の東京晴海港を大勢の人に見送られて船長以下約四百名を乗せたふじ丸は十日間の日程のもと、一路グアムに向けて出航しました。警視庁からは、男女合わせて十二名が参加しました。同じ警視庁とはいってもほとんどが初対面であり、また船酔いなどの不安がなかった訳ではありませんが、参加者の自主運営による「硫黄島慰霊祭」「班単位による演芸会」等の行事を通じてし

だいに打ち解け友情を深めることができました。海の色は、日本近海では見ることのないマリンブルーで、海を眺めているだけで、別世界にいるような感じがし、遥か彼方に水平線ならぬ水曲線が見え地球が丸いということを実感することができ、また星座スタディで教えていただいた南十字星を見たとき宇宙というものがいかに大きいものかを改めて知り、その輝きを脳裏にしっかりと焼き付けてきました。出港から四日目、ついにグアム上陸。現地の人々の歓迎のダンスに出迎えられる地美人にレイを首に掛けてもらい上機嫌になりました。また、五日目のサイパンでは大戦中、多くの人が玉砕したバンザイクリフで慰霊祭を行いました。岸壁には無数の弾痕が今でも痛々しく残っており、この島を観光として訪れることのできる平和の有り難さを痛感させられました。

思い出はつきませんが、地球の大自然に直に触れるとともに普段交流のない職域の異なる多くの若者と寝食をともにし星空の下で語り合った体験は今後の私の人生における貴重な財産になったと確信しています。

お知らせ

◎七月十四日(木)午後四時三十分より、千葉市中央区千葉港「千葉グランドホテル」において、千葉支部総会を開催致します。

電話〇四三二四一四一〜二二一

◎九月二十日(火)午後五時三十分より、新潟市下大川通「新潟グランドホテル」において、北陸支部総会を開催致します。

電話〇二五二二二八六一一
多数のご参加をお待ちしております。



今月の言葉

それは梅雨の合間の快晴の一日でした。二十四時間操業の関西国際空港の建設計画が決定されてから、標題の成田空港の二の舞はするな、のスローガンを合言葉に大阪府警察本部がその総力を結集し、血のじむ様な訓練を重ねてきたその成果が、間もなく全国民の前に披露されようとしている。

来たる九月四日、新装なった関西新空港から、一番機が全世界の注目を集めて飛び立つ日である。

宣伝もパフォーマンスマスも余り派手

繰返すな

成田空港の二の舞を

精鋭約千六百名が、数年来鍛えに鍛えてきたその成果を一般に公開する晴れの舞台である。

な雰囲気、満ち満ちていました。海上空港の為、陸海空一体の迫真の訓練に観衆は惜気ない拍手を送る

と同時に、九月四日の開港が無事終了します様心から祈りました。

最後に関口本部長殿の訓示にも「機動隊は集団警備の中核であり、社会治安維持の最後の砦である。この上更に訓練に訓練を重ね、緻密にして精強な部隊作りを専念する様」に」と大阪府警全体の厳しく断固たる決意の程がはとばして見えました。

聊か判官びいきの面があるかも知りませんが、本当に心から有難う、御苦労様といえる一日でした。

(副理事長・大阪支部長 木村 政次)

目標完遂を誓いあい 第18回中国支部総会開催



第十八回中国支部総会ならびに懇親会が、去る六月二十七日午後六時より、広島市内の「広島国際会議場」において盛大に挙行された。

出席者は、来賓として中国管区警察局長堀川和洋殿、広島県警察本部長代理・警務部長永井和夫殿をはじめ幹部の方々、また、若さはつらつとした機動隊員の多数の皆様を迎え、その数は百余名となった。当会からは、本部役員、支部役員をはじめ他支部からの参加、さらに新会員も二十五名程加わり、二百二十名ほどの参加となり、会場は立錐の余地もなく熱気に溢れていた。

中国管区警察局長
堀川 和洋殿



広島県警察本部長
代理 警務部長
永井 和夫殿



会は理事・中国支部役員、南部建材工業株式会社楠部社長の司会で進められ、まず中国支部を代表して理事・中国支部長、堀口海運株式会社堀口会長が挨拶に立ち、社会が多様化している今日、我が日本の治安が安定し、安心して暮らせるのは機動隊員皆様のお陰であり、日頃からの警備活動に対し、感謝の意が表明された。

そして、本年は広島市として最大のイベントとなる広島アジア競技大会(十月二日から十月十六日)を控えており、成功裏に終わらせるのが広島市民として最大の目標でもあるので、引き続きよろしく願いたい。さらに、当会としては益々会員を増やし、支援活動の輪を広げていくとの力強い挨拶があった。

ついで本部を代表して木村副理事長が挨拶に立ち、機動隊員の皆様のお陰で枕を高くして眠れる事に感謝する。また広島アジア競技大会においては、日頃の實力を発揮され無事終える事が

祈っている。支援活動においてもハワイ派遣の増枠も決まり、ますます激励の輪を広げて行きたい旨の意思表示がなされた。

続いて来賓のあいさつとなり、中国管区警察局長・堀川和洋殿より、日頃から物心両面にわたり協力頂き、非常に有り難く思うとお礼の言葉とともに、現下の社会情勢について説明があり、治安維持のため更に引き締め業務を積極的に推進して行く旨の決意表明があった。ついで広島県警察本部長代理・警務部長永井和夫殿より警察行政へのご理解を頂き、大変有り難く感謝している。三年連続して大型警備が続いているが、我々としては、治安水準を落とす事は絶対に許されるものではなく、機動隊員全員一致団結して頑張っていく。今後一層のご理解、ご支援をお願いしたいと述べられた。

引き続き中国支部に対し広島県警察本部長殿より、長年に亘り警察活動に対する深いご理解とご支援に対し感謝するとして感謝状が授与された。

挨拶も終わり、理事・名古屋支部役員、松田鉄鋼株式会社松田社長の乾杯の音頭のもと、懇親パーティーに入った。隊員と会員の杯はなごやかな内に進み、会場は時間を増す毎に熱気が高まって来た。

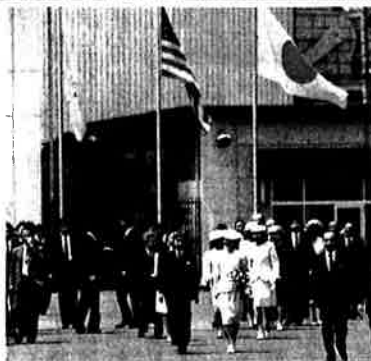
かくする中、アトラクションの時間では、機動隊員と会員が交互に壇上に立ち、カラオケ大会となり、会場は熱気に溢れた。こうして時間も経過し、機動隊員全員で「この道」を合唱し、理事・中国支部役員、山陽鋼業株式会社丸橋社長の音頭で万歳を三唱し、盛大を極めた懇親会を閉会することとなった。

(浜口 高 記)

天皇皇后両陛下

アメリカをご訪問

警視庁



▲ご出発の両陛下

去る六月十日から二十四日まで、天皇皇后両陛下は日米親善を目的とし、アメリカ合衆国をご訪問された。

天皇皇后両陛下は、十七日間の日程でアトランタ、チャールストン、ワシントンでの大統領夫妻との会見のほか、ニューヨーク、デンバー、ロサンゼルス、サンフランシスコ、ホノルルなどの十都市をご訪問された。

これに対して、極左各派は、「天皇訪米実力阻止」等を掲げて、集会・デモを行った。また、右翼団体は、パレードを行うなどの動きが見られ、警視庁では、出発日には一万五千名を動員して警衛・警備にあたり、その任務を無事に遂行された。

私の抱負

～婦人警察官機動隊員特集～



この春、新隊員に混ざって51名の婦人警察官機動隊員が誕生しました。厳しい新隊員訓練を乗り越え、現在はそれぞれの配属先で先輩隊員らと共に警戒警備に当たっています。彼女達に今後の抱負を伺いました。

警視庁第一機動隊

齊木美知江

警視庁第二機動隊

佐藤智佳子

第一機動隊に入隊して、早くも二カ月が経過しようとしています。

入隊した日、「今回はいつもの転勤とは違う。これから新しい道を築いていくため責任が重大である」と感じました。

四月二十五日、「婦人警察官機動隊発足式」で警備部長より真新しい隊旗を授与された時、「これからどんな辛いことがあっても、五十一人、力を合わせて頑張っていこう」と心に誓いました。

五月二日、無事に「警備部長査問」も終わり、それぞれ配属となりました。

私は現在、警備係で勤務しています。右も左も分からない状態で、周囲が忙しく働いている中、何も出来ずにただ見て

いるだけ……という毎日ですが、早く仕事を覚え、どんな警備計画も最初から最後までやり遂げられるようになりたいと思っています。

当面は、墨田川花火大会の雑踏警備計画を担当するメンバーに入れて頂いたの

で、皆さんの指導を受けながら婦警の運用などを含め、警備計画の中に「女性らしい細やかさ」が反映できるように頑張っ

ていこうと思っています。又目標の一つでもある警部補昇任試験合格に向け、精一杯努力したいと思っています。

平成六年四月、全国で初の婦警機動隊員として第二機動隊に着隊し、早いもので二カ月が過ぎました。

当然のことですが隊内どこを見ても男子警察官ばかりで、最初は少し圧倒され、緊張の連続でしたが、今はすっかり慣れ、わがもの顔で隊内を歩き回っています。

初めてのことで何をしても注目され、やりにくい面や、多くの期待を背負って強いプレッシャーを感じることもありますが、まずは自分に負けないよう、ひとつひとつ愚直に経験を積み重ね、先輩達の為にも婦警機動隊員という職域がしっかりと定着し確立されるよう努力していこうと思っています。

ところで、私の所属する第二機動隊には警視庁ボートクラブがあり、その活躍ぶりは有名で、そもそも私が機動隊勤務を希望したのは高校時代のボート経験を

生かしたいという理由があったからなのですが、幸い、入隊と同時に女子ボートクラブが新設され、日夜各種の大会出場を目指して訓練に励んでいます。スター

トしたばかりで、二十四年という長い歴史の輝く伝統ある男子部には及びませんが、女子部は少数精鋭主義で頑張っ

て行こうと思っています。

完全装備、大桶を持つての新隊員訓練時には『何でこんな恰好で隊庭を走っているのだろう、こんなことをしていない

婦警さんだつて沢山いるのに、いや、こんなことをしている婦警さんの方が絶対少ない』などと思うこともあり

ました。そんな時、家族との会話で、小学校一年の長男に「お母さん明日も頑張っ

てね」と励まされ、ふと我に返りました。本来なら新一年生の子供の親としては学校生活など不安が尽きないはず。それが私は逆に子供に励まされているのです。

警視庁第三機動隊

原 富美代

最近では、多少の不安はありますが、機動隊というのは、目まぐるしく変化する

社会情勢に対応できなくては、仕事にならないという覚悟が出来てきました。今日の警備が無事終わったからと言って

ホッとしている間もなく明日の準備をしなければならぬのです。

退隊する時、機動隊で勤務できて良かったと言えるよう、又家族の理解と協力に感謝しながら充実感の味わえる仕事が出来よう頑張りたいと思います。

警視庁第四機動隊

松村 真理

着任してから早いもので二カ月が過ぎました。隊全体の雰囲気にも慣れ、今では最初の不安はなくなりました。

私には二つの目標があります。一つは情報管理課で照会業務に従事することです。前任署で何度か照会してもらい、実際にやってみたいと思うようになりました。

そのためには、通信を勉強しなければいけません。早く仕事に慣れ、目標に少しでも近づきたいと思っています。同時に

せっかくなので、色々な資格を取得し、機動隊のプロになるために、日々努力していきたいと思っています。

二つ目の目標は身体を鍛えることです。体力は人並みにあると思っていました

が、同じ靴を履いているのに、今日初めて足の裏にまめができて、自分の弱さを思い知らされました。又、夏が苦手な私としては

はとんと近づいてくる厳しい夏に向け、体力をつけておかなければとじみじみ思

います。以上、二つの目標にどれだけ近づけるかが今後の課題ですが、とにかく一生懸命頑張ろうと思います。

警視庁第五機動隊

日原 房栄

婦人警察官の職域拡大が叫ばれてから様々な分野に私達の同僚が進出していま

す。私自身、警察署で防犯係員として、その一翼を担っていました。

そんな中、突然機動隊へのお勧めを受けました。機動隊員を夫に持つ私に、まさかこのようなお話が来るとは思いも

ませんでした。機動隊は男の仕事の代名詞。どんな仕事か私を待っているの？婦

警特機とは違うの？など不安一杯でした。しかし魅力もありました。

社会の仕組みが女性の力を必要としてきている中で、職域拡大はより大きな流れになつて行くに違いありません。機動

隊の女性起用もその流れの一つでしょう。入隊して二カ月。新隊員訓練や様々の

勤務を短い間に体験しました。今は天皇、皇后両陛下ご訪米に伴う警備に従事して

います。まだ見習いの域を出ないというのが実情ですが、一日も早く機動隊の仕事

を覚え、第一期生という名前に恥じない、そして男子機動隊員に負けない立派な機動隊員を目指して頑張ります。

警視庁第六機動隊

望月 希

四年前、私が婦人警察官を志した頃は、まさか機動隊員になるとは夢にも思いません

でした。その頃から婦人警察官の職域拡大で、女性白バイ隊や航空隊などの活躍が目立ってきましたが、機動隊は女

性には動まらないものと思っていました。そのような中、今回、機動隊に初めて婦

人警察官が配属されることになりました。現在は、男子隊員とは同じ勤務をさせていた

が、充実した日々を送っています。しかし、それは一生懸命男子隊員の真似をして

いるだけで、本来の女性機動隊員としての仕事と呼ぶには充分ではありません

私はここで女性にもできることではなく、女性にしかできないこと、女性だからこ

そでできる何かを見つけないと思っています。今は、まだ何も分からず、無我夢中の毎日ですが、いつか機動隊に婦人警察官

がいてよかったと言われるように、婦人警察官機動隊員の一期生として、新しい道を切り開いていきたいと思っています。

警視庁第七機動隊

松島 宗海

婦人警察官機動隊員として、第七機動隊に五名が着隊しました。厳しい訓練を

終え、現在は男子警察官と同じ勤務をしています。皇居や首相官邸などの重防警

備、けん銃を着装しての当番勤務など、全てが新鮮でかつ、緊張の毎日です。

当隊は「若獅子の七機」のニックネームで呼ばれる通り、若い隊員が早朝から

若獅子の如く走り回っています。私も機動隊員の一人として、強さの中にも女性としての優しさ、スマートさを忘れず、

頑張っていきたいと思っています。

正直なところ、辛くて泣きたくなることもあります。しかし、「私が首都東京を守るのだ」という使命感と、都民から

の「苦勞様」というねぎらいの言葉が「弱音なんて吐けない。頑張ろう」という気持ちにさせてくれます。

これからも、辛くて悲しい時も常に笑顔を保ち、勤務に当たりたいと思っています。

まだ生まれたばかりの子獅子ですが、進んで仕事を覚え、早く本物の若獅子になれるよう、自己啓発してゆく所存です。

警視庁第八機動隊

山岸 香織

婦人警察官機動隊員として第八機動隊の門をくぐって早や二カ月になります。初めての転勤、初めての婦人警察官の機動隊採用ということで、右も左も分かりませんでした。最近やつと及ばずながらも中隊になんて来れました。

婦人警察官機動隊員第一期生に先人は無く、私達の一步一步が歴史になると思うと、責任は重大なことだと思います。とかく機動隊は男の職場そのものという印象がありました。その中に私達が入隊したということは、「女だから」といった甘えは許されるものではありません。

しかし、体力的には差が出てしまします。その差を埋めるためにも、きめ細かい気遣いなど女性としての特性を活かし、努力していきたいと思っています。そして、その中で自分自身に自信をつけ、機動隊での経験を最大限に活かすためにも、色々な資格を取得し、その為の勉強を通じて自分の知らない、経験のない社会についても学んでいきたいと思っています。

警視庁第九機動隊

浦中 ゆみ

中隊に配属されてから、約二カ月。忙しい毎日が続いた。以前だったら『とても私にはできない』と思っていたことも色々とやって来た。

先ずは、けん銃を装着して街を歩くこと。地理案内一つするにしても、『いつ奪われるか』という不安な気持ちがあった。又、パトカーで夜間遊動の勤務に就いたが、前任署でミニパトには乗っていたものの、田舎育ちの私が都会の道路を乗り慣れないミツシヨンの車で、しかも「警視庁」のネーム付きの車を運転するのは、神経の擦り減る思いだった。

その他、どの警戒にしても、ポイントに付くのは自分一人。何かあった時にはどうすればいいのか考えを巡らせる。等々それぞれの勤務が私にとっては一大事である。不慣れた勤務も、隊長はじめ、上司、先輩方の温かい指導と励ましのお

蔭で、今まで続けてくることができた。まだまだ慣れない勤務が続くが常に前向きに、出来ないことを少しずつ出来ることに変えられるよう頑張っていきたい。

警視庁特科車両隊 堺 千代子

転勤の辞令が下りてから二カ月余りが過ぎました。自ら希望して機動隊で勤務している今、何かと不安はつきものであるが、一日も早く一人前の基幹隊員になれるよう努力しているところです。

新隊員訓練を完遂できたことが、今日の自信につながっています。所轄では一生見ることやすることもない訓練を経験し、自分自身が心身共に一回り大きくなったような気がします。どんなに辛い時でも、負けず嫌いな性格を生かし、着隊同期生と助け合ってこれからの機動隊勤務を頑張っていきたいと思っています。

機動隊員としての目標を挙げますと、一つ目は、柔道などの術科に参加して心身の錬磨に励むことです。女性は体力的な差を感じるの、他の隊員の足を引っ張らないように努力したいと思っています。二つ目は、女性らしさを忘れず勤務を全うすることです。いつか「機動隊に婦警は欠くことはできない」と言われるように、明るい職場作りに貢献していきたいと思っています。



便 直 報 情 機 県

『海の白バイ隊』発進!!

大阪府警察機動隊

大阪府警察では、九月四日に開港予定の関西国際空港に対する極左暴力集団のテロ、ゲリラを防ぐため、六月十六日、関西国際空港のある泉州地域を警備する第三機動隊に水上バイク隊を発足させた。水難救助用の水上バイクは全国で十三府県で導入されているが、警備目的を主とした水上バイク隊は全国でも初めて。愛称は「SKIPPER(Sキップパーズ)」(Skip Police Patrol Enforcement and Rescue Squad)で、軽快に水面を飛ぶスキップのイメージと隊員一人一人が艇長であるという意味から命名された。発隊式では、部隊視閲、隊旗授与、三谷秀史警備部長の訓示のあと、空港連絡橋をバックにデモンストレーション走行を披露した。

スキップパーズの任務は、空港島への連絡橋及び対岸のりんくうタウン沿岸での第四十五回全国植樹祭警備

兵庫警察機動隊

第四十五回全国植樹祭に、機動隊員で

構成された「モトクロス隊」が新設部隊として発足した。モトクロス隊とは、山岳、高所などを警戒エリアとする二輪の特別部隊である。隊員はモトクロスのオートバイなど乗ったことのない素人の集まりで、昨年の訓練当初は、乗るというより乗られているという表現が当てはまっていた感であった。しかし、連日の訓練の成果があつてか、みるみる技量は上がつていき、訓練も終わりに近づくと頃には、やつていく本人達もびつくりする程の二輪のプロ集団に変わりつつあった。

この度の植樹祭は、兵庫県北部、但馬の山あいを会場として行われた。会場周辺は険しい山ばかりで現場を見た瞬間、それまでの自信が不安に変わつていった。岩や石、また自分の通っている道幅は一メートル程で下は崖といった命懸けの

パトロールで、機動性と小回りのよさをフルに発揮して警戒警備にあたるという。大阪府警察では、スキップパーズ発足を機に開港警備の万全を図り、安全開港に向けた対策をさらに推進していく。



機動警ら中、勇気を振るい起こしてハンドルを握った。そして不安はいつしか自信に変わつていった。

植樹祭警備も無事終わり、隊員全員が事故もなく任務を完遂することができ、機動隊員としての誇りと自信を胸に但馬を後にした。車の窓から清々しい風が吹き込み、大任を果たした喜びと重なり、何ともいえない爽やかな気分になった。



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|-----------|----------|----------|----------|-------|---------|--------------|------------|---------|-------|-------------|---------|---------|-------------|-------------|-----------------|-------------|-------------|---------|-----------|----------------|---------|
| 暑中お見舞い
申し上げます | 東 鋼 業 (株) | (学) 嘉悦学園 | 高周波熱錬(株) | (株) 周東商会 | 次郎丸嘉介 | 杉 尾 榮 俊 | (株) スチールセンター | 東京テレメッセ(株) | 木 村 政 次 | 黒 田 一 | 谷 本 鐵 鋼 (株) | (株) 西 鋼 | 村 上 益 一 | 丸 定 産 業 (株) | 宮 崎 精 鋼 (株) | 三 和 鉄 構 建 設 (株) | 中 條 鋼 材 (株) | 新 潟 鋼 機 (株) | ブルマン(株) | 不動鋼板工業(株) | (社) 機動隊員等を励ます会 | 東 北 支 部 |
|------------------|-----------|----------|----------|----------|-------|---------|--------------|------------|---------|-------|-------------|---------|---------|-------------|-------------|-----------------|-------------|-------------|---------|-----------|----------------|---------|

者の場の読



人それぞれ

近江 八郎

(理事・東北支部)

人は、顔形も姿恰好もそれぞれに違っており、また心の持ち方、考え方も各々違ったものを持っており、人それぞれであります。ところが何かの機会に、ふとしたことで、或る方が自分と同じ考え方をもち、同じようなことを行なっておられることを知り、非常に親近感を覚えるものであります。更にその或る方が、社会的に指導的立場におられる方は、親近感を覚えて何か大いなる励ましを受けるものであります。私の体験からお話させていただきます。

○禁煙法

私は昭和十六年、二十才よりタバコを吸い始め、最後に禁煙したのは昭和四十六年九月であります。それ迄も二回位やめたのですが、何か大きな事が起きると交渉に夢中になり、勧められるとつい手を出し吸い始めるという具合でした。その都度反省して一二月で止めていました。私は禁煙するときは、まずタバコは自分の身体、健康に合わないんだと自分自身に何度も言い聞かせてから、二三日は無茶苦茶にタバコを休みなしに吸い続けます。タバコを切らした時は、誰かまわす頭を下げて二三日は貰っては吸っていません。二三日すると朝起きた時から口の中、喉の辺りが具合悪く、頭も身体もボーッとすると最悪の調子になり煙

草は見たくもなくなります。その時、それ見ろ、タバコは悪いんだ。図々しく他人に頭を下げて貰って迄吸うなど見つともないではないか。この際禁煙しなさいと自分に言い聞かせて止める訳であります。禁煙初日は人とも合わないように休日に設定します。一三日間が勝負です。さて、ここに当時日本商工会議所会頭(新日本製鐵(株)会長)永野重雄氏の随筆集があります。『禁煙・禁煙の秘訣』として「煙草なら一日に二百本位まで続けてみる」とある日できめんに体に変調がきて苦しくなり、煙草を見るのもいやになる。その時にひと思いにやめる決心をする。一種の逆療法である」とあります。この文を読んで、私と同じような禁煙法をされた永野会長に今迄の倍以上の大変な親近感を覚えました。大阪万国博覧会(昭和四十五年)の移動常任理事會で仙台市に二泊された時、二晩お供したことを憶い出し、あの永野会長が私と同じような考えをもつて実行されたことを思ふだけで、何か「頑張れよ」と励まされている気がしました。

○人に好かれる方法

次に永野会長は、ご自分が実行なされている体験から「人に、もし好かれたいという気持ちがあるなら、まず自分から相手に惚れなさい」と言われています。『人に霊的電波』があるらしく、こちらが「いやなやつだな」と思っていると、相手も奇妙に同じような感情をいだいているし、こちらが相手に真実に好意を持っていると向こうもそうなのである」とも書かれておられます。このことについても、私は昭和十七年二十一年の間戦地で小隊長として数々の戦士激戦中に、幾度か色々と部下に教わり助けられたことから「自分を守る最大の武器は、まず人(部下)を愛する(好きになる)ことだ」と悟らせられ、信条として実行し続けていることを思い出し、これは自分だけのこととして心の中に藏っていたのですが、この永野会長の言葉で改めて

教えられ、何か心に灯がともされたような気がしました。神佛の宏大無辺の愛を心に思いながら、せめて身近な廻りの方々を愛し続けて行かねばと考えています。

世界の孤児に

岩井 榮三

(監事)

過密都市東京の、その都心の過疎化が進んでいる。就学児童の数が年々減り続け、伝統ある小学校の統廃合が目立つて多くなってきた。

日本橋にある当社の近くの小学校もご多分に漏れず統廃合の対象となり、このほど名称も新たに、日本橋小学校として生まれ変わった。幼稚園、学校の他に、区民のための図書館や温水プール、また団体利用のための社会教育館等が併設されて、超豪華な近代設備を有した多目的高層ビルに様変わりした。神田、日本橋は、懐かしい江戸の名残りを随所にとどめる私の好きな町だが、かつての路地裏が次第に消えて、それと一緒にそこを走り回っていた子供達の姿が見かけられなくなつてどの位が経つだろうか? 町中どこにでも彼等の黄色い声が聞かれてこそ、本当に生き生きとした人間の住む町だと言えるのに。新たにオープンした、まるでホテルのラウンジのようにゆったりとした図書館の静けさに身を置いていると、今は昔となつてしまった賑やかな子供達の溢れかえる歓声が聞こえてくるような気がする。

その図書館で、江戸日本橋界隈の本をあれこれ手にしてみた。「江戸空間」(石川英輔著)は、百万人もの大都会江戸、そこに暮らす庶民の生活ぶりや息遣いまでが身近かに感じられて大変面白かった。たった二百年前の私達の先祖が、いかに経験や知恵を働かせて自然と調和しながらその時代を生きたかを教えられた。

たとえば、当時の日本は、世界有数の製紙大国で、若い女性には、紙をまるでハンカチのように使つて捨てると、外国人が感心して書き残しているが、その紙も、毎年生えて来るコウゾの枝を使って作り、その年受けた太陽エネルギーを分しか使わないから減る心配もなかった。子孫のことも考えず、過去の貴重な遺産である森林を片っ端から伐採している現代人とは大違いである。また、江戸市中の治安を担当する警察官(定廻り)はたった二十四人しかなく、江戸は犯罪がほとんど起こらない町だったのは驚かされた。殺人事件は年に一度あるかないか、享年年間、日本橋伝馬町の牢屋には一人も入っていない時代さえあったと言う。私達はどうやら、時代劇という虚構の

励ます会役員によるレンジャー訓練見学

北海道警察機動隊



▲訓練の様子

北海道も、春の草花があちらこちらで咲き乱れ、機動隊周辺はライラック(別名リラの甘い香りが漂い、加えて、五月晴れを誇示するかのよう)、スカイブルーの空が連日顔を出し、ようやく初夏の気配が感じられる五月二十五日、「機動隊員等を励ます会」の小原北海道支部長が役員が来隊され、当隊におけるレンジャー訓練を見学された。励ます会会員の当隊によるレンジャー訓練見学は初めてであり、訓練塔での次々と展開される隊員の迅速、機敏な諸動作に感嘆の声をあげられた。訓練終了後、支部長から、全機動隊員に対して、訓練結果に対する激励の言葉を頂いた。

お知らせ

- ◎五月三十一日株式会社東芝様より六万円
- ◎五月三十一日九州電力株式会社様より六万円
- ◎七月六日匿名様より百万円
- ◎七月九日株式会社経済界様より五十万円

◇編集後記
記事を最近掲載しましたので、掲載いたしました。

のご寄付を頂戴いたしました。当会の運営のため、有効に使用させていただきます。ありがとうございます。
◎九月二十日(火)午後五時三十分より新潟市下大川通「新潟グラウンドホテル」において、北陸支部総会を開催致します。
電話〇二五―二二八―六一一
多数のご参加をお待ち申し上げます。

今月の言葉

昨今の社会情勢の変わりようには予想を超えるものがある。中味において画期的であるばかりでなく、テンポも速い。このところの内閣の存続期間は驚くほど短い。我々の生活に密接に關係する政治を担っていただけに、思想、信条の問題はもとより、従来の価値基準や倫理観までも変えなくてはならない世の中になってしまった。ではなからうかと心配を禁じ得ない。経済界にあつては、バブル後の反動とも言える深く長い景気の停滞と、急激な円高によつて、企業が生き残るためには従来の基本的な考え方を變更を余儀なくさせられている。例えば、運命共同体の観さへあつた系列間の互恵的取引關係も、コスト削減という待たなしの生き残り策の前には、葬り去らねばならなくなっている。また、もつと切実な問題として製造業の海外シフトがある。一企業の判断としてはやむを得ないとしても、集合して日本の製造業の空洞化という社会現象となると、話は

深刻である。若者の就職について見ても、ついこの間までの状況がウソの様な様だ。折からリストラの真つ只中にある企業の門戸は狭く固い。学生は自らの適性や希望など顧みず余裕もなく、どこでもよい速く安住の地はないものかと言うように走り回っている。

不易流行

永遠性、時代を越えた人々の心に響く感動ということである。流行とは変化すること、ただ変化するというだけではなく、常に創造の苦しみをもた、必然的な自発的な表現の努力の結果創造される「進い」のことをいうのである。

安岡正篤先生の「易と人生哲学」から引用させていたならば、東洋では古来「易」という学問があり、変化の理法を説いている。易という文字の第一の意味は「変わる」「変化してやまない」ということ、第二の意味は「不變」の原理、この原則に基づいて、変化を自覚し、意識するということ、第三の意味は、創造的進歩の原理に基づいて

て変化して止まない中に、人間が創造主となつて、創造して行くことである、という。芭蕉における「風雅の誠」と千古不變の思想空間である「易」の意味との間には、ジャンルの相違こそあれ、変化にたいする態度に共通の哲学があると思える。そこに共通する考え方が、現下の變転極まりない社会情勢の中で、心の平静を保ちつつ、充実した生活を作るための指針を与えてくれているように思える。根柢を貫く不易なるもの、例えば、それは社会の平和と秩序を守るという使命にあつては、ヒューマニズムに裏打ちされた倫理観、社会正義であると言えらるかもしれない。

変わるものと変わらざるもの、二律背反とみえる現象にも悠久と流れる一つの根本原理がみつかるものだということを持つて、動じることなく、社会的使命に邁進すること、が何よりも意義深いことであると考へる次第である。

(東京本部 木村 政雄)

真夏の熱気の中で 第14回千葉支部総会行われる



去る七月十四日(木)、千葉グランドホテルにおいて、第十四回千葉支部総会が開催された。出席者は、来賓として千葉県知事殿(代理)、千葉市長殿(代理)、千葉県警察本部の方々、並びに千葉県警察機動隊員の方々の百五十名に及ぶ参加を頂き、会は盛大に開催された。また、当会からは、理事長、千葉支部役員・会員、本部役員、他支部会員、約百五十名の参加があり、広い会場はたちまち熱気に包まれた。

会は藤田宏俊世話人の司会で進められ、全員で

国歌を斉唱した後、支部を代表して支部長より「今年も皆さんとこうして再び顔を合わせることができて、大変うれしく思う。この総会も早いもので、十四回目を迎えた。隊員の皆様については、今後ますます日頃の訓練の成果を発揮し、市民が枕を高くして眠れるような活躍を期待している。」との挨拶があり、次に本部を代表して鈴木理事長より、「毎日暑い中での勤務、誠に苦勞様です。こしはばくは、平穩な日々が続いているが政局も不安定であり、こういった時こそ、一層の奮闘をお願いしたい。隊員の皆様の、たゆまない努力に対し、今後も精一杯の応援をしていきたい。」との力強い挨拶があった。続いて、来賓を代表して千葉県知事沼田武殿代理、千葉県副知事野原殿より「社会の平和を守る機動隊員を援助するため、会の発展に日夜努力され、県としても大変感謝し



▲千葉県警察本部長
伊達 興治殿



▲空港機動隊長
森 富雄殿

ている。また、隊員の皆様には、広大な県土と豊かな自然に恵まれた千葉県のために、厳しい警備を続けておられ、感謝に絶えない。県としては、ふるさと千葉づくりのための積極的な活動を続けていきたい。」と話された。次に、千葉県警察本部長伊達興治殿より「本日は大勢ご招待いただき、有り難うございます。機動隊の活動にご理解、ご支援いただき感謝しています。現在、機動隊の活動は、重要な施設、個人の生命を深夜に及んで守るという任務が増え、以前のような野戦的な活動と違って、息が長く、終わりのない地味な活動であり、その苦勞をご理解いただきたい。隊員においては、しっかりと自分の足元をみつめて、努力していただきたいと思います。」とのお話をいただいた。続いて、千葉市長松井旭殿代理、千葉市助役鶴岡啓一殿より「励ます会の皆様には、警察の発展に協力され、



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郎4-32-5
〒144
発行人 鈴木 實
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)



▲千葉県知事沼田武殿(代理)
千葉県副知事 中野 麗殿



▲千葉市長松井旭殿(代理)
千葉市助役 鶴岡啓一殿



▲買一・お宮の面々



▲昔千葉支部長



▲嘉悦理事

南の国から

暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしですか。今回はそんな暑さをものともせず元気に頑張っている南の国の隊員の方のお便りをご紹介します。

四国管区機動隊愛媛小隊

藤原 賢吾

私が所属している四国管区機動隊愛媛小隊は、四国で唯一の専務隊として日々訓練に励んでいます。愛媛県といってもあまりインパクトの強い県ではないので皆さんは愛媛という所についてご存じないと思いますので、ここで簡単に紹介しておきます。

愛媛は四国の西端に位置し、瀬戸内の穏やかな気候に育まれた蜜柑等の柑橘類で有名な所です。県の中心部である松山市は、夏目漱石の小説「坊ちゃん」で有名な地であり、日本最古の温泉といわれる道後温泉が湧き出ている人口四十五万の都市であります。

また、愛媛では昨年十一月に第十三回全国豊かな海づくり大会が開催されましたが、各県の特別派遣部隊の皆さんの応援を得、無事終えることが出来ました。私も昨年は、愛媛小隊の一員として幾度か警備出動に従事して、さまざまな貴重な経験を得ることが出来ました。

今年四月には、新隊員を加えての四国管区機動隊合同入校訓練、更に鳥取県への出動、二中隊入校訓練と厳しい訓練が続きました。

毎日暑い日が続いていますが、私も四国の空の下、愛媛県の治安を守る管区機動隊の一員として日々努力していこうと思います。

九州管区機動隊長崎小隊

山口 博明

日本最西端に位置する我が長崎県は、その昔、日本で唯一の開港地であったことから南蛮文化が渡来した国際色豊かな県である。その為、本県には、グラバー園やオランダ坂など由緒ある名跡も多く、日本でも有数の観光地である。

一見風光明媚なこの長崎ではあるが、毎年、梅雨期の水害や台風といった災害に悩まされる一面も持ち合わせている。

現在、我が長崎小隊が直面している当面の課題は、ご存じの方も多いことと思うが、雲仙の普賢岳災害警備である。

この普賢岳、二百年ぶりに噴火してはや三年が経過しているが、いっこうに終息する兆しは見えない。我々は、噴火当初から災害警備に従事しているが、その中で多数の犠牲者を出し、勇敢な先輩隊員二名が犠牲になったことは決して忘れることができない。

また今年も梅雨時期に入り、普賢岳の土石流が心配されるが、我々は過去の教訓を胸に刻みつつ、何時襲ってくるかわからない大自然の脅威と対峙していかなくてはならない。いくら強い部隊でも火砕流や土石流を阻止する事はできない。要は、これ以上の被害者を出さないことである。この災害警備も長期化して、いつ終息するか先は見えないものの、隊員一人ひとりが県民の安全は我々が守るという決意を持って、一日も早い普賢岳の鎮火を祈りつつ、災害警備に従事している次第である。

九州管区機動隊熊本小隊

岡島 伸明

こんにちは。今日も熊本は朝からガラガラと夏の目差しが照りつけています。

この厳しい暑さの中で汗だくになって頑張っている機動警察隊の紹介をさせていただきます。

本県の管区機動隊は県機動隊と合同運用

用であり、他県への特別派遣による活動を行うと共に、県内においては治安・災害・雑踏等の各種警備及び犯罪捜査、交通取締り等様々な任務を行っています。

また、本県においては、隊員の業務能力向上と第一線における現場活動を支援強化するため、管区機動隊員による機動警察隊を設置運用しています。

機動警察隊は平成五年九月に発足し、事件又は事故の発生現場における初動的な措置をとることにより、犯罪の予防及び検挙、交通の取締り、少年の補導等地域警察官が行う警察活動の支援を行うことを任務としています。

機動警察隊の活動は、五交替制勤務で警用パトカーと捜査車両四台の計十台の車両により運用しています。

機動警察隊の活動区域は、熊本城、水前寺公園等で有名な熊本市及びその周辺であり、その地域には県民の約半数が居住しています。

従いまして、事案発生も多く、私たちは安全で住みよい熊本づくりのために、これこそ、若い力とみなざるパワーを武器に、現場一番乗りを目標に、まさしく不眠不休で頑張っています。

九州管区機動隊宮崎小隊

茶木 秀雄

皆さんは宮崎県と聞いて何をイメージしますか？おそらく青い海とフェニックスを思い浮かべることでしょう。他にも巨大屋内プール「オーシャンドーム」が完成し、人気を集めているところです。何より宮崎県民がこよなく愛し、宮崎小隊の活力源となっている、いつ飲んでもうまい芋焼酎「霧島」があります。

さて、今春の異動以来入隊三か月足らずですが、このわずかな期間に様々な体験をさせて頂きました。

一つは九州管区警察学校への警備訓練入校でありました。この訓練入校は、学生時代野球で体を鍛え、体力に自信のあった私にもさすがにきつくて長い期間に感じられました。かけ足、デモ規制、遊

撃と走りに行ったあの広々とした管区学校のグラウンドはもう見たくありません。夜は夜で、昇任試験に向けて二時間の勉強時間が設けられていたが、これまた机にすわると眠気との闘いで、分隊長から喝入れられる毎日でした。

二つめは、初めての鳥取県への出動であります。身の引き締まる思いで勤務する中で、警戒先で鳥取県民の人情あふれる温かさに接することができ、何かほのぼのとした気持ちにさせて頂きました。

これらの体験を通じて感じたことは「人との交わりの楽しさ」でありました。諸先輩の伝統を壊さず、より強い機動隊員となるよう努力していくつもりです。

香川県警察機動隊

辻 貴也

私は機動隊に配属されて三年になる。初めての県外出動は、皇太子殿下ご成婚に伴う奈良県への出動でした。この出動は、二度に分けて行われた。

一度目の教訓は、盆地は平野と比べ、昼と夜の温度差が激しいということを知った。奈良県は日中はうだる様な暑さで制服が汗でぐに塩を吹いたが、夜になると制服の下にトレーナーを着て、外套を重ね着しても寒さは和らかず、人の目につかないように腕立て伏せやスクワットを繰り返して、体温の上昇に努めたことが思い出される。

二回目の出動の教訓として、梅雨時期でも光は射しているということだ。私の住む讃岐（香川県）は、昔から雨の日が少なく深刻な水不足に悩まされてきた。

梅雨時期といえども三日と雨の続く日はほとんどない。しかし、奈良県は毎日雨が降り続いた。これは、じめじめした気候に慣れない私を不快な気分にならせた。だが、雨の中立っていると足が疲れるだろうと椅子を貸してくれたり、お腹が空いているだろうと、おむすびを差し入れてくれた住民の親切は身にしみた。

これから幾度となく県外出動する機会もあるが、その土地にあった気候や人情

を知ることにより、よき所を学び、吸収していくことが大切であると思う。この出動で学んだことを貴重な経験として、これからの勤務に取り組んで行きたい。

高知県警察機動隊

坂本 政孝

南国土佐は北に四国山地、南に「瀬戸内吹く」太平洋、西には足摺岬、東は室戸岬、その中を清流「四万十川」が悠々と流れる自然に恵まれた土地柄です。

高知県警察機動隊は県中央部の浦戸湾よりやや東方の南国市にあり、隊員はほとんどが柔剣道、けん銃の指定選手で構成され、アクアラング、レンジャー等で活躍している屈強な集団です。

今年は、昨年の冷夏と打って変わって猛暑が続き、雨が降らず、空梅雨の影響もあって給水制限が出されました。そして、南国にふさわしい灼熱の太陽が容赦なく照り続けています。

この猛暑の中、七月初旬には「全教大会」が開かれ、これには多くの機動隊員の皆様に応援をいただきありがとうございました。お陰様で無事警備を終えることが出来ました。「猛暑の中、完全装備で立つ機動隊員には頭が下がる思いがする。」これは高知新聞に掲載された地区住民の感想です。

猛暑に負けず、いかなる困難な事態にも対応できる体力、気力、技術を提供した機動隊員を目指して日々努力を続けていく覚悟です。

長崎県警察機動隊

白山 勇一

私の機動隊生活も、今年で三年目を迎える。これまで各種訓練、治安・雑踏警備、警備警護活動などさまざまな活動を行ってきたが、我々長崎県警察機動隊にとって、最も重要な任務のひとつとして挙げられるのは、雲仙普賢岳の噴火に伴う災害警備であらう。

平成二年十一月十七日、百九十八年ぶ

りに噴火した雲仙普賢岳は、噴火から三年半を経過した現在も依然活動を続け、いまだ終息の気配を見せない。我々の任務も火山活動とともに変遷を繰り返し、活動が小康状態となった現在、普賢岳の監視活動、火砕流・土石流発生時の避難広報・誘導、交通規制がその主要な任務となっている。

火砕流や土石流に対する避難広報は、我々実施部隊の適切な判断が要求される。我々の判断の瞬時の遅れが、自分はおろか他人の命までも奪いかねない。火砕流は、いったん発生すると、その流路に存在する全ての物を焼き尽くし、土石流はその流路のすべてを飲み込んでしまう。

こうした災害の傷痕を見るたびに計り知れない自然の力と、人間の無力さ、災害警備の難しさを感じるのである。

死者・行方不明者四十三名を出した火砕流から三年。この教訓を忘れる事なく長期化するこの災害警備に、最善を尽くしていきたい。

長崎県警察機動隊

田中 巖

四年前 突然始まった雲仙普賢岳の火山活動は、休息の気配を見せることなく灰色の煙をもくもくと吐き続けている。

私は三年前に剣道特練員として入隊し現在、各種警備活動と剣道部員としての活動に励んでいる。しかし雲仙普賢岳の警戒警備が我が隊の活動の中心となっているため、特科訓練の充実がままならないというのが実情である。そんな中、我が隊員たちは二つの大会で好成績を納めることが出来た。

一つは、県下各署対抗柔剣道大会において、剣道(団体)優勝、柔道(団体)準優勝という好成績。この大会は、特練部員以外の隊員が出場するものである。

もう一つは、全日本剣道選手権予選において一位から三位までを特練員が独占し、ベスト八に七名が残るという好成績である。

これは、雲仙普賢岳の警戒出動に追わ

れながらも特科訓練不足の不安を解消するため、非番 休日を問わず道場に足を運んだ隊員各自の努力の成果だと思ふ。我が隊は、「頼れる強い機動隊」を活動の指針としており、そのために日頃から、気力、体力、精神力の養成に努めている。今回の特科での好成績は、正にこれを実践したものであると思う。

私は、この機動隊像を全うするための努力をこれからも続けていくつもりだ。

沖縄県警察機動隊

東江 善平

沖縄県は、我が国で唯一亜熱帯気候地域に属し、一年中温暖で冬でも気温が十五度以下に下がることはめったにありません。そのため真夏の紫外線の強さは想像を絶する厳しさで、毎年本土の観光客がビーチで長時間の日光浴により、日焼けを通りこして全身大火傷を負い、病院に運ばれる事故が新聞をにぎわします。

こうした沖縄の夏は、完全装備で重防警戒に当たる機動隊員にとって避けては通れない試練の一つであり、猛暑を克服するスタミナづくりが必要となります。

そこで、スタミナづくりの秘訣、沖縄の伝統料理「ゴーヤーチャンプル」(にがうりとう豆腐の炒め物)を紹介しよう。

①ゴーヤーを薄切りにし、豆腐はサイの目に切ります。

②強火で熱したフライパンにゴーヤーと豆腐、豚肉等を入れ、味の素、塩、醤油で味つけをして手早く炒めます。

以上紹介しましたが、これは誰でも簡単にできる料理ですが、ゴーヤーには各種ビタミン、ミネラルが豊富に含まれており、夏の暑さに負けないスタミナがたります。ちなみにゴーヤーの苦みが苦手な方は②の時にニンジンを加えて卵とじにすると食べやすくなります。

沖縄の夏はこれから本番、ますます暑さが厳しくなりますが、私はゴーヤーと警備訓練で培った気力・体力で厳しい暑さに負けず、治安維持の任務を完遂していくつもりです。

便直報情報機

「竜神大吊橋クリーン作戦」

茨城県警察機動隊

新緑が初夏の香りを感じさせる六月六日、当隊では海老澤隊長以下七十四名により、県下水府村に本年四月二十八日に完成した竜神大吊橋周辺の清掃ボランティアを兼ねた野外訓練を実施した。

同大吊橋は、竜神ダム上に三十三億円をかけて建設された全長三百七十五メートルの大吊橋で、歩道用吊橋としては日本最長を誇る茨城の新名所であり、この静かな山村に日本一の吊橋を一目見ようと数多くの観光客が訪れている。

こうした中で、訪れた観光客に残していく空き缶等のゴミが、周辺に目立つ様になってきたことから、同大吊橋の自然を守り、地域住民への奉仕を目的として清掃ボランティアを兼ねた野外訓練を計画したものである。

同日、各々ゴミ袋を片手に隊長指揮のもと作業を開始したが、ビニール袋はみるみるうちに一杯になっていき、予想以上のゴミの多さに驚きながらも、地元住

「日本海に現れた密航船」

島根県警察機動隊

ひと月前、島根県多伎町海岸に中国人等の乗る密航船が「座礁」した。沖合に仕掛けられた定置網に引っ掛かり、密



民や観光客の「ありがたう」「ご苦労様です」等数多くの感謝の声に励まされ空き缶約千五百個、その他のゴミ約二十キロという大収穫を達成し、作業を終了した。



航出来なくなってしまうのである。マスコミ等は「定置網が密航船を捕獲」などと報道した。

当日は、県機動隊と県東部の第二機動隊の定例訓練日であり、災害救助訓練を計画していたが、急遽取り止め、密航者の捜索活動に緊急出動することとなった。

長い沿岸線と日本海特有の切り立った海岸での捜索は、易しいものではないが、隊員の捜索姿を見て安堵の表情を浮かべる町民の表情に疲れも癒された。

密航に使用された証拠品の搬送や投棄された船外機の発見、引き上げ等、特殊機能を発揮し期待に応えることが出来た。沖合に横たわる黒く不気味な大型船。昭和二十年から四十年にかけて、朝鮮半島からの密航船は幾度かあったが、中国人等の集団密航船は初めてである。まさに「奇怪な黒船の来襲」であった。今後増加するであろうこの種の事案に、我々機動隊は正に楯とならねばならない。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|---------|-------|----------|---------|-----------|-----------|---------|-----------|------|------|------|--------|------|------|---------|---------|---------|--------------|-----------|----------|------|
| 残暑お見舞い
申し上げます | 大野興業(株) | 岡部(株) | 高周波熱錬(株) | 光洋商事(株) | 山陽特殊製鋼(株) | スカイコート(株) | 東南貿易(株) | 平和農産工業(株) | 高島浩一 | 西戸栄一 | 橋本尚吾 | 明鋼材(株) | 加納保成 | 中村欽哉 | 松田鉄鋼(株) | 堀口海運(株) | 内外運輸(株) | 大川トランスティル(株) | 金森藤平商事(株) | 豊鋼材工業(株) | 東北支部 |
|------------------|---------|-------|----------|---------|-----------|-----------|---------|-----------|------|------|------|--------|------|------|---------|---------|---------|--------------|-----------|----------|------|

者場の読広



反報を知る

横溝 政志

(中国支部)

街で時々見かける警察官の制服が、つい最近からなかなかスマートな一見目立たない自然な制服に変わっている。以前のそれよりは、街並みになれ親しみを感ずるの頃である。

梅雨の時期でも、日照りの中でも、我々は、特に私の場合、街を無防備にブラブラと歩く。この事ができるのも日本の治安の素晴らしさの一言に尽き、表題の「反報を知る」なのである。人間にとって恥すべきことは、家柄や職業、地位、名譽、財産、能力、容姿等問題ではなく、ご恩を知らないことであらう。「反報」とは、「かえす」ご恩返しのことである。それは、誰々にお世話になったからお返しをする、というような取引的なものではなく、「恩を知る」「おかげを知る」ということである。「恩を知るをもつて人という」由縁である。一枚のハガキ、一枚の新聞を読むにも自分の手元にくるまでのいろいろなかけの力を思い、街をブラブラ無防備に歩くにもかげにある大なるものに思いを馳せて感謝する心、それが「反報を知る」ということである。昨日も今日も「ご恩」を忘却している私は、まさに恥すべき人間なのである。この欄をおかりして日本の治安を守る警察官の皆さんに感謝申し上げる次第であります。

早朝散歩雑感

麻生 博

(理事・東京本部)

毎朝早く散歩を楽しんでいる。六月ともなれば四時には夜も白み、暑さ寒さも無く散歩に最適な季節である。

最近の街々は綺麗になった。駅周辺で散乱する吸殻のポイ捨てを除けば、以前の様な道路上に散乱していたゴミを見ることは出来なくなった。商店街も綺麗になったが、それに増して住宅街には塵一つ落ちていない。此の付近には、開発された昭和の始め義務づけられた為か、庭を持つ生け垣の家々が、春ともなれば、梅、こぶし、桜、桃、花みずき、つじ、紫陽花などの花々が次々と咲き乱れる。最近建てられた新しい家々は庭を持たないが、玄関や塀に沿って鉢植えの四季の花が飾られて、通る人の目を楽しませて呉れている。

早朝の散歩を楽しむ人々が最近多くなってきたが、すれ違いには必ずと言ってよい程「お早う」と声を交わすか、会釈して通るのがしきたりになっている。朝の清々しさの中、ほのぼのとした気分になるのである。此の早朝には新聞配達少年少女が「頑張リーな」「頑張れよ」と互いに大声で励ましあっているのを聞いたことがある。違う新聞販売店に勤務する同郷出身の者か、心地良い響きが伝わってくる。この団地の前に交番がある。長い間無人交番で荒廃の趣があったが、最近では若い巡査が駐在するようになった。改正された新しいシッコン制服を着て、交番内に或いは交番前に立っているのを見かけることが多くなった。「お早う。ご苦労さん」と声をかけると「お早う」と大声で返事が返ってくる。清々しい限りだ。世界の注目を集めている日本の交番が復活したことに、心から声援を送りたい。

祖師谷と成城との境界に「仙川」という野川が流れている。川の護岸は整備され、川に沿って化粧煉瓦で舗装された遊歩道まで出来た。水が綺麗になったのであろうか、水鳥が多く集まってくるようになった。魚が帰って来たのだ。春ともなれば、決まって川の洲に黄色い菜の花が一面に咲き誇って美しい。流れにゆれる水草の間に魚の姿を求めて暫し眺め、足を止める。

住宅街の中、仙川を挟むように徳川時代中期に建てられた鎮守の社「神明社」と「観音堂・薬師堂」とがある。江戸時代中期には、既に世田谷地区にはかなりの村落が形成されていたと思える。「神明社」の境内は広く樺などの大木に囲まれ、本殿・神楽殿のほか数社の末社が並んでいる。観音堂の境内も亦広く、明治になって薬師堂が此処に移されたと言ふ。鬱蒼とした木々に囲まれた境内に、数基のお地藏様に混じって、馬頭観世音、十一面観世音等々の道祖神十数基が苔むして並んでいる。いずれも江戸時代の銘が刻まれている。昔、広範囲にわたって村落や田畑の辻や路傍にあった石仏を、宅地開発の進むに従って此処に集められたのであろう。四季それぞれの野花が供えられていて、絶えることがない。お地藏様の赤い頭巾、前だれも真新しい。堂守の方か、近隣の方々が供えたものであろう。

川沿いの遊歩道を歩いていると、神明社の鈴の音、観音堂の鐘の音が響いて来る。朝参りの方々が鳴らす音であろうか。この遊歩道では時々外人夫妻にすれ違う。最初に出会った時、私が「グッドモーニング」と声をかけると、「お早よう」と返事が返ってきた。それ以来出会う時には互いに笑顔で「お早よう」と言い交わすようになった。ある朝のこと、川へのなだらかな下り坂を車椅子の方が「お早よう」と私をすいすいと追い抜いて行った。思わず私は「お大事に」と声を返しその後ろ姿を見送った。やがて川辺に出ると、

上り坂を電動機の付いていない車椅子を操って大変苦勞して登って行く後ろ姿が見えて来た。私は追い越すのをやめて別の道を選んだ。

お年寄りには朝早い。住宅街でよく家の前を箒で掃除している方々に出会う。こども「お早よう」の言葉が返ってくる。住宅街の中にキャベツ、とうもろこし、茄子、里芋などが栽培されている畑がある。世田谷区の「生産緑地地区」の立て看板が立っている。市街地農業は経済的に見ても無意味なものと思っていたが、早朝、老夫婦が農作業に精を出している姿を見ると、祖先伝来の農業に生き甲斐を感じている真摯な人々の生き様に共感すら覚える様になった。

午前七時を過ぎる頃から、通勤の人々がそれぞれのユニホームに身を固め、この道を通って通勤のために、駅に向い、列をつくって足早に歩き去る。そして、近代社会の大きなメカニズムの中に吸い込まれて行く。次いで、商店街の開店準備が始まる頃ともなれば、街全体が活気溢れる日頃の姿に変貌して行く。

早朝散歩はそもそも健康の為に始めたものだ。しかし、早朝に出会う人々に接する限り、其処には「古き良き時代の温かい息吹」を感じる。清潔にして整頓された家々を見ると、温かい円満な「古き良き時代の家庭」が今なお現存していることが感じとられる。

早朝散歩はこよなく楽しいものだ。私は今後も楽しみながら歩き続けることであろう。

猛暑の中で警備訓練を実施

新潟県警察機動隊

制私服の役割分担、車両阻止器材の展張要領等が披露された。

(北陸支部 園田 記)



新潟県警察本部では、七月十二日(火)新潟競馬場駐車場において、夏の陽射しが照りつける中で「平成六年度新潟県警察総合警備訓練」を実施した。

訓練には「機動隊員等を励ます会」北陸支部(世話人代表 樋浦 忠)から樋浦代表ら六名が激励に訪れたが、県機動隊、管区機動隊、第二機動隊、公安捜査隊等約八百名が参加しての訓練であった。

査問官(警察本部長)の服装点検に始まり、基本訓練の後、想定訓練の順に実施されたが、想定訓練では、三月に成立した「新潟県拉声機による暴騒音の規制に関する条例」に基づく訓練を行い、騒音測定班と実施部隊の連携、

お知らせ

◎七月十八日、大阪府警第二機動隊員十一名が水泳訓練中、花本秀一巡査が溺れて殉職したため、大阪支部を通じ、弔意を申し上げます。

◎九月二十日(火)午後五時三十分より新潟市下大川通「新潟グランドホテル」において、北陸支部総会を開催致します。

電話 〇二五―二二八―六一一

多数のご参加をお待ちしております。

今月の言葉

九月は関東大震災のあった月であるが、自然の変化によってもたらされた地震災害により、かつて塗炭の苦しみを味わったこの月になると自然の力の大きさを改めて考えさせられる。

過ぎ去った今年の夏は、自然というのは年によってこうも変化するものかと痛感させられた夏であった。昨年は冷夏であったのに、今年は日本列島全体が記録的な猛暑に見舞われ、しかも大変長い夏であった。この猛暑は世界的な現象であった様であるが、日本の場合は太平洋高気圧と偏西風の影響によるものとこのとであった。昨年夏は日本のはるか南の海上、北緯二十五度付近にとどまっていた太平洋高気圧は今年は九州の近くまで北上し、また昨年夏は西日本まで南下

治に居て乱を忘れず

年程ではないにしても水不足、山火事等に見舞われた。文明がいかに進んでも自然の脅威には勝てないものと再認識させられた。

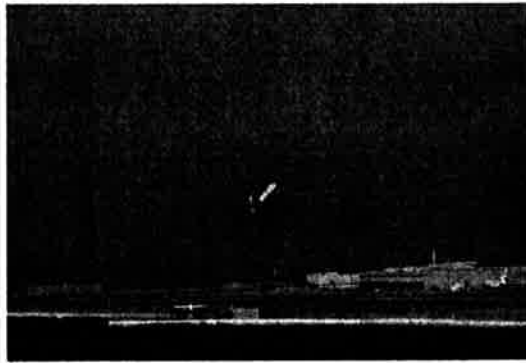
災害という、いつも思うのは警察官の活動である。先頃、広報誌「魚点」(自

り二万五千二百人の警察官が、それぞれ動員されたことである。災害復旧活動の中で、若い機動隊員等が地元の人等へ感謝と激励の言葉をかけられて力づけられ、辛い苦しい任務に耐えて行く様子を想い起こし、深く胸打たれる思いである。

(理事・千葉支部副支部長 曾根 貞雄)

自然がもたらす災害は人間の力では防ぎようのないところがあるが、人災は防ぐことのできる災害である。冷戦構造の解消によって、国際的大規模な争いは消滅したが、局地的な衝突は世界のあちこちで依然として起きている。日本においても、かつての安保闘争時のような大きな流血事件は今日発生していないが、ゲリラ活動の芽が全くないとはいえないのではない。

昨年のように人命にかかわるような自然災害もない、また、大きな人災もない平穏なこの頃ではあるが、心を弛めることは禁物である。正に「治に居て乱を忘れず」である。



▲9月4日、1番機離陸



▲空港駅においての手荷物検査



▲皇太子同妃両殿下

自然がもたらす災害は人間の力では防ぎようのないところがあるが、人災は防ぐことのできる災害である。冷戦構造の解消によって、国際的大規模な争いは消滅したが、局地的な衝突は世界のあちこちで依然として起きている。日本においても、かつての安保闘争時のような大きな流血事件は今日発生していないが、ゲリラ活動の芽が全くないとはいえないのではない。

昨年のように人命にかかわるような自然災害もない、また、大きな人災もない平穏なこの頃ではあるが、心を弛めることは禁物である。正に「治に居て乱を忘れず」である。

九月四日、わが国初の本格的な二十四時間体制の関西国際空港が開港した。関西国際空港は、大阪湾南東部の泉州沖を埋め立てて造られた海上空港で、世界最大の旅客ターミナルと、三千五百メートルの滑走路、六十九機が駐機できるエプロンを有している。

大阪府警察では「開港反対」を唱える極左のテロ、ゲリラ事案を封じ込めるため、八月二十五日から九月七日までの間、他府県から約千五百人の特別派遣部隊を加えて開港警備に臨み、見事、その任務を完遂した。

開港日に先立つ八月二十九日午前、皇太子同妃両殿下がご出席のもと、開港記念式典が開催され、招待者や空港関係者ら約八百人が出席し、空港内は午後からの祝賀会を合わせ約二千人の熱気で溢れた。本警備警備には機動隊員等約一万一千人体制で警戒にあたったが、特異事案

等もなく無事終了した。

開港当日は、空港駅、海上アクセスターミナルビル、空港連絡橋の検問所、料金所等で、手荷物やトランクを開けて調べなど、徹底した検問を実施し、厳戒体制をとった。

また、空港対岸にあたるりんくうタウン周辺道路や空港に直結する府下の主要駅においても各種検問を行ったほか、警備艇、ヘリコプターも最大動員するなど文字通り陸、海、空からの大警備体制を敷いて、警備の万全を図った。

一方極左各派は、「開港実力阻止」を唱えて、同日午後には中核派が泉佐野市新安松の広場にて約五百名、また反中核派が泉南市岡田浦で四百三十名にて反対集会を行うなど、活発な集会・デモを繰り広げたが、大きな混乱もなく警備を完遂した。

大阪府警察では、本年三月に関西国際空港開港総合対策本部を設置、四月より厳戒体制に入っていたが、機動隊員をはじめ、府警全職員が丸ごと取り組んだ結果、無事安全開港を迎えることができた。

関西国際空港いよいよ開港

はげまし

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 實
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

野外訓練を実施

警視庁機動隊

警視庁機動隊では、八月二十九日から九月十日にかけて、群馬県多野郡万場町営グラウンドにおいて、野外訓練を実施した。昨年は警備の都合から行うことができなかったが、本年度は好天にも恵まれ、無事に行うことができた。

この訓練は隊員の心身の鍛錬、知識教養の充実、士気高揚を目的として行われ、参加者は警視庁機動隊の一機から特機までの隊員、訓練内容は健脚訓練や小運動会などで、また夜にはキャンプファイヤーを囲んでの懇親会と、さまざまな訓練が実施された。現場は、さらけ水道、トイレなどの施設はないが、隊員自らが天幕を設置し、食事も自炊と、不自由ながらも全員一致協力して、相互の団結をさらに強固なものとした。



▲綱引き

▲健脚訓練のようす

夏休みを終えて



『ああ夏休み』

警視庁第一機動隊

阿部 和夫

「まあなくサイパン国際空港に到着します。」機長からのアナウンスが入った。機内から外を見ると青い空、澄みきった海。「ああこれが南国の島だ」と思った途端、なんと外はスコールの真っ最中。どしどし降り始める。私達家族三人の夏休みは、こうしてスタートした。

「訪米警備も終わり、さて夏休みは何処へ行くかなと思っていると、妻が旅行のパンフレットを持ってきて「サイパンがいい」。このひとりで今年度の夏休みは決まった。そして七月十八日、ついにサイパンの土を踏んだのである。

サイパンでの強い日差しを予想して、妻も一歳の息子もすでに日本で日焼けしていて真っ黒であった。私だけがこの強い日差しと対決しなければならなかった。しかし日陰に入ると海風がさわやかで、とても過ごしやすかった。

サイパンのビーチは、どこも波が静かできれいである。旅行に行く前に「子供が病気になるたら」等不安材料があったが、ビーチで元気に遊ぶ妻と息子を見てると一年の疲れなど忘れてしまいい、楽しい休みも終わってしまった。

フアミリアーアイランド・サイパンまた一年一生懸命頑張った来年も行こう。

『夏休みの思い出』

警視庁第二機動隊

横田 宏志

昨年の夏休みと同様、飛行時間約十二

時間をかけ、日本の真側に位置するドイツ連邦共和国への旅行を実施しました。昨年は観光目的でしたが、今回の旅行は外国語分隊員としてドイツ語を一年間勉強した成果を試す事を目的としました。そこで今回は同僚と添乗員を伴わない二人だけの個人旅行を実施しました。

訪問先は南部地方でしたが、歴史的町並みや城塞、随所に見られる石畳が印象的で、中世に足を踏み入れた様でした。一方今回の目的である「生のドイツ語」の修得の為の個人旅行という機会を生かして積極的に会話を試みました。しかし、一年間勉強を積んだとは言え、至る所で「Wie bitte? (ウィービッテ) (何とおっしゃいましたか)」と聞き返されたり相手の言う事が理解出来なかったりと冷や汗の連続でした。それでも辞書を片手にタクシーの運転手や店員等と雑談を交わす事が出来ました。

『わが家の夏休み』

警視庁第四機動隊

小林 克也

今年には妻が育児休暇中だったので、夏休みは遠出でもと相談していた矢先に、実家の母親から「ハワイでも行こうか」と連絡が来たのです。一月に長女が生まれ、連絡が来たのですが、思い切って行くことにしました。わが家四人と母親、叔父、叔母七人での大移動となりました。

如何にして二歳の長男を寝かせるかが問題でしたが、成田空港で思う存分遊ばせたことが功を奏したのか、機内では離陸するなり熟睡状態に入ってくれました。子供には時差ボケというものが無いのかホノルルに着く前にはしゃがいでいました。初めてのハワイ。今まで話を聞いて期待を膨らませていたのですが、「本当にハワイなのか」と疑うほど、どこを見ても日本人ばかりでした。しかし、青い空、サンゴ礁、ヤシの木、ハイビスカス。それはまさしくハワイだったのです。

『アフリカの旅』

警視庁第三機動隊

堀江 和加生

「アフリカの水を飲んだ者はアフリカに帰る」という。一度アフリカの土を踏むと再びアフリカの土を踏みたくなくなるという意味です。私は二年前に野性の大地ケニアの旅をしました。そして今年には褐色の大地、アフリカ・ジンバブエを旅したのです。アフリカの密境ジンバブエでは世界最大の滝・ビクトリアフォールズを目の前にし、その迫力に圧倒され、大自然の素晴らしさを改めて感じました。

また、ビクトリアフォールズから流れ落ちる緑の大河といわれるザンベジ川をゴムボートで下りながらアフリカの大地の水をいっぱい浴びることもできました。大陸を突っ走るおんぼろバスでは、目の前にひとりの群れが突然現れ餌をねだる

に北陸三泊四日の旅行をしました。今の若者は海外旅行が人気で、私達もその例にもれず海外へとも思いました。しかし、あえて北陸を選んだのは、三人とも日本海を見たことがなかったことと「海の幸」への期待があったからでした。

が子に笑顔を絶やさない両親でありました。が一週間が過ぎるころには微妙に漂う冷たい空気、家族の意見を代表するかのような弟の一言、「まだいいの」。

『ああ夏休み』

警視庁第七機動隊

日吉 政行

四日間ではありましたが、福井市内散策、東尋坊観光、越前海岸での海水浴を楽しましました。一番印象に残ったのは、やはり東尋坊の景観で、そのスケールの大きさは圧倒されました。はじめは東尋坊の絶壁の上に立ち、下を眺めたのですが、それ程迫力が感じられず期待はずれでした。しかし「東尋坊は海からの景観がよい」という話を聞き、さっそく観光船に乗り、海に出てみました。話にきいたとおり、海から見た東尋坊は素晴らしい筆舌につくしがたい程でした。

東尋坊の断崖絶壁、日本海の男性的な荒波、そして日本海の海の幸に、舌鼓をうっているうちに私達の北陸旅行は、あっという間に終わってしまいました。国内にもまだまだ素晴らしいところがたくさんあります。皆さんも機会があれば北陸へ旅行されてはいかがでしょうか。

『あーあ夏休み』

警視庁第六機動隊

飯田 真司

六月十三日から七月十三日までの三十三日間、長い夏休みをとらせて頂きました。昨年は、短い夏休みを如何に有意義に過ごすか計画を立て、楽しみにしていたのですが、今年は違いました。

「左膝内側副韧带断裂」もう二度と経験したくないような時間を過ごすことになったのです。白壁に囲まれ、消毒液臭のする病室の入院生活。健康そのものだった左足にギブスが巻かれ動けない状態になってしまった。毎日が「ながーい一日」であり、痛みを忘れるため天井の小さな穴を数えたり、親や上司、同僚のことを思う毎日であった。退院してから二週間の自宅療養とこのとて実家で過ごすことになりました。

『信州満喫』

警視庁第八機動隊

内田 孝正

時差十六時間。今年の夏休みはロスアンゼルスで異国の「夏」を満喫した。ロスといえば治安の悪い都市として有名であり、ロス暴動や服部君射殺事件も記憶に新しいところである。

宿泊先の従兄も「車を盗まれた挙句弾痕三発入りで戻ってきたので、車を買って替えた」と話してくれた。更に驚いたのは、十一歳の子供が三丁の拳銃を見せてくれた事だった。カルチャーショックを受けると同時に、自分で自分の命を守らなければならないアメリカの現状を思った。

しかしそんな私の気持ちを少なからず救ったのは、アメリカの人々の明るく、自由な振る舞いであった。公園で言葉も通じない私が白人や黒人に誘われてバスケットボールが出来たことは本当に楽しい。あの時交わした握手は今も忘れない。この旅行で、私は日本人の常識で物事を判断してはいけないということも体験した。私が「驚き」と思ったことでも彼らにとってごく当たり前の生活であり、それをありのまま受けとめ、積極的に接することが大切であることを学んだ。

言葉など通じなくても身振り、手振りでなんとかなるものである。この夏は違った自分を発見することができ、楽しく思い出多い旅行であった。

飯能市の自宅を愛車で出発したのは午前十時。愚妻の準備がいつも遅いのでわが家は定刻通り出発したことはない。

長野自動車道の快適なドライブが続きます。まずは長野市内善光寺へ。輪の中にもうひとつ輪のある二重の虹を観ることができた。虹の美しさに感激しながら、夕食用に山門の入口で名物のそばを購入した。目的地の戸隠キャンプ場に到着したのは六時過ぎ。一泊四千円のバンガローは二段ベッドが二つあるだけで電気もないが、家族四人が二泊過ごすには十分の広さだ。さっそくカセットコンロで湯を沸かし、そばを作ったところ、子供達は「うまい、うまい」と言いつて食べてくれた。

翌日は鳥めしで腹ごしらえをした後、付近を家内と散策する。朝日に輝く戸隠連山の山並みが美しい。子供達は林の中であそび、捕りに夢中になっている。

その後、忍野村の迷路やアスレチックで楽しんだり、ちよっと足を伸ばして妙高の無温泉に浸かったりして、もう一泊。三日月は北志賀高原をドライブした後、白根山の湯釜、草津を通って軽井沢へ。上信越自動車道・関越自動車道を利用して自宅へ。ちよっとハードだけど思い出に残る夏休みを取ることができました。

『ニュージールランドの旅』

警視庁第九機動隊

関谷 康明

今年の夏、新婚旅行を兼ねて妻と二人でニュージールランドを訪ねた。ニュージールランドは日本とは反対の真冬で、当然の事ながら真冬の寒さに二人で驚いた。しかし今回の目的はスキーをすること。で、寒いなんて言っただけでいい。妻は暖かい南国へ行ったかった様で、スキーをしにわざわざ寒い所に行かなくてもいいと乗りなかつたが、スキー好きの私のわがままを承諾してくれた。

現地では一枚のポスターに目が止まった。山の頂上から新雪を滑るスキーヤー、青空には一機のヘリコプター。ヘリスキーです。スキー初心者妻、ポスターを見てすでに火が点いてしまった私を見て、

「行つてきなよ」と声をかけてくれた。その言葉に甘えて妻をホテルに残し、悪いとは思いつつ、一人でヘリスキーに向かった。飛行場から一気に雲をつき抜け頂上に登ると、そこはもうスノーパラダイス。一気に滑り降りると頭の中に雪がたまつたかの様に、真っ白な気分になった。興奮もさめないままホテルに戻る。と妻が「ケガしなかつたか?」と心配して待っていた。ニュージールランド旅行も、ヘリスキーも私のわがままを聞いてくれた妻のおかげである。来年は行きたい所に連れていってやると、妻に誓った。

『夏休みの思い出』

警視庁特科車両隊

塩月 康弘

今年の夏休みは、九カ月になった息子を連れ、初めて宮崎の実家に帰りました。息子が生まれてから家族で旅行したのはこれが最初。離乳食や着替え等で荷物はずべて息子の物ばかりでした。

息子は飛行機が気に入ったのか、機内ではずっとはしゃぎ通して機嫌よく宮崎空港に着くことができました。

私が「ただいま」と言い終わるか終わらないうちに、父は息子を奮いとうように抱きかかえ、普段見せたこともないような笑顔で息子をあやしはじめました。空港から実家まで、車の中では、息子は両親の腕のなかを行ったり来たりと、大変なものでした。

その晩は、父が息子を風呂に入れた。ミルクを飲ませ、一緒に寝てしまいました。故郷での六日間があつたという間に過ぎ去り、帰る日には親戚、友人らが見送りにきてくれ、息子を真ん中に空港で記念写真を撮りました。父は息子を抱いて「歩くようになったらまた帰って来いよ」と、寂しそうな顔で話しかけていました。

そんな父の姿を見ると、一年に数日でも、両親への親孝行として、息子の成長を見せに帰ってやろうと、妻と二人で強く誓いました。もしかしたら、来年は四人で帰ることになるかもしれません。

便送直情報機

『小隊對抗競技会』

北海道警察機動隊

当隊は、恒常的な重要防護施設警備勤務で、全隊員が揃って訓練を実施出来ないため、毎月一回全隊訓練日を設定し、警備実施の技術、能力の向上に努めている。当隊は、この全隊訓練日を有効に利用し、隊員の気力、体力、団結力を養う目的の下に毎回全隊訓練日には「小隊對抗競技大会」を併せて行っている。

これは、Jリーグと同じ様に年間を二シリーズに分け、一シリーズ六節の各種競技大会を行い、シリーズ毎にチャンピオン小隊を決めている。

第一シリーズ(四〜九月)はこれまでサッカー、ソフトボール、土のう運びリレー、相撲、柔道の競技を行ってきた。相撲では、まわしを締めたことがない隊員が多く、数日前からまわしの締め方で苦労していたが、当日は一人の「はみだしもの」も無く、まわし姿が板についており、大銀杏のカツラを自ら作って被り応援する者、勢いのあまりに土俵の柱に頭をぶつける者など大いに盛り上がった。

『訓練で流した汗が自信の証拠』

福岡県警察機動隊

「基本訓練と実戦的応用訓練を反復実践し、あらゆる事案に自信とゆとりを持って迅速・的確に対応し得る、真に実力を供えた警備部隊を確立する」これがわが隊のモットーである。

昨年は、当県での「みどりの愛護のつどい」に伴う警備警備を皮切りに、各種県内外出動でその任務を完遂した。

今年に入ってから、「みどりの愛護のつどい」に伴う奈良県出動、「全教定期大会」に伴う高知県出動を始め、県内における右翼警備や突発的なスキューバー等事案への出動、暴力団の捜索、一斉検挙活動等のほか、全国初の暴対SP隊へ編入されるなど、目ざましい活動を展開している。これらの活動のどれを見て

間もなく第一シリーズが終了決定するが、各小隊が近接した戦績をあげており、気の抜けない状況となっている。当初の目的どおり、各小隊が一丸となつて競技に取り組んでおり、小隊對抗競技会の効果は極めて大きくなりつつある。



も、日頃の訓練で実力を供えている機動隊ならではのものと自負している。近年、警察の「治安のプロ化」が叫ばれているが、今日も訓練に汗を流す隊員一人ひとりの顔は、「最後の砦」としての自信に溢れている。



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|------|---------|----------|---------|----------|-------|---------|----------|-------|-------|-------|---------|------------|---------|-------|-----------|---------|-----------|---------|---------|------|
| 鍛錬耐え抜く
精強機動隊 | 鈴木 實 | 愛知産業(株) | 青山特殊鋼(株) | 草野産業(株) | 高周波熱錬(株) | 芝本 龍平 | 小川運輸(株) | (株)上野百貨店 | 西野 公庸 | 浅田弥三郎 | 竹之内誠剛 | 豊田通商(株) | 東海レバー鋼業(株) | 日鉄物流(株) | 丸橋 哲彦 | 南部建材工業(株) | 藤田金属(株) | 三星金属工業(株) | 自見産業(株) | 北海鋼機(株) | 東北支店 |
|-----------------|------|---------|----------|---------|----------|-------|---------|----------|-------|-------|-------|---------|------------|---------|-------|-----------|---------|-----------|---------|---------|------|
- (社)機動隊員等を励ます会

者の場の読広



スポーツは楽しいもの

森 重隆

(九州支部)

ラグビー・ボールが楕円球で、どう転がるか、どう弾むのか予測がつかないこと。そのことを強調して、ラグビー・ゲームを「人生」に喩える人がいます。でも、僕はそうは思わない。実力のあるチーム、十分に練習を積んだチームにとって、勝敗がそんな「偶然」に左右されることはないはず。現に、ラグビーというのは、番狂わせの少ないスポーツの代表格でしょう。異常なまでに勝敗にこだわる一方で、結果について「偶然」や「運・不運」でかたづけしてしまう風潮には、抵抗を感じます。

スポーツの中から、処世術や現実のビジネスのテキストを作ろうとする考え方も、ちよつと違うという気がします。十年前、新日鐵釜石のブレイキング・マネジャーを務めたので、しきりに「森式チーム管理術は？」式の質問を受けるのですが、とまどうばかりで、質問者の期待に応えられないのが正直なところです。強いていうなら、何でも自分が先頭に立ってやってみせること、メンバーの理屈ぬきにラグビーが好きだという気持ちを大切にすること。個性のある大人の集団なので、から、強制や管理ではなくて、毎日の練習を楽しく続けて、その中からラグ

ビーの最大のポイントである「チームプレー」のなかの自分の役割」を自分で知っていくことが大事なのです。そして、その役割をエンジョイする気持ちになってプレーするようにすれば、そのチームのラグビーは「ほんもの」じゃないかと思えます。

地球は丸い

天野 東和

(筆・東京本部)

私の机に、三日前の新聞が置いてあります。

とても興味深い広告があったので、捨てないで残しておいたものなのです。その広告は、新潟県が広告主としてユニークなデザインのものでした。

「環日本海」というタイトルで、日本海を囲んだ日本、韓国、北朝鮮、ロシアの地図がデザインされていて、新潟県はこれら近隣諸国との日本側窓口を担ってゆく、そんな内容のものでした。

変わっていたのはその地図で、南が上に、北が下にと、いつもの地図が上下逆転していたのです。

ですから、日本海を中心にして、左側に日本が位置し、上が九州で下が北海道、右側は上から韓国、北朝鮮、ロシア、となるわけです。

それは今まで全く知らなかった国の地図を見るようでした。

皆さんも子供さんの地図帳で「東アジア」のページを開いて上下を逆にしてみてください。

こうやってみると、韓国や北朝鮮、ロシアは私達の隣人なんだということが、今まで以上によく見えてきます。

「ヨーロッパ」のページを開いて「東」を上にする、イギリスはまるでヨーロッパにのしかかっているようです。

ナポレオンやナチスのヨーロッパ勢力の侵略から、イギリスがドーバー海峡を命がけて守り切ったのはこんな風に

地図を見ていたからなのかも知れませんが、ソ連が、何かと日本を目の敵にしてきたのは「アジア」の地図の「南東」を上にする、ソ連が太平洋に出ようとするのを日本がフタをしているように見えたからなのかも知れません。

私は今まで、北が上にくる地図帳で

まさかに備えて

「防災の日」に各地で訓練



▲ヘリコプターを使用した救出救助

物事を発想してきましたが、地球は丸いのですから、地図は東、西、南、北、どこから見ても良いわけで、そうやって見ているとまた何か新しいことが発見できるような気がします。

記録破りの猛暑が続くこの夏は、家でクーラーにあたりながら地図帳をクルクル廻して過ごそうと思っています。

年は津波に対する訓練も各地で実施、海に落ちた車の引き上げ（静岡）、夜間の津波に対する住民への通報と避難（千葉）などの訓練も行われた。また一方では、深刻な水不足のため消火放水訓練を中止したりするなどの自治体も見られた。

九月一日の「防災の日」に、関東・東海地方を中心とした十一都県で、東海地震と南関東地震を想定した総合防災訓練が行われた。今年、昨年の北海道南西沖地震を教訓にした津波対策と学校や家庭での自衛意識の向上を重点におき、各地で本番さながらの訓練が繰り返された。

参加機関は国土庁などのほかNTTやJR東日本などの民間の機関も加わり、警察職員約九万四千、ヘリコプター二十八機、警察車両約三千二百台を動員し、地域住民も三百八十八万人、合計千三百万人が参加した。

訓練は国土庁長官の「警戒宣言」発表後、十時にマグニチュード八の大地震が発生するという想定で行われ、本

都内でも、さまざまな訓練が各地で行われた。警視庁では、東海地域の観測データに異常が認められたという東海地震想定の子知対応型訓練と、東京に震度六の大地震が発生したため、ビルの倒壊や道路の亀裂の被害が発生したという直下型地震想定の子知対応型訓練を行った。

葛飾区では合同防災訓練が行われ、給水車による応急給水や地域住民の避難誘導（写真）、防災パソコンクイズや事故車両からの救出救助（写真）、河に流された市民をヘリコプターで救出するなど、警察職員三百名、地域住民一万二千名が参加、まさかの事態に備えるべく、官民一体となり真剣な訓練が行われた。



▲住民の避難誘導



▲事故車両からの救出救助

お知らせ

◎会員募集の推進について
会の組織安定化と財政の健全性の維持のため、会として九月から十一月までの三か月間集中して、会員の募集を推進しております。各支部ごとに獲得目標をお示ししておりますが、会員の皆様方におかれましては、会員を推薦して頂きたくお願い申し上げます。適任の方がおられた場合は、支部長または本部事務局宛ご連絡賜りたくお願い致します。

今月の言葉

機動隊員等を励ます会の各支部の総会は、毎年一回各地で開催されるが、総会の際、懇親会の最後に応援歌「この世を花にするために」が参加者全員で斉唱される。この世を花にするために、いのちを歌う機動隊。鬼にもなろうと機動隊。明日に生きる機動隊。さわやかに、しかし力強く機動隊の使命を声高らかに合唱されるひびきは、安全で住みよい地域社会を目指しての美しい声である。

この歌の歌詞の「花」は何を意味するのか。何の代名詞であろうか。この世にみにくい花は無い、汚れた花もない。それぞれに独自の色と香りと形を持って、その美しさを無意識の中に競う。花は究極の美である」と云った人もいる。花は太陽、水、土から恩恵を受けていて、人間の生きざまと生物同志の運命は基本的に変わりはない。まさに「花」は平和そのものであり、平和の代名詞である。

西洋から流れてきた「花言葉」には「悔いなき青春」「心静かな愛」等若人の情愛を表現したものが多いが、それ以外に希望、勇気、純粋、明朗、感謝等々そのまゝ人生訓になるような花ことばが沢山ある。一例として「雪割草」は、春の訪れを告げるように雪を割って、山地の岩の間や樹木の根もとに小さな花をつけるのである。その花言葉は「忍耐」であって、実に味わい深い思いがする。また全国の都道府県には、それぞれに県花が定められていて、その地方の特色をきれいに現わしている。青森のリンゴの花、千葉の菜の花、

福井の水仙、和歌山の梅、長崎の雲仙ツツジ等々花の咲かない所は無い。花は地球上どんな所にも咲いている。平和こそは全人類の永遠の願望であろう。

日本女性初の向井千秋さんのスペースシャトル飛行や、木星へのすい星衝突という話題のある今日、二十一世紀に向かって愛と勇気と知恵を持って、平和な地球環境を考えねばならない時代を迎えて、正に「この世を花にするために」機動隊員諸氏がその任務を全うされることを切望して止まないものである。

(理事・東京本部 馬場 鋼太郎)

第17回北陸支部総会開催



「第十七回北陸支部総会」が、去る九月二十日(火)午後五時三十分より新潟市内新潟グラントホテル三階「悠久の間」において、盛大に挙行されました。

出席者は、来賓として、公務多忙の中、平山新潟県知事、衛藤新潟県警察本部長殿のほか、新潟、富山、石川各県警の幹部並びに機動隊員等三百三十名の参加を得て、広い会場は熱気が溢れ、立錫の余地がない程の盛況でした。

特に新潟県警音楽隊と女性職員五十名の参加もあって、一層の華やかさに溢れていました。

会には橋本世話人の司会

が始まり、支部を代表して樋浦支部長が「社会の多様化、ボーダレス化が進展する中で、現在の治安水準を維持していただくために、励ます会としても出来る限りの支援をさせていただきます」と挨拶を行いました。

次に本部を代表して鈴木理事長が挨拶に立ち、まず機動隊員の日頃の御苦労を労い「名古屋での銀行支店長射殺事件あるいはテロ、ゲリラ事件等、凶悪な事件が増える中、機動隊に期待するところが大きい。励ます会としても一層の支援活動に取り組みたい。」と結びました。

次いで衛藤本部長殿から、励ます会の日頃の支援に謝辞を述べるとともに、「犯罪の国際化、ボーダレス化など警察事象も複雑困難化し、過去に経験したことのない事案への対応を迫られている。このような新たな対応には、集団警備力としての機動隊に期待するところが大きい。今後も「治にいて乱を忘る」の決意で訓練に精進し、治安

はげまし

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区中六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 寛
TEL 03(3739)0580
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)



▲平山征夫新潟県知事殿



▲衛藤文一郎新潟県警察本部長殿



▲「この世を花にするために」の合唱時に隊員に肩車される本部長

の任に当たる」と力強く述べられました。

続いて平山県知事殿が、祝辞を述べ、二十一世紀に向けた県政の重点施策に絡み、「警察機能の強化など防犯体制を整備し、治安維持のために行政と警察が一体となって努力しなければ施策の実現は、あり得ない。機動隊員の皆さんには、治安維持の中核として、一層の実力を養い県民の期待と信頼にこたえていただきたい。」と結んだ。

次いで東京本部松本世話人の音頭で杯を高々と挙げ懇談に入った。

日頃、女性あるいは一般民間人と話す機会が少ない機動隊員は、アルコールが入るにつれ懇親にも熱が入り、和気あいあいとした雰囲気の中で大いに盛り上がった。

アトラクションでは県警音楽隊による演奏のほか、各県警代表のカラオケ

第十二回 広島アジア大会開催

第十二回アジア競技大会は、十月二日から十六日まで広島市を中心とする四十一会場に、四十二の国・地域の選手等七千三百人が参加し、「わがちあう感動・結びあう友情」のスローガンのもとに開催された。

広島県警では九月十七日から長期間にわたり、他府県警機動隊員等の特別派遣をえて警衛警護警備を行い、無事完遂されました。

機動隊員等を励ます会としては、長期かつ大規模な警備を支援・激励するため、九月二十八日堀口中国支部長・内海新日鐵中国支店長が武居広島県警察本部長殿を訪問し、栄養飲料を贈呈いたしました。

(関係記事四面に)



▲左から武居広島県警察本部長殿、永井県警警務部長殿、堀口中国支部長、横内県警警備部長殿、内海新日鐵中国支店長

新婚物語

人生で一番楽しい時。新婚時代。笑いあり、涙もありの毎日の中で隊員の方々もそれぞれのあたたかい家庭作りに一生懸命です。皆さん、末永くお幸せに…♡



『新婚時代の思い出』

東北管区機動隊

柴田 祐司

平成三年六月八日、私達の結婚式の日である。結婚式当日まで成田出勤、新婚旅行から帰った翌日から自県での警備実施と、とても甘い新婚気分とはほど遠い毎日であった。

新婚でありながら、度重なる出勤でゆっくり過ぎず時間のなかつた私達。初めての夏休みを一日千秋の思いで出勤等に頑張っていた。

そして待望の夏休み。さっそく二人で、まずは映画館の中へ。ところが、途中から私の喉の調子がおかしくなっ

た。しかし、せっかくの休みを楽しんでいる妻の様子を見て言い出すわけにもいかず、最後まで我慢していた。

それが悪かったのか、はたまた度重なる出勤等から開放されて緊張の糸が切れたのか、帰宅するなりパツパツ寝

込んでしまったのである。

熱は三十八度から下がらず、扁桃腺は真っ赤に腫れて、食事もう通らない有り様。看護婦さんに「こんな大きな扁桃腺、見たことないわ」と笑われてしまうほど重症である。

結局、寝たきりの夏休み一週間となつてしまった。

妻のがっかりした顔を見て「君の顔を見て安心したせいかナ」と弁解したもの、今日の私と妻との力関係を築いた新婚の夏休みであった。

『夢の新婚旅行』

関東管区機動隊

生井 武志

私は本年五月、関東管区機動隊第二大隊の前期入校訓練中に結婚式を挙げました。

結婚前には、妻との甘い新婚生活を夢見ていましたが、現実には厳しく、結婚式の翌日には関東管区警察学校校庭において、同僚隊員と共に、汗と泥にまみれ、厳しい警備訓練を行っていたのです。

その後も、他県への応援出勤、後期入校訓練等が連続しており、私の所属する交通機動隊の業務多忙と相まって、現在まで新婚旅行はおあずけとなっております。

こんな私に同情して、同僚隊員は、県外への応援出勤の際、「出勤を兼ねて新婚旅行を行えばよい」などと冗談まじりに慰めてくれていましたが、薄情にも今では、私が新婚旅行に行けなかったことさえ忘れてしまっている様子です。

家内は、新婚旅行にいけなかったことについて、「仕事だから仕方ないわよ」と健気にも警察官、そして管区機動隊員の妻として理解を示してくれていますが、本心ではやはり、新婚旅行に行きたいと思っているに違いありません。

私は、こんな妻の心情を思い、時間は若干過ぎてしまいましたが、来春、管区機動隊を除隊したならば、必ず誰よりも素晴らしい新婚旅行に行きたいと、今から計画しています。

こんな訳で、結婚当初から、管区機動隊の厳しさに直面してしまいましたが、除隊後の甘い新婚旅行を楽しみに、今日も心優しい(?)同僚隊員と共に、厳しい訓練に励んでいます。

『新婚生活in成田』

中部管区機動隊

斧田 利明

「成田にいた頃は良かったねえ」妻はこの頃、泣く子をあやしながらよくそんなことを言う。

平成二年四月、私は岐阜県警察から千葉県警察新東京国際空港警備隊に出向している時に結婚した。

それからちょうど一年間、成田で新婚生活を送ったわけである。

当時の成田は、中核派を始めとする各極左グループの団結小屋撤去で、空港警備隊の私には業務の続く大変な時代だったので、正直言って早く岐阜に帰りたいと思っていたが、生まれて一度も岐阜以外の土地で暮らしたことのない妻にとっては、まるで一年間新婚旅行にいつているような気分であったのだろう。

子供のいない身軽な私達は、非番休日のたびに夢の大東京へ買い物に行ったり、東京デイズニールランドなどの東京近郊の様々なレジャーランドに行ったりしたものである。

特に、海のない岐阜で育った私達には、成田からわずか三十分で行ける九十九里海岸での海水浴は、とても魅力的だった。妻は海に行くため弁当を作って、非番で帰ってくる私を待っていることがよくあった。

岐阜に帰ってきて早や三年、暑い日が続くと九十九里での涼しい夏と楽し

い成田での生活を思い出す私達夫婦である。

『新婚当時を振り返って』

北海道警察機動隊

富山 典明

私が結婚した九月は、脂の乗った秋刀魚や鰯がおいしい季節でした。

新婚間もない頃、贅沢していたせいか、このおいしい魚の存在を忘れていました。

しかし給料日近くになると、昨日までは肉の豪華料理が、秋刀魚や鰯の塩焼、カバ焼き、スリ身やマリネ等といった魚づくしに変わっていききました。

「秋刀魚はやっぱり旬だね」「栄養はあるし、安い」等とはじめのうちは言っていたも、続けて食卓に出されると、ややうんざり辟易するものです。

鰯などは、贅沢になったせいとか、口にするなどとはばく無かつたのですが、妻の愛情こもった鰯の七変化料理に感心したものです。

結婚した十一年前、鰯十四百円位で釧路の町で買った頃、家計をすいぶん助けてくれたものです。

秋刀魚や鰯の効用、栄養等が見直されて高級になりつつある昨今、新婚当時、料理に奮戦していた妻を思い出し、味を噛み締め今夜の肴にしています。

『七十枚のカラー写真』

和歌山県警察機動隊

森 一夫

昭和五十八年十一月十八日、ちょうど十年前になりますが、新婚旅行で初めて海外旅行に行きました。

旅行に先立ち、新婚旅行に行ってきたばかりの同僚が「カメラも小型の方がええで。わしの持っていけよ」と小型のオートフォーカスカメラを貸してくれることになりました。

初めての飛行機でずいぶん緊張しましたが、途中、アンカレッジ空港で、給油のため時間待ちする頃には(當時はヨーロッパへ行く直行便が無くアンカレッジで四時間待った)、ジェット機にも慣れてきて、例のカメラでパチ、パチと撮り始めました。

パリ一日目。凱旋門、モンマルトルの丘をパチパチ、たまに嫁さんパチパチ；もう二十五枚。ようさん撮れるカメラやな。ハーフやな。ハーフやつたら倍撮れるな」と勝手に思い込み…。

二日目。エッフェル塔、ベルサイユ宮殿をパチパチ、今度は二人でパチリ。七十枚程撮っても終わりにならず、段々と不安になってきて、夜、部屋を暗くしてカメラを開けることにしたのです。

カメラを開けた瞬間、まさに、目の前が真っ暗でした。(フィルムが入っていないかつたのです！私の入れ忘れでした。)

翌日から嫁さんは、ツアーの人々の「そら、もう一回連れて来てもらわんと」等、同情を一身に受けることとなり、その時からわが家のパワーバランスが決定されたようです…。

『新婚生活のエピソード』

広島県警察機動隊

高橋 由治

私は、平成二年に警察官を拝命し、平成四年に機動隊へ配置換えとなり、日夜警備訓練に励んでいます。

私が結婚したのは、平成五年二月二十一日です。新婚ホヤホヤとは言えませんが、一年半が経ち、昨年の十一月にはかわいい女の子ができました。

新婚当時のエピソードですが、その日は仕事が終わったので、妻と二人で県内の観光地に出掛けました。観光地を散策中の午後二時頃、ポケットベルが鳴り、機動隊に連絡をとると「緊急出勤が入った。直ちに帰隊せ

よ」との連絡で、私は妻と愛車を置いて電車で機動隊へと向かったのです。出動を終えて帰宅してみると、真つ暗な部屋の隅で小さくなって泣いている妻の姿がありました。

理由を聞いても一言も喋らずしばらく沈黙が続く。妻が重たい口を開いて分かったことですが、妻は大阪生まれの大阪育ちで、広島等の地理等は全く分からず、心細い思いで、普通一時間で帰れる道程を三時間もかかってようやく帰宅したとのことでした。

その時私は内心「しまった」と思いました。仕事のためとはいえ、妻には大変心細い思いをさせ、申し訳なく思ったものでした。お蔭でボーナス日には、大変高価な買い物を買ってあげた思い出があります。

本年十月二日から二週間、広島で「第十二回アジア競技大会」が開催され、開会式には天皇皇后両陛下並びに皇太子同妃両殿下が、閉会式には皇太子同妃両殿下がご臨席されます。

広島県警察にとっては過去経験したことのない厳しい警備であり、我々機動隊員としても大変厳しい警備活動となるものと思われませんが、明るい家庭がある限り、警備の金メダルは取れるものと確信しています。

『新婚物語』

高知県警察機動隊

久川 勝志

昭和六十三年一月二十四日。この日が私達の結婚記念日である。しかし、実際結婚届けを出したのは一月三十一日でした。

普通であれば結婚式を終え、当日又は翌日に婚姻届けを出し、そのまま新婚旅行といくのが本当であるが、私達の場合、新婚三日目にして離ればなれにならなくてはならない理由があったのです。その理由とは、四国管区警察学校への入校でした。

入校中は妻の事が心配で、毎日、毎晩電話をしていました。

この電話も一つの戦争で、数が少ない公衆電話を、前の人の迷惑にならないよう順番待ちをし、空くと同時に取らないと、誰かに取られてしまうという争奪戦で、それに勝ち、やっとのこ

とて妻の元気な声を聞くと、ちよっとホームシックにかかっている私の気持ちを和ませてくれました。

今になって思うと、妻の事が心配でというのではなく、自分のために毎日声を聞いていたのだと思います。

『只今、新婚中』

鹿児島県警察機動隊

野間 亮二

結婚は昨年五月二十二日。もう少しで結婚して、約一年三か月がたとうとしています。

私達は、同じ大学の剣道部で、厳しい男女交際禁止という規則の中、交際が始まりました。

あの頃は、「早く結婚でもして、ゆつくりしたいね」というのが二人の口癖でした。

妻は、大学卒業後、刑務官となり、山口県の方へ帰り、私は鹿児島と、離れて暮らすこと三年。やっと辿り着いた今の生活は、夢にまで見た生活であるのです。

「結婚は人生の墓場だっていうけど、その意味がなんとなくわかってきたよな」と、妻。

環境が違う鹿児島に嫁ぎ、見えぬ所で苦勞しているのだから、お互いを大切に頑張っていこう。先はまだまだ長いから。

『夏の日の思い出』

青森県警察機動隊

本州最北端に位置するわが機動隊には、例年のごとく、涼しく、短い夏が訪れるはずだったのです。

しかし、本年の異常気象は本県にも及び、真夏日が一月近くも続くという、数十年ぶりの記録的な猛暑となったのです。

極寒の中での部隊活動に絶対的自信を持つわが機動隊の最大の敵は、「真夏の太陽」であります。今年の異常ともいえる「真夏の太陽」のため、息も絶え絶えの訓練が続き、青春の汗を流す毎日となったのです。

しかし、そんな連日の炎天下の中で、背筋が凍るような冷気を感じ、冷えた汗を流す一団がいました。それはわが機動隊に今春入隊した十八人の新人隊員だったのです。彼らにとって、春の管区機動隊の合同訓練を終了した一人

『徳島県機からのたより』

徳島県警察機動隊

皆さんこんにちは。今年は全国的に猛暑が続き、水不足に悩まされましたね。わが徳島県は、今年の水不足で有名になった四国の水瓶、早明浦ダムを上流に持つ、吉野川が東西に流れており、その豊富な水量のおかげで断水ということはありませんでした。

さて、わが徳島県警察機動隊は、吉野川の中流に位置する勝浦川沿いに位置しており、北側には警察学校、南側には日乃峰山という大変恵まれた環境にあります。そういう環境の中で、今夏は訓練塔によるレンジヤー訓練、勝浦川での舟艇訓練等の訓練を行い、全国的に有名な阿波踊りの雑踏警備をはじめ、関西国際空港に一日六往復している高速船の重防警戒、台風で増水した河川での水難救助等の各種出動を行いました。

前の隊員のはずだったのですが、未経験の、恐怖の訓練が待っていたのです。それは、高さの恐怖に耐える精神的鍛練を必要とするレンジヤー訓練だったのです。

足がすくむようなレンジヤー塔の高さ、ひとつ間違えば軽傷ですまないという現実、そして、愛情か鬼心か判別できない先輩隊員の「機」に追い詰められた訓練が、猛暑の中、連日続けられたのです。彼らは空間に一步を踏み出した瞬間から、体の一部が地面に着くまで恐怖のため、猛暑を感じる余裕はなかったでしょう。

しかし、考え方によつては、暑さを忘れ、この猛暑を過ごした彼らが一番幸せだったのかもしれない。

秋風が吹く頃には、この夏の恐怖の思い出とともに、体力、気力の充実に加え、強靱な精神力を身につけた十八人の真の機動隊員が誕生することでしょう。

また、徳島県警察では、昭和五十四年来の県機と管機の合同運用が、今年四月から管機が機動捜査隊、交通機動隊、機動隊と一個分隊ずつに分散されて運用することとなり、早や半年が経ちました。こういう分散配置というものが、なにごと初めの試みというところもあり、配置になった隊員達も最初は戸惑う場面もあったようですが、半年経って仕事も覚えてどうにか日常の勤務軌道にのってききました。

こういった徳島県警察機動隊ですが、他の県に負けないよう隊員一同、日々自己研鑽に励む毎日です。



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---------|---------------|-------------|---------|-----------|------------|---------|--------|--------|------|------|---------|------|-------------|--------------|---------|---------|----------|---------|-------|-------|
| 北越メタル(株) | 早達運送(株) | 広島シャーリング工業(株) | 太陽シャーリング(株) | 宮崎精鋼(株) | 東海鋼材工業(株) | (株)テクノ・タジマ | 岡谷鋼機(株) | 国見山(株) | (株)クボタ | 橋山和正 | 木村利秋 | 大東港運(株) | 村山文雄 | (株)日鐵流通センター | 東京テレメッセージ(株) | 大洋製鋼(株) | (株)周東商会 | 高周波熱錬(株) | (学)嘉悦学園 | 光れ機動隊 | 任務の完遂 |
|----------|---------|---------------|-------------|---------|-----------|------------|---------|--------|--------|------|------|---------|------|-------------|--------------|---------|---------|----------|---------|-------|-------|

者場の読広



天麩羅

草野泰太郎

(監事・東京本部)

十六世紀の南蛮渡来によって、多くのポルトガルの文物がわが国に導入されたことはよく知られている。

今では外国人の間でも高い人気をよんでいる日本食といえば、テンプラの名が挙げられる。このことばがポルトガル語に由来するものであることはいうまでもない。

ところで、日本人の発音するテンプラに近いポルトガル語として、よくtemperarが引き合いに出される。この語には調味するという意味が含まれている。そこで三人称に用いるtemperaのimperがiperaに変じてテンプラよびになったとする説である。それなりの説得力のある解釈といえよう。

ところがこのテンプラに対しては、いま一つの説があることも見逃せない。十六世紀といえば、ヨーロッパでは教会が国と社会の中心に置かれた時代である。いさおい教会の用語は、人々の生活と習慣に深い関わり合いを持っていて、それは想像に難くない。教会には、一年間に行われる伝統的な宗教行事が定められていて、それに対応する季節の節目をtemporaとよんだ。もとより教会用語のラテン語であって「時」の複数形である。

キリスト教では、キリストの受難に先立つ四十日間を四旬節とよび、祈りと苦業に当てる。この時期には肉食を断つ習慣がある。ポルトガルでは肉に代わる食べ物として、揚げ物が好まれたといわれている。

人々にはそうした食べ物をtemperaraの食べ物とよぶようになった。日本のテンプラはつまりこの名残りに外ならない、という解釈もある。

いま日本は大変革

西田 鐵男

(理事・東京本部)

昨年の冷夏に続く今年の猛暑。その極端な逆転現象は異常で無気味でさえある。冷夏は米不足を起し、大袈裟に云えば世界中の米市場を騒然とさせ、家電不振の原因となつて、我が国のやつの景気上昇気運に水を差す結果となった。気象台観測史上初めてと云われる今年の猛暑は、たちまちクラーの品不足を招き、あれほど深刻であつた米不足は豊作により一転して米余りとなった。各地に深刻な水不足を来し、取水制限が行われたかと思えば集中豪雨で空港、交通機関がマヒするなど、このところ気まぐれな気象に翻弄されつづけている。

また、近年の経済を顧みると、金融機関の過剰融資による株価、地価の高騰がバブル経済を惹起し、いざなぎ景気をも抜く好景気に、日本中が躍り狂つたのも束の間、融資総量規制という極端な政策のために、一気にバブル経済が崩壊し、一転して株価、地価が暴落した結果、日本経済は空前の平成不況へと突入した。企業の多くは、資産デフレというツケに苦しみながら、生き残るために次々にリストラ、リエンジニアリングを果敢に実行しなければならなかった。膨脹した組織を縮小し、

何千名という人員削減を発表した企業は枚挙にいとまがない。このように経済も大転換現象が起つたのである。

また、政治も例外ではない。自民党単独政権の五十五年体制が崩れ、政治改革をスローガンとした細川内閣が誕生したのも束の間、自民、社会の連立村山内閣が誕生するという目まぐるしさである。保守も革新も大きな政策綱領の変革を余儀なくされ、政局がどのように動くのか予断を許さない。このように政治でも逆転劇が繰り返される情勢である。

スポーツと政治、経済を一緒にはできないが、今年のスポーツ界ことにプロ野球界も、逆転とまでは行かなくともそれに近い状況である。今年は巨人と西武が中盤までは断然リードしていた、両者による日本シリーズ対決を疑う者はなかったが、今や「混戦熱セ二強の斗い」と状況は一転してしまった。マジックを早々に点灯した巨人がまさかの八連敗を喫する一方で、下位広島が破竹の十連勝で猛追、巨人を逆転しそうな勢である。寄稿している今、巨人、広島の間には一・五である。本紙発行の頃には日本シリーズの優勝が決まっている筈だが、今年のプロ野球界も又、めまぐるしい変化を見せてくれた。

このように今の日本は、気候、政治、経済、スポーツ等いずれを眺めても、かつてないほど目まぐるしく変化し、逆転する時代であると云えそうである。我々はこの時代にあつて真に「あるべき日本の姿」を見失うことなく生きていかねばならないと考える。

国家治安を要する機動隊の皆さんにおかれましては、かかる世の中の日まぐるしい変化に惑わされることなく、不変、不動の姿勢を崩さずに、真の「治安大国日本」を支え、さらに治安の維持、向上に努められますよう心から念じて止みません。

アジアの灯よ 永遠に

第十二回アジア競技会警衛警備見事完遂

十月二日の開会式では、天皇・皇后両陛下、皇太子・同妃両殿下がご出席されたほか、IOC・サラマンチ会長、OCA・アーマド会長、ヨルダン・ハヤ王女等の外国要人や各国選手・観客等約五万五千四百人が参加して盛大に行われ、天皇陛下におかれては大会の開会を宣言されました。

式典終了後、天皇・皇后両陛下におかれては、広島空港から新装なった関西国際空港を経由して、フランス、スペイン・二カ国公式訪問の途につかれ、また皇太子・同妃両殿下には、競技をご覧になられたほか、県下をご視察されて一旦帰京され、十月十六日の閉会

式にもご出席あそばされました。

地方行事に、天皇・皇后両陛下および皇太子・同妃両殿下がおそろいで行幸啓あそばされたことは、昭和五十四年の大阪万国博覧会以来今回が二度目であり、微妙な国際情勢を背景とする動きもある中、広島県警をはじめ他府県警機動隊員等のご努力により警衛警備を行い、無事完遂されました。

なお、警視庁および大阪府警察でも、広島県警察と同様それぞれ管内からのご出発、ご帰国にあたり、万全の警衛を期して無事終えられました。出勤された機動隊員の皆さん、心からご苦労様でしたと申し上げます。



▲広島での警衛 (広島県警察)



▲羽田空港からご出発の両陛下 (警視庁)



▲警備のようす (警視庁)

お知らせ

◎九月三十日午前四時十八分、二重橋交差点横断歩道において、天皇・皇后両陛下の警衛警備勤務交代のため横断中の警視庁特別機動隊員が、脇見運転のタクシーにはねられ、受傷しましたのでお見舞い致しました。◎十月五日匿名社より百万円のご寄付を頂戴致しました。当会の運営のため、有効に使用させていただきます。ありがとうございます。

社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都大田区仲六郷4-32-5
 〒144
 発行人 鈴木 寛
 TEL 03(3739)0590
 購読料 年間1,200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)

▲雑踏警備のようす

地球の滅亡、人類存亡がかかるこの大事
 時になんと云う間意つこいことと思われ
 る。危機を救ふ人も場所も知りまはな
 味われつつ、せめて初心にかたまり、人々
 代を如何に生きるべきかを自分なりに考
 動してみることに肝要であることを提唱し
 次第であります。

(理事・九州支部長 高橋重廣)

大人は得道の修行にげきまふ。自然に
 さしく己に厳しく修行をうけりかえし、次第
 自己の人格を形成し自己完結に向かつて行
 と教えます。

近代に於いては、人間こそ凡てのもの
 にあると云う思いがあらりました。

しかし二十世紀の科学は人間も自然の
 部であつた。古今を同じ洋の東を問わす。空
 や水や土等の自然があつて人間を含め地球
 の生物は互のに依存し助けあつて生きて来

(理事・九州支部長 高橋重廣)



『婦警機動隊第一期生として』

警視庁第一機動隊

近藤 由美子

平成六年四月十九日、私は未知の世界への期待と不安に胸を膨らませて第一機動隊の門をくぐりました。三週間の新隊員訓練を終え、一人前の機動隊員となることが、如何に厳しく、日々の努力が必要であるかを痛感いたしました。

機動隊員として初めての仕事は重防警備でした。私は一時間の立番が長く感じられ、その間、「こんな私で大丈夫だろうか。失敗したら先輩方に迷惑をかけてしまう。何かあったらどうしようか」という不安な気持ちで一杯でした。

そんな時、初老の婦人が「女性の機動隊員ですか？大変ですね。暑くなってきましたが、体に気をつけて頑張ってくださいね」と励ましの言葉を下さいました。

私は今までの自分を恥じると同時に、責任の重さを深く感じました。「失敗を恐れて仕事をするのは役目を果たせない。今の自分に何が出来るか自ら考え、毎日ベストを尽くすことが大切なことなんだ」と思い直しました。

幸い私は素晴らしい伝統を築いてきた先輩が大勢います。全てを学びとるつもりで勉強していこうと思っています。

『天皇皇后両陛下小笠原ご訪問』

警視庁第二機動隊

高橋 徹

本年二月、我々は東京から約千キロ離れた小笠原諸島において小笠原返還二十周年記念式典に出席される天皇皇后両陛下下行幸啓警備に従事することになった。竹芝桟橋を出港し、太平洋上で右へ左へのローリングが続くこと約三時間、ようやく小笠原・父島に到着した。

島の周りは、座礁した戦艦や古びた高射砲が無残な姿をさらし、戦争の爪痕を残していたが、島内に一歩足を踏み入れると、そこはハワイやグアムを思わせるような南国ムード漂う別天地であった。

当日、両陛下の小笠原ご訪問を歓迎するかのような青空の下、両陛下ご搭乗の飛行艇が大村港に着水、緊張感が走る。両陛下ご滞在中は南国特有の気象の関係で、日程の一部に突然の変更が生じましたものの、冷静沈着な部隊行動によって無事に任務を達成することができた。

また、全島挙げての歓迎は、平素都心で目にしているものとは大きく異なり、感激さを感じる場面も少なくなかった。わずかに十日という短い小笠原での警備であったが、島民の親切な心に触れ、その協力を得ながら本警備を完遂し、満足感をもって小笠原を後にした。

『警視庁機動隊婦人警察官第一期生』

警視庁第三機動隊

八崎 まゆみ

入隊を希望し、その夢がかないました。入隊後、天皇皇后両陛下ご訪米及びご訪欧に伴う警備、日教組大会に伴う警備、花火警戒等、数々の警備を男性隊員と一緒に従事し、戸惑いや不安もなかったわけではありません。時には厳しく、辛いこともありましたが、しかし、通り返りぐりの女性に「ご苦労様、女性でも男性の真で頑張ってください」と声を掛けられ、勇気づけられました。

今は入隊してよかったと思うと共に、警視庁機動隊婦人警察官第一期生として誇りと治安警備のプロとしての自覚を持って邁進していこうと思っています。

『初心に返って』

警視庁第四機動隊

宇都宮 浩

第四機動隊に着隊して約四年、数々の警備に従事してきました。大警備においては連日厳しい勤務が続く、兎角マンネリがちになってしまっています。そのような時、上司・先輩の仕事に対する姿勢は、私達の模範としての貴重な教訓です。

本年七月、赤坂御用地の常駐警備に従事中のことでした。分隊長と共にパトカーに乗車して遊導勤務中、高速道路を警戒している配置員から「非常駐車帯に駐車中の普通乗用車が盗難車両である。該当車両は新宿方向に進行した」旨の無線を受けました。分隊長は「さあ、進行方向の出口で検問」と指示し、高速出口に向かいました。その結果、該当車両が出口から出てきた為、職務質問を実施、自供を得て盗難犯人として緊急逮捕しました。

分隊長は重防周辺の地理を全て頭に入れ、突発事案が発生した時のイメージトレーニングをしており、その成果が今回の検挙に結びついたと言っていました。私も新隊員の頃は、綿密な実査と突発事案に備え、トレーニングを繰り返していました。月日の流れと共に気持ちが緩み、情性に流れてしまいましたが、緊張感を持続し、克己心を持つことがいかに大切であるか教わることができました。

今後、私も着隊した時の気持ちを思い起こし、初心に返って機動隊生活を充実したものにしていきたいと思います。

『特機伝令として』

警視庁第五機動隊

西河 修

着隊して早くも一年が過ぎようとしています。今年も様々な警備事案がありましたが、一番印象に残った警備といえば春に実施された「韓国大統領来日に伴う警備警護警備」です。私はこの警備に中隊員としてではなく、特機の伝令として従事しました。特機の伝令は実際に自分がやって初めてその忙しさを実感しました。中隊長命や指示を確実に伝えることは勿論、隊本部各係との連絡調整、編成表の作成等、一か月の警備期間はあるという間に過ぎてしまいました。

特機隊員の警戒力は素晴らしく、職務質問による一般車両を使用した右翼の早期発見、検問中における極左構成員の発見、又重防直近のビル火事早期発見による適切な初期消火活動等、一か月の警備期間中に輝かしい成果を残しました。短い期間でしたが特機伝令として無事警備を完遂でき、大変充実した期間でした。

この貴重な体験を糧とし、来年も引き締めて勤務に従事したいと思っています。

『韓国大統領来日警備』

警視庁第六機動隊

山下 憲一

まるで別世界。辺りの人々の視線が集まる。ここはホテルニューオータニ。私は金泳三韓国大統領の晩餐会が行われる会場の屋根裏裏検索の為、レスキュー隊員として資器材を片手に正面玄関から入館した。私達のレスキュー服は特に目立ち、ジャージ姿でジュリアナ東京に入ったような気分であった。そんな気分をよそに検索開始。とにかく広い。さすが一流ホテルだと思われた。一時間程の検索の後、特に不審物件もなく無事終了した。その後は私服員として別館エレベーターでの警戒に当たった。各国の旅行客をはじめ有名人も多い。「おっあれは巨人

軍の長嶋監督だ。政界からは武村正義氏ではないか……」偶然の出会いに心も弾む一流ホテルでの警戒。

日没も過ぎ、午前零時をまわる。館内には人気がなく静まり返る。何事も無い。「不審者はいないか？不審物件、不法事案はないか？」警備完了までの数時間、警戒にも自然と力が入る。段々と辺りが明るくなってゆく。夜明けだ。朝日が美しい。厳しかった勤務の日々が頭を過る。

数時間後、大統領搭乗機は無事、日本を後にした。機動隊へ入隊し、最初の警備は都内一件のゲリラ事案もなく、無事幕を閉じた。これからは数多く体験するであろう各種警備、常勝無敗の機動隊員として頑張っていきたい。

『凶器検索』

警視庁第七機動隊

湯口 和也

日本列島全体に記録的な暑さが続く平成六年八月、わがレンジャー部隊に当庁東村山警察署管内で発生した殺人死体遺棄事件の凶器検索の任務を命ぜられた。場所は栃木県日光市。観光名所として有名な所である。取り調べ中の被疑者の、いろは坂から凶器の石塊を山中に投げ捨てたという供述に基づき捜索が決定。

現場に到着し詳細に指示を受け、早速ロープを展開し、凶器の検索にあたる。降下地点を確認すると、五十メートルロープを二本張ってもまだ下には届かぬ断崖絶壁。自然と足がすくむ自分に気合を入れ直し降下、検索作業へと移った。

検索作業は足場が悪く、浮き石が沢山ある為困難を極めた。このような悪条件の中作業を続けていた私の上方から「落し！」という声があり、頭上を見上げる人間の大さき程もある石塊が私をめぐり落ちてくる。私は座席姿勢のまま壁を横走り、紙一重で落石をかわすことができた。はっとすると同時に全身から冷汗がどっと出てきた。

その後の調べで被疑者の供述は嘘と分かり、凶器検索は無駄骨となってしまうたがこの検索は一生忘れることのできな

『経験は力なり』

警視庁第八機動隊

山下 英幸

誰もがそうなのではと思うが、私も着隊した頃は右も左も分からず、「あれやっつて」「これやっつて」に右往左往の毎日でした。そんな中、初めて右翼対策に就いた時のことです。

私は官庁街のある交差点で触角として立っていました。先輩に「右翼車両を発見した時は、まず最初に〇〇右翼」と無線で報告するんだぞ。車両台数・色・型・ナンバー・車種・進行方向はその後でいいから」と教えられ、何度か頭の中で反復し、準備していました。

そんな時、繁華街の雑踏の音に混じって右翼の音楽街宣言が聞こえたのです。私は最初の一報を入れたのですが、現実には右翼車両を目の前にして、その後の報告内容が空白になってしまいました。自分で何を言ったらよいか全く分からなくなりました。

今ではそのような失敗はありませんが、今まで多くの失敗を繰り返して、経験したことでの自分があるように思います。経験は力なりと実感した出来事です。

『日本共産党第二十回大会警備』

警視庁第九機動隊

秋場 則男

第九機動隊に着隊し八年目を迎える私にとり、他府県への派遣は幾度となくありましたが、今回の静岡県警への派遣程思い出さなかった派遣はありません。

私達の任務は右翼対策であり、派遣に際しての準備段階で、第一に静岡県の暴騒音楽例等関係法令を理解、研究することから始めました。その後、各隊員の任務が細分化され、担当が決定し、その担当者ごとの責任を明確化し、部隊の編成がなされました。

時間があれば隊庭にて、あらゆる事象を想定し、訓練を重ねました。同時に派遣される八機と共に合同訓練も実施し、

「やるべき事はやった。あとは現場で攻めの警備を」と合言葉に入隊しました。

いよいよ警備の日、早朝から暑い日差しが照りつける中、完全装備で配備についた九機三中の部隊は、中隊長指揮の下で施行後初めて暴騒音楽例を適用し、右翼構成員を現行犯逮捕したのです。これはまさに、担当を明確にし訓練を重ね、警備に臨んだ結果だと思えます。

今後も今回の経験を生かし、何事にも前向きに、積極的に仕事を進めていきたいと考えています。

『空港警備の思い出』

警視庁特科車両隊

茂庭 隆征

平成六年六月、天皇皇后両陛下ご訪米警備で、私は羽田空港の国道三五七号線において車両検問に従事しました。空港での警備は初めてで戸惑いもありましたが、「絶対に不法事案を起こさない」という力強い信念を持ち、取り組みました。

この検問は、空港北トンネル出口の中央車線に位置し、車両を誘導して行う検問ですが、車両が高速の為、瞬時にも気を抜くことが出来ない状況の連続でした。

私は検問の一番前で不審車両を選別して引き込むという任務につきました。トンネルから出てくる車両が最初に目にするのは私の停止灯です。最初の頃は猛スピードで接近してくる車両が怖くてうまく誘導できませんでした。が、俺の合図で検問の成否が決まるんだ」と思うと急に勇気が湧き、停止灯を大きく振って明確な合図ができるようになりました。

事故もなく迎えた最終日、両陛下が無事に空港を飛び立った時は「ゲリラを防いだんだ。完璧な警備だったんだ」と心の中で叫びながら、最後の車両に向かつて大きな声で「ご協力ありがとうございました」と自然に敬礼していました。

困難な場所での検問でしたが、「何事もやる気をもってやればできるんだ」という自信を与えてくれた警備でした。

これからも、この空港警備の経験を生かし、各種警備出動に臨む決意です。

便 送 直 報 情 機 県

『資格取得をめざして』

愛知県警察機動隊

機動隊の各種活動、装備資器材の取扱には、特殊技能、資格、免許が要求されるものが多い。例えば、災害警備で出動する場合、部隊を輸送するのに必要な大型自動車運転免許、フォークリフトを活用すれば、大型特殊運転免許、高所から被災者を救出する場合は、レンジャーの特殊技能が必要であり、船外機を取りつけたボートで潜水部隊が捜索活動を実施すれば、小型船舶操縦士の免許、潜水士の免許が必要になる。

また、警察活動を実施する上では、外国語、危険物・火薬取扱等、より専門的な知識や技能を要求される場合も多く、それに伴い各種免許・資格の取得が欠かせないものとなっている。

『重防警戒犬出動』

滋賀県警察機動隊

昨年、警視庁や奈良県警への特別派遣中の隊舎の警戒警備に隊員のアイディアで雑種犬を隊舎で飼育することになった。

この雑種犬、飼育当初は警戒犬とは名ばかりで、大食漢で昼寝付きの毎日。訓練と称し隊員が調教すれどもなかなか意にならず、あげくの果て「なまけもの」と、ありがたい名前をもらったが、隊員のためぬ調教訓練（しごき）の結果、音なきに吠え、姿なきに吠え、一応部隊舎の警戒犬として当直隊員と共に、夜間の警戒警備の任務についていた。

そんな雑種犬「なまけもの」に警戒警備犬として初出動の出番がまわってきたのは昨年八月二十八日。

本県では新幹線沿線の警戒警備の任務についているが、警戒区域は田畑と山々が延々と続く警備環境の中、見えざる敵をいかに発見するかが最大のポイントで、

資 格 取 得 一 覧 表



掲示板には、隊員の氏名と取得している小型船舶操縦士免許、潜水士免許、火薬取扱主任者免許、大型自動車運転免許等の免許と外国語検定等が表示されており、一人でも多種の免許・資格を取得している者もあり、隊員達は掲示板を眺めながら、より多くの免許・資格取得の意欲を新たにしている。

役に立つものは何でも使おうと、この雑種犬の出動となった訳である。

今では、神社等の重要防護対象施設の警戒警備にも隊員と共に出動し、隊員にない動物的感覚を遺憾なく発揮し、音なきに吠え、姿なきに吠え、警戒警備の戦力として任務についている。



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|-----------|----------|-----------|------------|---------|---------|-------------|-----------|---------|-------|-------------|---------|-----------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|--------|---------|---------|
| 誇りと使命感
充実の機動隊 | 東 鋼 業 (株) | 栗田工業 (株) | 高周波熱錬 (株) | 山陽特殊製鋼 (株) | (株)三榮商会 | 杉 尾 榮 俊 | (株)スチールセンター | ツツミ金属 (株) | 木 村 政 次 | 黒 田 一 | 谷 本 鉄 鋼 (株) | 村 上 益 一 | 明 鋼 材 (株) | 丸 定 産 業 (株) | 中 京 製 線 (株) | 三和鉄構建設 (株) | 堀 口 海 運 (株) | 中 越 通 運 (株) | (株)辻さく | 高 橋 重 廣 | 東 北 支 部 |
|------------------|-----------|----------|-----------|------------|---------|---------|-------------|-----------|---------|-------|-------------|---------|-----------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|--------|---------|---------|
- (社)機動隊員等を励ます会

者の場 の読



一期一会

堤 直人

(東京本部)

明るい話題が肩身の狭い世の中になったのでしょうか。楽観論が異端視されて、悲観論が歓迎される妙な時世となっている気がしてなりません。これも長びく不況のため、戦後五十一年の綻びが出始めたのでしょうか。

とはいえ、本紙に寄稿される機動隊の諸氏の文には、明るさが充ちており、清涼剤となります。「青い山脈」を彷彿させられます。

そこで悲憤慷慨することは側に置いて。

九十六、九十七。これは最近の私の多数参加のゴルフコンペでの成績でした。なんと前者が優勝、後者がブービー。一打差でこの落差。勝負の神様はなかなか味な計らいをするものと、世の中、満更捨てたものでもないとい、一人悦に入っております。そのころは、新ペリア方式です。

もうひとつ、ゴルフの話題を。会社の創立記念日にお客様を接待してゴルフコンペを行い、女子プロにも参加して貰ってありました。ここ数年参加したプロが、今年、プロの公式大会で初優勝を果たしました。(四十才を超えてのことです)早速、祝電を差し上げたところ、鄭重なお礼状が参り、それから、テレビ中継に関心が強まっていたところ、間もなく二勝目を勝ち

とられ、賞金ランキングの上位で頑張っておられます。

ところが、後日談として仄聞したところによると、私の会社のゴルフコンペで、偶々そのプロとプレーされたある会社(超優良会社)の社長さんは、初優勝のお祝いに紅白のワインを贈られたよし。これを聞いて、心底、参ったの思いを禁じ得ませんでした。商売柄、気配りは人並以上であるとの自負が、崩れました。

祝電とワインでは大差で、新ペリア方式でも挽回できません。

プロの名前は山岡明美さん。ワイン社長はマックス(株)の橋本社長。お二人の人柄がすばらしく、敢えて実名を披露しました。

光太夫の悲劇

滋岡 長平

(東京本部)

ソ連邦の体制崩壊後既に数年を経過したが、日ロ間の政治・経済環境の改善は依然進展が見られない。昨一九九三年はロシアの最初の修好使節であるアダム・ラクスマンがエカテリナ二世号で、大黒屋光太夫ら三人の漂流送還を兼ね、函館に來航してから丁度二百年目に当たる。この際、日ロ双方の歴史的原点に返って回顧することは強ち無意味ではなからう。当時三十二歳の光太夫は、故郷の伊勢白子町から千石積の神昌丸の船頭として乗員十六名と米五百石の他雜貨を積み、天明二年(一七八二)十二月江戸に向った。遠州灘で激しい暴風に遭い、帆と舵を失い、遙かな北太平洋に流される。米と雨水を頼りに飢えを凌ぎ、翌年の七月口領アレウト諸島のアムチトカ島に漂着した。一行はこの島で四年を過し、八人を病で失い、残りの九人は別に難破したロシア人達と協力して新しく船を作り、一七八七年カムチャッカに渡って一年を過す。更に三人が病没、残った

六人が役人達の援助でオホーツク、ヤクーツクを経て嚴寒のシベリアを踏破し、イルクーツク府に着く。此所は以前にも日本の漂流民が在留した所で、六人は生活費を支給され、その中二人はロシア正教に帰依し日本語教師として残ったが、光太夫はたまたま同府に來た碩學キリル・ラクスマンに会いその知遇を得、一七九一年彼に伴われて、露都に赴き、外務卿ベズボロコ伯を動かして漂流民の送還に併せ日ロの通商を開くべく女帝に建議せしめた。同年六月エカテリナ二世はツアルスコエ・セロの離宮で光太夫を引見し、その切々たる請願を深い同情を表して聞いた。九月修交使節の派遣と併せ彼らの帰國を許可、十月冬宮に召して錢別の金品を下賜された。遣日使節にはラクスマンの次男アダムが選ばれ光太夫ら三名を含む四十名を乗せたエカテリナ二世号は翌一七九二年九月、オホーツクを出帆、十月二十一日根室沖に投錨した。ラクスマンは、同地在勤の松前藩士に來航の趣意書を訳文を附して手交、上陸して當舎を急造し十一月末冬宮に入った。当時田沼失政の後を受け幕政を主宰したのは、前年林子平の「海國兵談」の出版を禁止した、松平定信であつたが、松前藩から幕閣に達した修交要請に対しては慎重且柔軟な対処をする。十一月直ちに石川、村上の両目付を宣諭使に任命、翌年三月松前に派遣。五月藩船を根室に送り口艦を案内、六月八日共に函館に入港させ、使節ら四名と光太夫らを上陸せしめて歓迎させる。

次いで陸路、松前に迎えて二十一日から二十六日迄三回の会談を行い、二十四日光太夫、磯吉の引渡しを受ける。修交使の趣意は諒解したが、通商等の外交交渉は、長崎でしか行えないと拒絶に近い公文と、長崎入港許可の信碑を手交し糧食等を贈與する。口艦は六月末、函館を抜錨、八月二十七日オホーツクに帰港した。

光太夫、磯吉両名(小市は根室で病没)は八月江戸に入府、取調を受けて軟禁、九月十五日吹上御苑で將軍家齊、定信以下列座の前に洋装のまま召出され、見聞したロシアの國情及び彼等の心境など詳細な質疑を受けた。光太夫の思慮深く真摯な態度は、列座の人に好感を與える。其の後両名は、番町の藥園内に住居と僅かな手当てを支給され、妻帯は許されたが、三十年に亘って、少數の蘭學者との僅かな交流の他は、殆んど世間と隔離された生活を送り、光太夫は文政十一年、七十八歳で、磯吉は六年後七十三歳で没した。

以上が光太夫らが偶然体験した運命のあらましである。そこで我々が感銘を受けるのは、一介の船頭に過ぎない光太夫の優れた資質と才能、人間性である。この事は、彼がカムチャツカに居た時に、探險家ラペルーズの片腕であつた、ジャン・レセプス(スエズ運河の開き者)フエルデインの伯父(父)が九人の部下を統率していた光太夫に会い、その旅行記に、彼の人柄や才能を激賞して居る事でも判る。また二度に亘る長途のシベリア旅行に於ける勇敢さもさる事乍ら、露都その他で朝野各界の男女に敬愛された彼の人間的魅力も特筆に値する。一面かかる人物を生んだ当時の庶民社會の成熟度を示すかとも思われるが、如何に有能な人材であつても、封建的身分制度の下では租法墨守の方針に従って抹殺されざるを得なかつた。

伶俐な彼は帰國後、その厚い壁を察知させられて沈黙を守つたのであろう。尚、光太夫は、寺子屋程度の教育は受けたと思われるが、讀書力、理解力に勝れ、字も達筆で滞口中の見聞も克明に記録していた。更に十数冊の淨瑠璃本を持ち歩いた文藝の愛好者でもあつた。ロシア語は、日常會話は固より讀み書きも容易で「欽定万国語辭典」の改訂にも寄與したと傳えられる。さて彼が藥園で妻を迎え、三年目に得た

息子の龜二郎は、幼時から商家に奉公し、殆ど独學で著名な儒者となり、大黒梅陰と稱えて門下数百名を数え、嘉永四年五十五歳で没したが風貌堂々、然も篤實な人物であつたと安井息軒の撰になる頌徳碑が残された。然し梅陰は妻帯せず、父子共に空しく歴史の中に埋没してつたのである。彼が軟禁されてから十年、一八〇四年ロシア特使レザノフは、かの信碑を掲げて、長崎に來り、修交を求めて拒否され、翌年退去。その後数年、北辺で小紛争が續き、一八一一年から十三年にかけてゴロウニン、高田屋嘉兵衛交換事件があり小康を得たが、一八五三年ペリーに依る日本開國の翌年になって漸く日ロの國交が、川路、プチャーチン會談に依つて結ばれたのである。

尚本稿は、吹上に於ける「漂民御覽」の後、家齊の命に依りその信任する蘭医、桂川甫周が光太夫の協力を得て著した秘本「北檣聞略」と同書を一九三九年に初めて校訂出版した史家、龜井高孝の「大黒屋光太夫」及び井上靖の小説「おろしや國醉夢譚」等に典拠したものである。

お知らせ

◎十一月八日匿名氏より五万円のご寄付を頂戴致しました。当会の運営に有効に使用致します。有難うございました。

◎去る十月十六日福岡市内の韓国総領事館等重要防護施設を警戒中の福岡県警第一機動隊員が急訴事件で現場急行中背後から襲撃を受け、右手甲刺傷を受けたので十月二十日高橋九州支部長がお見舞いたしました。

◎十月二十二日成田市南三里塚二十一の道路端において他の隊員とともに検問のため準備作業中、第二空港機動隊角屋巡査が飲酒運転のランドクルーザーにはねとばされ、全身打撲で即死されました。このため、本部および千葉支部において、弔慰を申し上げました。



年頭のご挨拶



警察庁長官 國松孝次

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平成七年の年頭に当たり、機動隊員に対して平素から深いご理解と温かいご支援を賜っており、また、右翼に對し心からお礼申し上げます。

昨年は、関西国際空港開港、第十二回アジア競技大会、天皇皇后陛下の御訪米及び御訪欧、成田空港反対闘争に伴う警備等多くの重要な警備が続き、また、右翼による朝日新聞社人質立てこもり事件、細川元総理に対するけん銃発砲事件等銃器を使用した極めて悪質な事案が相次ぎ、さらに、名古屋空港における中華航空機墜落事故や北海道東方沖地震の発生等大規模な災害の発生もありましたが、機動隊をはじめ全国警察が一元となってこれらに対処し、所期の目的を達成することができました。これも会員の皆様方からの心温まる励ましの賜と厚く感謝申し上げます。

さて、本年の治安をめぐる諸情勢も依然として厳しく、特に秋には大阪においてAPERC(アジア・太平洋経済協力)閣僚会議が開催され、これに併せて首脳会議も行われる予定であることから、サミット警備に相当する大規模警備になることが予想されます。



新年に寄せて

警視總監 井上幸彦

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、輝かしい新年を迎えることとお慶び申し上げます。平素は、機動隊の諸活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。また、天皇皇后陛下の御訪米並びに御訪欧に伴う警備警備等、多くの重要な警備活動に携わったのであり、会員の皆様の温かいご理解とご協力をいただき、所期の目的を達成することができました。重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、新年を迎え、治安情勢を展望いたしますと、本年も誠に厳しく、一瞬たりとも警戒をゆるがせにできない状況にあります。極左暴力集団は、組織力の温存を図りながら非公然化、軍事化を一層強め、「反戦」「反皇室」「成田」及び「反権力」の闘争を益々高揚、激化させる構えを見せており、今後さらに爆発物等を使用し、「個人テロ」や「無差別ゲリラ」を敢行することが予想されます。

一方右翼も、昨年五月に発生した細川元総理の直近でのけん銃発砲事件に見られるように、国内外の政治、経済、外交等の諸問題に敏感に反応し、情勢いかによっては、銃器等を使用した関係者へのテロや、企業を対象とする暴力犯の多発などが懸念されることとあり



上兵は謀を伐つ

機動隊員等を励ます会 名管理理事長 大内俊司

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、機動隊員等の皆様のご尽力によって、わが国の治安が維持され、私たちが民は平穏な生活を営むことができた。しかし、世界に目を向けますと、冷戦終結後の構造変化の過程のなかで、政情不安、民族主義の台頭、犯罪の増加、経済成長のギャップによる諸問題等、様々な不安要素が見受けられます。このような状況の中で、先進国としてのわが国には、世界より求められ、同時に自ら果たさねばならぬ役割が、以前とは比較にならないほど多岐にわたって存在しております。

そのためには、世界平和だと認められてはいる治安を維持し、政治・経済の持続的安定と発展の下に国際協力の努力を続ける必要があると思います。私共は、基礎となるべき治安を空気に



更なる発展に向けて

機動隊員等を励ます会 理事長 鈴木 實

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、広島市におけるアジア大会の開催、大阪での関西国際空港の開港、また各国要人の来日に伴う警備等、機動隊員の皆様におかれましては多岐にわたる警備活動に携わったことと拝察致しまして、誠に厚く御礼申し上げます。しかし、いざいざの警備に見事に完結され、また、「世界一治安の良い国・日本」の名を世界に向けてあらためて知らしめた一年であったと言えます。これもひとえに、機動隊員の方々の日頃からの訓練の賜物と、あためて頭の下がらぬ思いでございます。

さて、わが国内を見渡してみますと、混迷が続いている経済も、ようやく明るい光が見えてきたとはいえず、相も変わらず厳しい状況が続いています。円高、株価の低迷と、企業にとって苦しい時代は続き、今こそ国民が一体となって自分達の仕事に精進していかねばなりません。その一方で、外国人労働者による悪質な事件、外国から流れてくる拳銃を使用した凶悪事件、犯罪

と同様に当然のことと考えがちでありますが、益々横行・凶悪化する極左暴力集団やテロ化する右翼・暴力団等の不穏分子の活動を未然に防止し、機動隊員の皆様の昼夜をわかれた活動には、言い尽くせない感謝の念を感じずにはいられません。孫子の「謀攻編」には「上兵は謀を伐つ」という言葉がありますが、これは敵の陰謀が、まだ陰謀のうちに破るは敵の陰謀であるという軍略の言葉です。事が起こってから対処するのはなく、事前に敵の動きを封じることが出来て初めて、このような治安維持が実現しているのです。今年も、私も機動隊員等を励ます会が中心となり、機動隊員等の皆様へのご支援を続けさせていただきます。心に響くものであります。

1995年 全国機動隊隊長年頭所感

関東管区機動隊連隊長 強い機動隊



高来 博

昨年八月末、関東管区警察学校教務部長を命ぜられ、併せて関東管区機動隊の連隊長を仰せつかりました。

関東管区機動隊は、関東十県の各県警察から選ばれた隊員が、三箇大隊に編成されています。着任後の各大隊訓練入校で、投石や火炎ビン等を想定した訓練が正に実戦的に行われており、また、隊員の士気も益々旺盛なことを目の当たりにし、いつなんどき集団武装闘争がおきても、この部隊を率いて即座に対応することが出来ることを強く感じました。

私は、昭和四十年代、極左暴力団の街頭集団武装闘争の警備を、警視庁の機動隊員として経験しましたが、機動隊の任務は、治安を乱す集団暴力に勝つことにあり、そのためには機動隊員は肉体的にも精神的にも強くなければならないと考えております。

その後二十年余、今は一見平穏な感じですが、いつ当時のような状況が復活しないとも限りません。本年もAPPC等の大警備が予定されています。わが関東管区機動隊は「治にいて乱を忘れず」、皆様方のご支援を糧に、そのご期待に応えるべく、さらに訓練を積み重ね治安の固土として走り続けたいと思っています。

関東管区機動隊第一大隊長
日々、是、挑戦



高橋 民雄

新年あけましておめでとうございます。昨年は、吹雪の中、長野

県下での全教組大会警備をはじめて、猛暑の中での関西国際空港の完全閉港を目指しての警戒警備等、一昨年に引き続き、特別派遣の多い年であった。

管区機動隊として与えられた任務以上に全うできたその力はどこから湧いてくるのだろうか。日頃は、地域警察官として活動し、部隊輸送車等では乗機等からの借用などでも運用しているにもかかわらず、部隊として一糸乱れず活動できることそれは、日々の厳しい入校訓練と良好な人間関係にあるような気がする。

当大隊のシンボルマーク「笹竜胆」で質実剛健を旗印に全国を駆け巡って、各都道府県の素晴らしい計画と実施を学ぶことができたことも有意義で全国警察一団の精神が感じられます。

今後、若年隊員の探究心と向上心を大事にして躍進していきたいと思っております。

関東管区機動隊第二大隊長
管機と共に



福村 祥

新任大隊長として二年が経ち、終わろうとしている。最近では「飲みこみの速さ」と「意気」など、自分でもおかしなくらい管機になりました。

この一年、部隊を見てきたが、特に印象的であったのは、中隊及び小隊が互いに切磋琢磨しながら自浄機能も発揮し、また隊員達は決して弱音をはくことなく、一人ひとりが自らの任務に對して愚直なまでにひたむきに取り組んでいる姿であった。

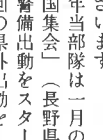
昨年は、成田出勤等計六回の特別派遣があった訳であるが、隊員達の努力と苦勞により、関東二大隊としてその任務を完遂すること

ができた。

今、私の率直な気持ちは、管機大隊長になって本当に良かったということである。こんなに関りがいのある素晴らしい若武者達が私の周りにいるのかと思うと、嬉しくなってしまうのである。

今年もAPPC警備をはじめとして、特別派遣があると思うが、この素晴らしい隊員達と一緒に、一つ一つの任務を完遂していきたいと思っております。

関東管区機動隊第三大隊長
あゆむ警察官と若武者と



鈴木 久雄

新年明けましておめでとうございます。昨年当部隊は一月の「全教組大会」(長野県)に伴う警備活動にスタートし、計八回の県外出勤をいたしました。

厳しい警備情勢下、不慣れた土地での勤務でありましたが、無事その任務を果たし、国民の期待と信頼に応えることができたこと、これが、隊員一人ひとりが「任務完遂」を合言葉に、一致団結し、汗と知恵を出し合った結果であると思っております。

管区機動隊は、いつ、いかなる現場においても「最後の砦」として、任務を果たすことが要求されています。

我々が、あらゆる警察事象に的確に対応し、その任務を果たすためには、隊員一人ひとりが「プロ集団」としての使命を認識するとともに、管区機動隊の「伝統」を基礎として、これまで数多くの出勤から学んだ反省・教訓を実戦に生かすことが重要であります。

本年の警備情勢も依然として厳しいものがあり、昨年より、関東二大隊としてその任務を完遂すること

を忘れず」を忘れることなし、日々訓練に励み、あらゆる警備事象に対応し得る「プロ集団」の育成に全力を注ぎ覚悟であります。

近畿管区機動隊連隊長
隊長の新年の抱負



高島 洋

明けましておめでとうございます。昨年の近畿管区機動隊は、関西国際空港警備をはじめ、広島アジア競技大会、国民体育大会、植樹祭等の警備や日教組教研集会、全教定期大会等の治安警備に計十一回出勤するなど文字通り多忙な一年でありました。

今年も激動する内外情勢の中、去年にも増して精進な部隊である管区機動隊の出勤が増加することは確実であります。特に今秋の十一月には、日本で初めてAPPC開閉会議並びに非公

式首脳会議が大阪で開催されることと決定していることから、我々近畿管区機動隊もこの警備を中心に運用されることと思っております。さらにこの警備は、他の管区機動隊の皆さんの出勤も予想されることでもあります。

ところで、私は、昨年の九月に連隊長を命ぜられたのでありますが、その頃のメモに次のように記してあります。

「連隊長室から見ると、今日も隊員が大柄を携行してグラウンド内を所狭しと駆け回り、訓練に励んでいる。苦しい訓練に耐え、共に汗を流して隊の士気に接する。と、連隊長として、この隊員一人ひとりに事故もなく、しかも任務を完遂しなければならぬ、という責任の重大さに身の引き締まる思いがする。」

今年もこの初心を忘れず、精進な管区機動隊として隊員が、後顧の憂いなく厳し

い訓練と任務の完遂を目指し、そして、現場では、期待通りの活躍ができるよう指揮、指導、兵站等に layers of research を積み重ねたいと考え

ております。

近畿管区機動隊第一大隊長
新年の抱負



大治 堅

新年明けましておめでとうございます。昨年は、兵庫植樹祭、関西国際空港開港、広島アジア競技大会等の警備警備に丸ごと任務を遂行しましたが、本年も昨年同様、特派部隊として、また大阪で開催されるAPPC警備等、管区機動隊の果たすべき役割もますます大きくなつてまいりました。

そこで、新年にあたり、大隊長としての決意という意味を込めて、三カ条を述べたいと思っております。

第一点目は、「納得のいく実査と検索の徹底」であります。我々は、与えられた任務を意味では「誇り」に思い、何が何でも自分自身の受持区域は死守するという気構えを持たなければなりません。そのため

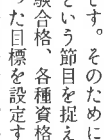
には、相手の目(行動の予測)に基づく実査につぐ実査、検索の徹底を図る必要があります。これによって、所期の目的が達成されることを肝に銘じ、任務を完遂してまいりたいと考えております。

第二点目は、「自戒」ということであります。部隊活動の基本は、「妥協の排除」にあり、「もうこれ位でいい。そこでまあいいか」といった考え方は、隊員個々の成長は望めないものであります。今何をなすべきかといったことを常に考え、前向き(先取りの姿勢)に、

そして自らを厳しく律していきなさいと考えております。第三点目は、「自己への挑戦」ということであります。「この道より我を生かす道なし」という言葉がありますが、初心を忘れず一日一日を大切に、苛酷な勤務を乗り越えていきたいものです。そのためには、昇任試験合格、各種資格取得といった目標を設定するなど、気分を一新し、決意新たに新しい世界を切り開いていくことでありませ

んか。以上三カ条申し上げましたが、心次第次第で自分自身に変革をもたらすことができると思っております。お互い新たな目標を設定し、それを実行に移し、実りある一年としたいと思います。

近畿管区機動隊第二大隊長
連合部隊の限りなき躍進を



武野 正孝

昨年は、三重県、広島県等四回の特別派遣を経験しました。特別派遣先で黙々と働いて食いついて頑張る姿、愚直に任務完遂に燃える隊員個々の姿に接し、大志を抱いて警察官となった若き日を思い出させる。わが隊の特徴は、大阪、奈良、京都の連合編成であるところにある。連合部隊のよい点は、訓練、出勤等の場すべてにおいて競争心が働き、第二大隊の旗の下名実共に管区機動隊としての部隊を実感できることである。実務経験は浅いが精気溢れる若い隊員が集団警備力の中核としての誇りと自負を胸に、府県の名誉と責任を胸に、全力で任務に傾注する態度には感銘を受け

る。管区機動隊は出勤して強

場を通じて体得した知恵と経験、更に府県間の競争心を良き伝統として伝承し、精進機動隊の一翼として、大きく躍進してもらいたい。機動隊の「機」は、いかん事態にも即応できる臨機応変の「機」(動は、不動の信念、山をも動かす「力」)。依然として厳しい警備情勢、変化する治安情勢に隊員個々が管区機動隊に見合った実力を付け、的確、機敏に対処できるよう、近畿管区機動隊第二大隊は日々精進していきつていく。そして諸先輩に負けない新たな良き伝統を築いていく所存である。

近畿管区機動隊第三大隊長
厳しさを持つて

管区機動隊として勤務し、間もなく、二年を迎える。一年目に八回、二年目に四回の県外特別派遣があったが、現下の情勢から、我々に課せられる役割は益々大

きものである。そのため、より一層精進な部隊づくりが要求されることである。

管区機動隊の主力は、殆どが二十歳代前半の若者である。体力は十分ある。これに気力、技術が備われば、その力は百にも百二十にもなる可能性がある。隊員は昇任後、実務経験も殆どないまま指名を受け

る。したがって、入隊直後はどこでなく動作がきちん

と、自信もなさそうなのが

目つきも変わってくるから

素晴らしい。そして一年も

隊員となるのである。若い

に限りない可能性が秘め

る。

管区機動隊として勤務し、

間もなく、二年を迎える。

一年目に八回、二年目に

上げます。

「富貴を失うとし過ぎなど、一部を失ったにしか過ぎない。名誉を失ったといえども一部を失ったにしか過ぎない。しかし、勇気を失えば全ては失ったと同じで、我々と語られている。我々機動隊も「勇気」を失ってしまったら、烏合の衆に過ぎなくなると。訓練された力のある集団として、「勇気」を前面に出して、的確に対応して行きたい。併せて、「弱虫に誇りはない」と言われているが、「誇り」を保持するために、どんな厳しい訓練にも耐え抜く強さを備えることが必要である。そしてこの厳しい訓練から培った強さという「誇り」を持ち続けたいと思う。

本年も昨年同様に本県において機動隊の強い集団警備力を必要とする事案が多発するものと予想している。県民の期待に十二分に応えるためにも「勇気」と「誇り」を隊員と共に一層高めて行くつもりである。

岩手県警察機動隊長 年頭の決意

菅野 通

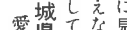
全く経験のない機動隊勤務となつてから早くも九か月が過ぎた。多忙な警察警動務と異なり、隊の運営等を考える時間があるかと思いつつ気がついてみたらもう新年を迎えていたというのが実感である。

話は変わるが十一月のあ

ものであり、改めて川路大

特に、警察官の心得の中
の「世ノ安寧ヲ護セントス
ル者ハ無事ノ日ニ於テ有事
ノ日トシテ意ヲサルニア
リ」などは、正に私どもが
心しなければならぬことが
であると、改めて日頃の訓
練等のあり方を反省させら
れた。新年を迎え、一見平
穩に見える今こそ、有事に
備えなければと決意を新た
にしている。

宮城県警察機動隊長
愛される機動隊を


本田 量太郎

謹んで新年のご挨拶を申
し上げます。

宮城県警察機動隊発足四
十周年の記念の年に隊長を
拝命し、記録的な猛暑の中
局地的な豪雨による水害等
の自然災害をはじめ種々の
警察事象に出動し、平成六
年は過ぎました。

今、機動隊に要求される
ことは、オールマイティの
ことあります。最後の砦で
警察官であり、最後の砦で
あります。「全ての分野
に愛され、頼りにされる機
動隊」をモットーに全隊員
一丸となり、体力的、知能
的訓練に励んでおります。

本年は、自然災害の皆無
を願いつつ、県民の皆さん
とともに最も住みよい県と
づくりの一翼を担っていき
たいと思っています。

会員の皆さまのご指導を
お願い申し上げます。

ことである。

テモ警備等の出勤はほとんどなく、大塚封鎖解除や成田空港警備等で火炎ビンを浴びたり、投石、催涙ガスの中を全力で走り回りつたことなどは遠い昔のことになってしまった。
 それに替わって現在は、警衛警護やレスキュー、スキューバ等の各種機能別部隊の活躍が多くなっている。
 このようなことからデモ警備などの荒れる現場へ出勤した者が少なくなり、隊員の実感不足が指摘されているところである。
 これを補うためには、一にも二にも訓練であり、訓練の積み重ね以外ないものと確信している。このため、平素の訓練の重要性を再認識し、仕事に厳しく、人間味のある、心優しい、卑屈と信頼される、厳しく、優しく、頼もしい機動隊づくりに全力を傾注したいと考えている。
 山形県警察機動隊長 隊訓「誠実・明朗・剛健」

井上 賢一

変化する治安情勢の中で、今、県民が機動隊に何を求めているのか。それは、平和に対して強い機動隊であり、誠実で思いやりがあり、そして県民のために汗を流す機動隊ではなかろうか。
 こうした県民の期待に応えるため、わが機動隊では

誠実 明朗、剛健」の隊訓

に今年も邁進したい。

燃える「白虎」

福島県警察機動隊隊長 安島 隆雄

わが隊のシンボルマークは「白虎」である。五十年代の先輩隊長が、勇猛果敢で、千里走り千里躍る「虎」と、戊辰戦争で華と散った「会津白虎隊」のイメージに、を重ねあわせて決めたと言われている。警備車、大桶等にも印刷され、あらゆるところで鋭い眼光をはなっている。

若さと正義感、誇りと使命感に燃えるわが隊のシンボルとしての心を得たものであると常々感心している。

昨年は、警備出動の他、暴力団対策、遭難者救助等多くの場面に出勤し、更に、は、管内内柔剣道大会でアベック優勝をなしとげる等わが白虎部隊は素晴らしい活躍をしてくれた。

本年は「第五十回ふくしま国体」の年である。一月一日の冬季大会から十月の秋季大会までの完全国体であり、まさに県民あげての大イベントである。わが白虎部隊はふくしま国体の警衛警備こそその真価を発揮すべく、いまおおいに燃えている。

警視庁第一機動隊長 今、機動隊に求められること

今、我々機動隊に求められること

大場 剛

「會議」に伴う警備はもとよ

備のことも、日々惹起する警備事象の一つひとつに對しても、常に「百戦百勝」の気構えで臨み、これを完遂することが最も肝要であるとして又、我々の先輩が生命がけて築いた機動隊の伝統を守り、後に引継ぐために、全隊員が気持を奮い立たせ、精強な部隊力を維持して来るべき乱に備えることも怠つてはならない。これが、とりまなおさず二度とない貴重な青春を機動隊に捧げ、精進している多くの若人に「価値ある時を過ごさせることにもなる」と確信している。

警視庁第二機動隊長
 節目の年に四大目標の達成を

清夫 管家

わが「かつぱの二機」は本年九月、四十五周年を迎えます。この間、浅間山莊事件警備をはじめ、幾多の重要警備等に従事、その任を全うしました。改めて、先人の血と汗、そして涙で築いた歴史の重みを感じていくところですが、そこで私達は「今こそ治にいて乱を忘れず」の教へではありませんが、過去の教訓に工夫を凝らした実践的訓練を行い、より精強にして、誇り得る結果が出る機動隊作りを怠つてはならないと思います。

そして、節目の年に昨年目標としていた四大目標を三七〇名の全隊員が力を合わせて達成致したい。

動が展開されると思われる

先人の言葉に「プロの境界に近づく」とがある。遠い道をてくてく歩いて行くようにコツコツと地道な努力を積み重ねていく初めうその道が究められるというのである。治安の最後は皆である我々は、常日頃から地道にプロ集団としての心身の鍛練に励み、的確に警備事象に迅速、的確に対応できる部隊づくりと維持を図ることが使命である。ニックネームである「ほこり高き男達の三機」の心意気を今年も深く胸に秘めつつ全隊員が団結し、同じ目標に向かって力強く邁進していきたい。

警視庁第四機動隊長 強い機動隊


伊東 尊司

機動隊の「強さ」とは、何ものをも恐れず社会正義を実現するため敢然と立ち向かうこと、或いは寒風、酷暑の中、各種警戒警備の任務を遂行することのできる精神的、肉体的強さを兼ね備えた集団であるといえる。そして、精神的強さは各種警戒取締りの場面場面を通じて耐えることや、相手の痛みも理解し得る「やさしさ」をも備えていることでもある。

昨今の機動隊の任務は、重防警戒が多くなっている。重防警戒は見えない敵との戦いであり、守りだけではその目的を達成することは難しい。一人ひとりの警戒

を果たすことができるので

ある
本年後半には、大整備が予定されている。隊員共々今から訓練に汗を流し、気力、体力を充実させ、振り返ったときに誇れる第四機動隊であることを願って、強い機動隊づくりに更なる努力を傾注していく所存である。

真の強さ

友瀧 宗治

「上善は水の如し」という言葉がある。周囲の状況や変化に適応していかうにも形を変える柔軟性を持つ一方で、急流では岩をも削る激しい力を秘め、必ず下低さに流れる原則性と謙虚さを持ち合わせている水のうのような特性こそまさに変化の時代における機動隊に求められる能力・資質である」と信じる。

治安維持の最後の砦として、どんな変化や、悪条件の下でも、黙々と、的確に強さを達成し得るそういう強さとなくまじさを一層磨き上げなければならない。そのためには日々の心、身の鍛練こそ至上の命題であると考える。

「治にて乱を忘れず」
不断の努力こそ水の如き柔軟性と強さを養い「木鶏」の如き存在感ある部隊へと高められてゆく。

本年も「精強五機」の一層の充実、発展に努力しむたい。

プ、投石等のいわゆる武装

闘争のような激しい感情も燃えるような使命感を持ってする活動の場は全くない。しかし、機動隊の真髄は、いつ、いかなる事態に遭遇しようとも、道法にこれに立ち向かい、違法行為者を検挙、事態をすみやかに鎮圧する部隊活動によって具現される。そのためには各隊員が常に「治にいて乱を忘れず」という言葉を心に、積極的に心身を鍛え、かつ、部隊活動としての訓練を積み重ねることである。訓練は経験の先取りと言われるが、かつての武装闘争を経験した隊員が少なくないきている現状では、まさに徹底して訓練を積み重ねる以外にない。そして全隊員が「敵の来たなら、さるを待むことなく、われらのもって待つあるを待む」の自信を培うことが大切であると思う。本年も六機金隊員が治にいて乱を忘れずをモットーに、充実した年であるよう頑張りたい。

警視庁第七機動隊長
チムワーク

実 資藤

「機動隊の生命は部隊員個々人の能力の高さとチムワークである」と、常々隊員に話している。

デモ警備等の集団による動的警備から重防警備・エリア警戒等の静的警備へ比重を移した現在において個人責任が明確にされた隊員個人の活動が主体となっ

ており、個々の能力を高めることが第一に要求される。しかしながら、チームワークの重要性は、いささかも減るものではない。他の警戒員との連携、意志疎通などには、突発事案への速やかな対応はもとより、個人の警戒区の万全も期しないのであり、むしろ平素から部隊活動をしていない分だけ現在の方が高度なチームワークが要求されると言っても良い。

図上演習や連携動作の反復訓練で得られるチームワークには限界がある。より高度なチームワークには、仲間との考えを分かちあうことが必要である。古来から「阿吽の呼吸」が、その根底には、仲間との立場に立つて考え仲間を理解しようとする気持ち、すなわち、思いやりが存在する。

これからの監視庁を支える多くの若者が、思いやりで結び付いた仲間とともに、警備の完遂という同じ目標に向かって苦勞を分かちあい、困ったときには助け合い、そして喜びをともにする。これこそが機動隊の魅力、美しさではないだろうか。

今年も「美しく強い機動隊」作り而努力していきたい。

この地味でたえない努力の結果、東海道新幹線は開業以来二十年間乗客の死傷事故が一件もないという（平成六年十月二日朝日新聞「天声人語」）

何事につけて「指さし点検」を実行するように努めている。警備現場において「慣れ」や「注意力不足」、いわゆる油断が原因で発生したという例が過去に散見される。警備は、常に確実性を要求される。確実な警備を実施してこそ、国民の信頼と期待に応えることができる。今年も A P E C 警備をはじめ、各種重要な警備が予想される。これら警備に際しては、与えられた任務を全うするため、警備計画を策定するにきまはるもののこと、警備現場においても、常に「指さし点検」を的確に実行し、確実な警備を実施し、治安の維持に邁進すべく決意を新たにしているところである。

隊員の努力を無にするこのないよう、そして、皆様の期待に応えられるよう、本年も精一杯頑張つてまいりたいと考えております。皆様のご健勝、ご発展を心からお祈り申し上げます。

監視庁第九機動隊長「猪突稀勇」の発揮

昨年も一昨年に引き続き重要警備が連続したが、当隊の隊訓である「融和団結」「創意練成」「自主積極」の下、「警備でミスをしたくない特科車両隊」を合言葉に、全隊員が一致団結して取り組み、無事完遂することができた。

これも、平素厳しい教養訓練を継続実施してきた結果と言える。

私は、昨年のような大きな警備はないが、隊員全員が「警備のプロ」としての自負を持ち、いかなる事態にも対処できるよう実戦的訓練を積み重ねるとともに、一日一日「明るく楽しく元気よく」をモットーに、本年も治安維持の万全を期し、新しい年を迎えたい。

若い隊員の溢れる熱気と汗。天を突く気迫。機動隊大好きである。五十路に入つての機動隊勤務、一抹の不安もあつたが、体力・気力・気力旺盛で心やさしい隊員に囲まれ、新米隊長の一年が過ぎ、大いなる同志を燃やしている。昨年のプロ野球は、J リーグ人気が押し気味であつたが、長嶋ジャイアンツの活躍で近來にない盛り上がりを見せ、そのひたむきな勝利への姿が共感を呼び、多くのファンを取り戻したようである。

この人気の背景は、選手一人ひとりの目的に向かつてひたむきな努力・姿勢、多くのファンに感動を与えたものと思われる。

我々機動隊も、各種の勤務活動の場において、国民の求めるものを十分に理解しないう、ファン無視のプレーをしたら、共感や感動を呼ぶことがなく、多くの理解者が離れてしまうことは明白である。

今年も、県民の期待と信頼に応える、「強靱で精進な部隊」を作るため、隊訓「誠・和・剛」の下、機動隊の存在意義を十分に理解し、愚直なまでのひたむきさで、隊員一丸となつて日々の精進を積み重ねていく決意であります。

このため、県警職員が一丸となつて県内治安を守るため努力をしていますが、その中において、隊員の平均年齢が二十四・三歳と極めて若い組織の機動隊は県警の宝の山であり、この若い隊員が間違いなく県警の将来を担っているのです。珠も磨かざれば光らず」でこの原石をただの石ころにするか、キラキラ光る宝の山にするかは、一に私達幹部の指導如何にかかっています。そのことを思う時、重責に身が引き締まる思いを致しております。

昨年二月、第一機動隊長を仰せつかり、今年二年目を迎えることとなりました。当隊は、幕張メッセに隣接し、周囲を高さ百八十メートルの幕張プリンスホテルに代表される高層ビル群の中にニューヨークのダウントウンを思わせる新都心の一角に位置しております。

さて、昨年は当県にとって全国的警察と同様に新しい出発の年、換言しますとあらたな対応を迫られた厳しい年でありました。一例を挙げますと服制の改正による C I 活動の展開、更に暴力団対策課、公安第三課等の新設及び婦人警察官機動隊の発足等のリストラクチャーの推進、また事件事故に目を向けますとバラバラ殺人事件等凶悪事件が多発し、年末には一般市民が凶弾に倒れるというアメリカ型の犯罪まで発生しました。

このような情勢下、我々機動隊が銃器犯罪等の世相を反映した種々の事案に活動する機会が増加することは想像にたやすくありません。今更以上以上に隊員個々の資質を向上させることが、我々幹部に課せられた喫緊の課題でもあります。従つて、本年は従前から一歩踏み込んだ「体で覚える生きた教養訓練」を

越え築き上げた伝統を堅持し、空港警備隊の隊訓であります。

〇融和団結

〇積極果敢

〇不撓不屈

を遵守し、「ゲリラの完全防圧」を合言葉に千五百人が一丸となり、空港警備を完遂する覚悟であります。

千葉県警察第一機動隊長 年頭の抱負

川島 正城

昨年二月、第一機動隊長を仰せつかり、今年二年目を迎えることとなりました。当隊は、幕張メッセに隣接し、周囲を高さ百八十メートルの幕張プリンスホテルに代表される高層ビル群の中にニューヨークのダウントウンを思わせる新都心の一角に位置しております。

さて、昨年は当県にとって全国的警察と同様に新しい出発の年、換言しますとあらたな対応を迫られた厳しい年でありました。一例を挙げますと服制の改正による C I 活動の展開、更に暴力団対策課、公安第三課等の新設及び婦人警察官機動隊の発足等のリストラクチャーの推進、また事件事故に目を向けますとバラバラ殺人事件等凶悪事件が多発し、年末には一般市民が凶弾に倒れるというアメリカ型の犯罪まで発生しました。

このような情勢下、我々機動隊が銃器犯罪等の世相を反映した種々の事案に活動する機会が増加することは想像にたやすくありません。今更以上以上に隊員個々の資質を向上させることが、我々幹部に課せられた喫緊の課題でもあります。従つて、本年は従前から一歩踏み込んだ「体で覚える生きた教養訓練」を

つある。そしてその影響は、国内にも少なからず及んでおり、少バブル経済が定着した後の経済不況、政治不信があいまって深刻化し、混沌とした状況となつてい

これらの情勢から、今後従来とは異なつた複雑かつ将来予測が極めて難しい種々のタイプの治安問題が生じてくることが予想される。

そこでわが機動隊は、これまで以上に精進な部隊づくりに努め、有事即応体制を確立しておくことが肝要である。

我々人間は、愚かさ・残酷さ・醜さを持つている。しかし同時に、愛・勇気・良心・理性などのクオリティも持っている。

これからは、金銭的報酬・休暇などの利益共同体の精神はもとより「俺についてこい」「死なば諸共」の運命共同体の連帯感と「機動隊がやらずに誰がやる」「隊員が、いわゆるボランティア精神が不可欠である。

我々は「一頭の羊に率いられた百頭の羊の集団に率いられた百頭の羊の集団に敗れる」を肝に銘じ、統率力とその能力を身に付け、信念と責任を持って、隊の運営に当たりたいものである。

坪玉県警察機動隊長 隊員は組織の宝

木村 靖文

新年おめでとうございませう。全国隊員の皆様には輝かしい新年を迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。

埼玉県は、年間約七万人の人口増加があり現在、六百七十万人県と全国有数の大県となつており、警察官一人当たりの人口負担率が全国一を続けております。

このため、県警職員が一丸となつて県内治安を守るため努力をしていますが、その中において、隊員の平均年齢が二十四・三歳と極めて若い組織の機動隊は県警の宝の山であり、この若い隊員が間違いなく県警の将来を担っているのです。珠も磨かざれば光らず」でこの原石をただの石ころにするか、キラキラ光る宝の山にするかは、一に私達幹部の指導如何にかかっています。そのことを思う時、重責に身が引き締まる思いを致しております。

昨年二月、第一機動隊長を仰せつかり、今年二年目を迎えることとなりました。当隊は、幕張メッセに隣接し、周囲を高さ百八十メートルの幕張プリンスホテルに代表される高層ビル群の中にニューヨークのダウントウンを思わせる新都心の一角に位置しております。

さて、昨年は当県にとって全国的警察と同様に新しい出発の年、換言しますとあらたな対応を迫られた厳しい年でありました。一例を挙げますと服制の改正による C I 活動の展開、更に暴力団対策課、公安第三課等の新設及び婦人警察官機動隊の発足等のリストラクチャーの推進、また事件事故に目を向けますとバラバラ殺人事件等凶悪事件が多発し、年末には一般市民が凶弾に倒れるというアメリカ型の犯罪まで発生しました。

このような情勢下、我々機動隊が銃器犯罪等の世相を反映した種々の事案に活動する機会が増加することは想像にたやすくありません。今更以上以上に隊員個々の資質を向上させることが、我々幹部に課せられた喫緊の課題でもあります。従つて、本年は従前から一歩踏み込んだ「体で覚える生きた教養訓練」を

このため、県警職員が一丸となつて県内治安を守るため努力をしていますが、その中において、隊員の平均年齢が二十四・三歳と極めて若い組織の機動隊は県警の宝の山であり、この若い隊員が間違いなく県警の将来を担っているのです。珠も磨かざれば光らず」でこの原石をただの石ころにするか、キラキラ光る宝の山にするかは、一に私達幹部の指導如何にかかっています。そのことを思う時、重責に身が引き締まる思いを致しております。

昨年二月、第一機動隊長を仰せつかり、今年二年目を迎えることとなりました。当隊は、幕張メッセに隣接し、周囲を高さ百八十メートルの幕張プリンスホテルに代表される高層ビル群の中にニューヨークのダウントウンを思わせる新都心の一角に位置しております。

さて、昨年は当県にとって全国的警察と同様に新しい出発の年、換言しますとあらたな対応を迫られた厳しい年でありました。一例を挙げますと服制の改正による C I 活動の展開、更に暴力団対策課、公安第三課等の新設及び婦人警察官機動隊の発足等のリストラクチャーの推進、また事件事故に目を向けますとバラバラ殺人事件等凶悪事件が多発し、年末には一般市民が凶弾に倒れるというアメリカ型の犯罪まで発生しました。

このような情勢下、我々機動隊が銃器犯罪等の世相を反映した種々の事案に活動する機会が増加することは想像にたやすくありません。今更以上以上に隊員個々の資質を向上させることが、我々幹部に課せられた喫緊の課題でもあります。従つて、本年は従前から一歩踏み込んだ「体で覚える生きた教養訓練」を

越え築き上げた伝統を堅持し、空港警備隊の隊訓であります。

〇融和団結

〇積極果敢

〇不撓不屈

を遵守し、「ゲリラの完全防圧」を合言葉に千五百人が一丸となり、空港警備を完遂する覚悟であります。

千葉県警察第一機動隊長 年頭の抱負

川島 正城

昨年二月、第一機動隊長を仰せつかり、今年二年目を迎えることとなりました。当隊は、幕張メッセに隣接し、周囲を高さ百八十メートルの幕張プリンスホテルに代表される高層ビル群の中にニューヨークのダウントウンを思わせる新都心の一角に位置しております。

さて、昨年は当県にとって全国的警察と同様に新しい出発の年、換言しますとあらたな対応を迫られた厳しい年でありました。一例を挙げますと服制の改正による C I 活動の展開、更に暴力団対策課、公安第三課等の新設及び婦人警察官機動隊の発足等のリストラクチャーの推進、また事件事故に目を向けますとバラバラ殺人事件等凶悪事件が多発し、年末には一般市民が凶弾に倒れるというアメリカ型の犯罪まで発生しました。

このような情勢下、我々機動隊が銃器犯罪等の世相を反映した種々の事案に活動する機会が増加することは想像にたやすくありません。今更以上以上に隊員個々の資質を向上させることが、我々幹部に課せられた喫緊の課題でもあります。従つて、本年は従前から一歩踏み込んだ「体で覚える生きた教養訓練」を

力が要求されてくるものと
考えております。

このため、今年には先の全
国機動隊長会議における長
官訓示の中にあつた「治に
居て乱を忘るべし」の言葉を
肝に刻み、この平時の時こ
そ集團警備力はもろろア
クアラング、レンジング等
の機能別技能の向上を図る
絶好のチャンスと捉え、第
一線署の頼もしい助っ人と
して、県民からの期待と信
頼に応え得る精強な部隊づ
くりを隊員一丸となつて取
り組んでいく所存であります。

石川県警察機動隊長

備えよ常に



南 忠良

新しい年を迎え、新たな
目標・目的に決意の高鳴
るのを覚え希望に胸躍ら
せている隊員各位に一言
申し上げたいと思います。
表面的には落ち着いた感
じのわが国の治安情勢とは
ありますが、ご承知のと
おり我々を取り巻く内外の諸
情勢は大きく揺れ動いてお
ります。

激変する世界の動きは、
即わが国の経済・治安に敏
感に反映し、これにともな
い我々機動隊員も確かな洞
察力と広い視野、強靱なる
体力と気力・実行力が隊員
各自に求められる時代では
ないかと思ひます。

航空機の墜落事故、度重
なる大型自然災害、予告な
しに襲くこれらの事象
による多大な被害とこれら
事象に適時・的確に対応す
べき使命を持つ警察として
機動隊の任務は大変重要で
あると申すことは申すに及
びません。

当県においても来年には
「豊かな海づくり大会」開
催が予定されております。
警備訓練は苦しくとかく敬
遠しがちですが、訓練の基

本である機能別部隊の技術
も高めねばなりません。
個々人の実力を高めること
が組織のレベルアップにつ
ながることは申すまでもあ
りません。平時こそ実力を
養ひ、貯える時であります。
各自が与えられた任務を自
覚し、目的を持ち意識的に
行動し県民の期待に応える
行はなくてはなりません。「治
に居て乱を忘るべし」をモ
ットーに。

福井県警察機動隊長
期待にこたえる機動隊



松倉 達雄

わが隊は、福井市東部の
水田地帯にある。昨年の水
稲は、一株一株が恵まれた
自然と適正な管理で立派に
成育し、秋には見事に豊作
となつて感謝された。

当県機は、心、技、体
を持ち合わせた柔剣道けん
銃の特練員で一個小隊を編
成し、山岳遭難者救助、水
難者救助などの機能別部隊
と、機動警護隊を兼ね備え
た文字どおり多機能な部隊
である。早春から早苗に負
けじと「一致団結」して厳
しい訓練と部隊による各種
警察活動に精を出した。

お陰で各級指揮官をはじめ
一人ひとりの隊員は、一
まわり大きく成長、特に新
隊員は、汗と涙で立派な機
動隊員に生まれ変わるなど
輝かしい伝統に新たな一
ページを加える事ができた。

今年、第三十一回世界
体操選手権福井大会を控え
益々機動隊の活動に期待が
かかっている。
更に訓練の練度を高め、
強靱で規律厳正、士気の高
い集團警備力で機能に徹し
各機動隊活動を完了する機
動隊として、県民の期待に
こたえていきたい。

新年あけましておめでと
うございます。

岐阜県警察機動隊長

年頭所感

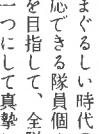


都村 利時

全国の隊友諸兄の皆さん、
明けましておめでとうござ
います。
昨年は、時代に対応した
「現場第一主義」に基づき、
「モービル・スリーパー部
隊」制度を本県独自で新設
し、一線警察署に対する支
援強化を図りました。この
制度は、警備出動や訓練の
合間を効果的に活用し、重
要事件を抱えている警察署
に対する支援、あるいは突
発事件・事故に対する初動
活動を積極的に行つていく
もので、一個分隊を六人編
成とし時差出動等によつて
柔軟に対応した結果、各署
から大受好評を得るととも
に隊員個々の実務能力の向
上にも役立ちました。

また、「文武両道」を合
言葉に各級昇任試験にも真
剣を取り組み、多数の合格
者を出すことができた。
本年も、全国的には不安
定な政局と平成不況に加え
こ数年來の異常気象等が
相まって思つて見えない突
発事象の発生が予想される
とともに県内においても、
重要警備警備も予定されて
いることから、昨年に引
き続き「はばたく機動隊未
来に向けて」をわが隊のキ
ャッチフレーズとして継承
し、目まぐるしい時代の変
化に対応できる隊員個々の
プロ化を目指して、全隊員
が心を一つにして真摯に取
り組み、県民の期待と信頼
に応えていきたいと決意を
新たにしております。

愛知県警察機動隊長
年頭所感



河野 勝彦

新年あけましておめでと
うございます。

新年あけましておめでと
うございます。

うございます。

昨年、愛知県警では、日
本の航空機史上二番目の死
傷事故に伴う警察航空機墜
落事故に伴う警察航空機、昭
和二十五年以来四十四年ぶ
りに開催された四十九回回
民体育大会に伴う警備警備
等愛知警察の総力を挙げて
の大警備が実現しました。
特に国体に伴う警備警備の
隊第二大隊等の派遣をいた
だき無事警備を終了するこ
とができました。応援に來
ていただいた部隊の皆様方
には、心からお礼申し上げ
ます。

機動隊は集團警備力の中
核部隊として誕生し、治安
警備のプロとして出動服に
ジェラルミンの大柄を持ち
革命諸勢力の投石・火炎ビ
ン投げで中核の鎮圧に
明け暮れていたのが、時代
の変遷に伴い集会デモ等街
頭闘争が少なくなった今日
では、特別救助隊のように
特殊技能・専門技術を有す
る機能別部隊の編成・運用
にウェイトがかかる時代と
なっております。

また、中華航空機墜落事
故のような突発重大事故や
大災害発生時における第一
次的な救出救護、警戒活動
は機動隊の最たる任務であ
り、発生後素早く部隊投入
しなければならず、有事即
応体制の確立がポイントと
なります。

これからの機動隊は、広
域的運用が図られ全国が活
動の場となることから、広
い視野を持ち、強靱で専門
的な技能・技術を保持し、
どんな出動要請にも直ちに
応えることが出来るプロの
集團の育成に努めます。

三重県警察機動隊長
仕事を楽しむ



中川 曉

平成二年の親謁の儀から

始まった本県の大規模警衛
警備も昨年の国民文化祭
で一応の終止符が打たれた
ものの、わが三重県警察機
動隊は、一息つき間もなく
他県への応援出動や県内の
治安維持のための出動が相
変わらず続いている。忙中
に閑ありといえぬ、なか
か「閑」を見い出せず、日
常業務に追われているのが
現状である。

ロシアの作家 マキシム・
ゴーリキンの名作戯曲「ど
ん底」の中に、「仕事は楽
しみながら、人生は楽園だ
し、仕事は楽園だ」とい
ふ言葉がある。人生は楽園
だ、仕事は楽園だ、とい
うことになると、人生は
半壊になる」という言葉
があります。私達にとつて
働くことは生きることであ
る。「仕事」は生活そのも
の。仕事は楽しいけれど、仕
事がどうしてもやらなけれ
ばならない義務と考えると
したら、毎日の暮らしは囚
人のそれと全く変わらな
いものとなります。したが
って、私たちは毎日を楽しく
生き甲斐を感じながら暮ら
すためには、「仕事」を愛
することだと思ひます。私
たちは機動隊員の仕事はT
Vや映画などの世界では決
して主役にはなりえない非
に地味で目立たない仕事で
あり、また過酷かつ危険な
仕事でもあります。

しかし、視点を別の地点
に置いてみると、非常に「楽
しい」仕事でもあると思ひ
ます。今の時期に機動隊
に縁あつて勤務を命ぜられ
る視座、技術を保持し、
どんな出動要請にも直ちに
応えることが出来るプロの
集團の育成に努めます。

平成七年の新春を迎え、
おめでとうございます。
昨年、京都は、平安建都
千二百年を迎え、京都府・
市を中心に「伝統と創生」
をテーマとして、元旦早々
のオーブニングイベントを
皮切りに、恒武天皇が七九
四年に「平安京の詔」を発

した、十一月八日に天皇皇
后両陛下をお迎えしたの
「平安建都千二百年記念式
典」をメインとして、京都
の伝統と特色を生かした
数々の記念イベント千八百
余が繰り広げられ、大晦日
のクロージングイベントで
その幕を閉じた。

滋賀県警察機動隊長

行幸啓を顧みて



北村 和成

不慣れた土地で各府県の
機動隊員、管轄隊員が一丸
となつて多くの困難を克服
して黙々と任務を全うする
真摯な姿に接し県民の各界
から賞賛の声が寄せられま
した。

この警衛において周辺が
山に囲まれた行幸啓先が四
箇所もあつたことから当該
としては、いち早くこの対
策を立て、にぎぎ飯をもつ
ての実査を繰返し実施し
て、事前検察の担当区割り
等、この「山」対策につ
いて機動隊が中核となつて活
動したものであります。

事前検察において蜂に刺
された者、微音警戒で狼を
追はら、猪と競争する
者等珍警戒もありました。
また落葉に埋もれた男性
の白骨死体を発見する等微
底した検察の成果があつた。
本年は有樹祭、大阪での
APECと重要な行事が予
定されておりまた新たな気
持ちで訓練、諸対策に取り
組みたいと思つております。

京都府警察機動隊長
年頭所感



正義 拜師

平成七年の新春を迎え、
おめでとうございます。
昨年、京都は、平安建都
千二百年を迎え、京都府・
市を中心に「伝統と創生」
をテーマとして、元旦早々
のオーブニングイベントを
皮切りに、恒武天皇が七九
四年に「平安京の詔」を発

した、十一月八日に天皇皇
后両陛下をお迎えしたの
「平安建都千二百年記念式
典」をメインとして、京都
の伝統と特色を生かした
数々の記念イベント千八百
余が繰り広げられ、大晦日
のクロージングイベントで
その幕を閉じた。

京都府警は、この歴史的
な意義ある年に当たり、各
種行事が円滑に推進できる
よう府警の総合力を発揮し
て取り組んだ。
わが隊にあつても、警衛
警護を始め、重防警戒等に
従事した多忙な一年であつ
た。

隊員は、この節目の年に
機動隊勤務になつたことを
誇りとするとともに良き伝
統として限りなき前進を誓
つたところである。
本年は、その経験を踏ま
え、更に発展させ府警の最
後の壁として、多角的な要
請に応えるため、精強機動
隊の育成に努めるとともに
文化首都京都の治安維持の
ため、一層の努力を全隊員
とともにする覚悟である。

大阪府警察第一機動隊長
APEC警備に向けて



河盛 進

今秋は、いよいよAPEC
Cが大阪城を舞台に開催さ
れる。関西における文字ど
おり史上最大規模の警備と
なる。

昨年の関西国際空港開港
警備をはるかに上回る部隊
派遣を全国の警察にお願い
しないとその任務を全うで
きない警備である。それだ
けに、開催地としての責任
に身の引き締まる思いで新
年を迎えた。

磨が求められる。そしてこ
れに従事する隊員の一人ひ
とが、歴史の一頁を自分
の手で作り上げるのだ。
「おれがやらねば、だれ
がやる」の気概を持って警
備の万全を期さなければな
らない。

今年、まさに大阪府警の
真備を問われる一年である。
そしてその現場活動の中核
として機動隊の任務の重要
性は言うまでもない。全隊
一丸となつて、その任務を
全うしたい。



大段 正夫

数年前、阪神タイガース
のエースとして活躍され
、また、苦心の末バームボ
ルという変化球を編み出さ
れた小山正明氏から「プロ
魂」と題する講話を拝聴し
たことがある。

氏曰く、「球界における
プロ中のプロとは線香花火
のような存在ではなく、一
軍で息長く活躍する選手」
であり、そのためには、
〇基本をしつかり身につけ
ること。
〇勝負、成果に対して徹頭
徹尾こだわりをもつこと。
〇現状に満足することなく、
常に高さを求めて創意工
夫すること。

が必要であると説かれた。
ところで、本年も当府警
察にとつては、アジア太平
洋経済協力会議の開催に伴
う警備対策の推進をはじめ
とする重要課題が山積し、
これら警戒警備の中核とな
る機動隊の役割は極めて重
要であり、大きな期待が寄
せられている。

機動隊がこうした事態に
的確に対処し、府民と組織
の負託に応えるためには、
プロの警備集団としての真
価を如何にか発揮すること
が何よりも肝要である。そ

ざいます。

二十世紀もあと五年を残すのみとなり、新しい時代に向けて世界全体がその動きを速めている。

本年の治安をめぐる諸情

があり、機動隊の集団警備力は、警備事案に限らず暴行、強盗、銃器犯罪対策、集団密航対策等多くの事案への対処に必要とされており、機動隊の果たす役割はますます重要なものとなっている。

昨今の機動隊の活動形態は大きく様変わりして、隊員個々が現場においてその都度、的確に判断して対処しなければならぬ場面が多く、今後ますます多くなると見られます。

機動隊即ち集団警備力、しかしその根底にあるのは隊員個々の能力アップである。そこでたゆまぬ研鑽を積み、いついかなる事態にも迅速的確に対処できる実力を養い、県民に信頼される精強な機動隊づくりに決意を新たにすものとする。

香川県警察機動隊長

平成七年の抱負



山田 正雄

わが隊は瀬戸大橋、新高松空港、四国横断自動車道の三大プロジェクトにより、大きく変貌しつつある瀬戸内の地において、「強・明・和」の隊訓のもと機動隊員として、警察官として、また人間として信頼される姿を求め、日々訓練に励んでいます。

昨年は厳しき警備情勢の中、集団警備力の中核として、一連の警備を無事終了。また人命救助など機能別部隊としての一人二役、三役の任務も立派に果たして、他、術科においても隊員各自が柔道、剣道、けん銃の基幹要員として、血の通じむ稽古を積み重ね、柔道剣道団体上位入賞、つづく全国大会でも剣道が九年連続第一部維持、警察術科の金看板を支えると共にその振興に大きく貢献できました。

また、長期間、機動隊で精励している隊員を対象に、一定期間、専門分野に派遣して一般警察事象を的確に処理する実務研修実施中であるが、隊員個々の実務能力の向上は必ずや昇任試験合格へ連動するものと期待しています。

本年もさらに訓練を重ね機動隊員としての誇りと使命感に燃え、治安の最後の砦を守るにふさわしい精強な部隊づくりを目指し、決意を新たにしているところでもあります。

愛媛県警察機動隊長

発想を変えて



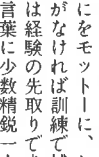
客 謙二朗

機動隊は、発足以来、集団警備力の中核として重要な役割を果たして来た。しかし、大きく変化する社会情勢に対応して、その果たすべき役割も転換を求められている。

「天網恢恢疎而不漏」ではないけれど、視点、観点、角度を変えて、思いを新たに前向きで精進する決意である。

高知県警察機動隊長

機動隊とは人間形成の場である



宮地 信夫

わが隊は強く、明るく、親切にをモットーに、かつての現場がなければ訓練で補え、訓練は経験の先取りである。を合言葉に少数精鋭一人二役以上を目標に日々汗を流している集団である。

努力する過程で、またその目標を達成した喜びからのおおきく生まれる。○親切は相手の立場を理解する広い心を養うことにより生まれる。

と私なりに理由づけ、隊員一人ひとりが機動隊とは訓練の場であると考え、自ら努力できる環境でありたいと願っている。

また、平成七年はAPPC開催に伴う警備等、昨年に増して県外特派も多く、このためには規律を重んじ、気力体力では他に一歩もひけをとらない精強な部隊となるべく、隊員と共に汗を流していきたい。

福岡県警察第一機動隊長

新たな歴史に向かって



小山田勝一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は、「第五回全国みどりの愛護のつどい」「第十二回広島アジア競技大会」等重要警備への特別派遣をはじめ、県内においても集団密航事件対策、暴力団対策等、警察業務全般にわたってまさに東奔西走、隊員一丸となつてその職責を果たした一年であった。

かつての荒れた現場は少なく、警備の質的变化が指摘される現在であるが、厳しい状況の下、一心に勤務に取り組む隊員の士気は今も高く、伝統の重みを感じるとともに、その真摯な姿に胸を熱くした次第である。言うまでもなく、機動隊の存在意義は、各種事案の迅速的確に対処し得る集団警備力にあるが、大規模警備の合理化、効率化が求められる現在、機動隊の有するスペシャリストとしての

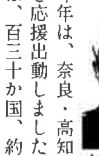
高度な機能に対する期待が高まっている。これに因應するためには、真のプロ集団を目指した厳しい訓練が何より必要である。

「治にいて乱を忘れず」先訓に学び、隊員個々の個性を尊重しながら規律ある精強な部隊育成のため、隊員の先頭に立ち日々の訓練に取り組みたい。

本年も厳しき警備環境のなか、「APPC開催会議」「ユニバーシアード福岡大会」等重要警備を控える。半世紀の伝統を誇る機動隊の新たな歴史を築くため、二十一世紀を担う若く優秀な隊員とともに更に努力精進する覚悟である。

福岡県警察第一機動隊長

年頭所感



赤尾 昭一

昨年は、奈良・高知・広島と応援出張しました。今年人は、百三十か国、約六千人の若者が集い、青春の汗と技を競う「一九九五年ユニバーシアード福岡大会」が開催されます。

当隊は、警備警備の中核部隊として、開・閉会式に御臨席される皇室の御身辺の安全と大会の成功を期し、万全の警備を行うべく訓練を行っているところであります。社会の変化は、機動隊の訓練の在り方に問題提起しています。以前と比べて、集団警備力を発揮する場合は減少しましたが、犯罪の巧妙・複雑化は一層進展しており、機動隊の持つ「レンジャー・レスキュー・警護等の特殊技術」に対する必要性は、一段と増してくると思えます。これらの要請に因應するためには、隊員一人ひとりの知識・技術を伸ばし、訓練で培った技能を、現場で百

パーセント発揮できる精強な部隊をつくること、私に課せられた責務だと思っています。それと同時に、隊員が自分の仕事に生きがいと誇りを持ち、「自分と家族・組織と同志」のため、精一杯頑張ることのできる、明るい職場を目指して、今年も訓練で流した汗が自信の証」を合言葉に、猪突猛進をさげながら、一丸となって突き進んで行く所存です。

佐賀県警察機動隊長 新年を迎えて



浦 美津生

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は、関西新空港開港に伴う警備出動をはじめとした前後六回にわたる特別派遣出動でしたが、隊員一人ひとりが任務を良く自覚し、その重責を無事完遂することができました。

本年も、我々を取巻く情勢は厳しく流動的であることが予想され、けん銃銃事犯等凶悪犯罪に対する県民の機動隊への期待は高く、隊員一同その重責を自覚し燃えております。訓練である「強く・正しく・明るく・愛される」学の機動隊」を合言葉に、治安の最後の砦にふさわしい精強な部隊づくりを目指し、全隊員一致団結し、一丸となつて任務を完遂していく決意であります。

本年もなにとぞよろしくお願ひ申し上げます。長崎県警察機動隊長 平成七年の抱負



松永 光司

左手に六法、心は優しい機動隊」というスローガンのもと、「頼れる強い機動隊」を目指して各種訓練等に精励しているところであるが、いまだ終息のきざしさを見えない雲仙普賢岳災害の警備出動にこたえ、十分な訓練等ができないう状況である。かかる状況の中で警備実施の中核部隊として、いかにして練度の向上を図るかが目下の課題である。

「治にいて乱を忘れず」の言葉のとおり、平素の訓練の積み重ねこそ有事に対応できる「頼れる強い機動隊」であることを確信し、燃える軍団として隊員等の士気も高く一九九五年への決意を胸に普賢岳より立ちこめる白煙を背にして、訓練に頑張っている昨今である。

熊本県警察機動隊長 年頭にあたり



福田 源一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は、関西国際空港開港に伴う警備警備をはじめ六回にわたる県外特別派遣任務を無事完遂することができました。

また、県内では、機動警察活動（パトカー十台の機動警らによる犯罪の予防、検挙活動）、密入国事案に伴う捜索活動、暴力団・銃器対策、暴走族取締りなど、多様な勤務を遂行し、大変多忙ではありましたが、充実した一年でもありました。本年も、例年以上に厳しき警備情勢が予想されますが、機動隊のより多角的な活動を推進するとともに、全国機動隊との連携を強めながらAPPC警備等の重要課題に取り組む、皆様の期待に応えるよう決意を新たにしているところであります。

大分県警察機動隊長 年頭所感



一瀬 征雄

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。機動隊長一年生の昨年は、真夏の八月、広大な久住高原で開催された第十一回日本ジャンボリー大分大会の警備活動をはじめ、六月の村山内閣発足に伴い、大分市にある村山富市首相の私邸に対する警戒勤務、さらには久住山と傾山で相次いで発生した夏山遭難事故での救助、捜索活動や潜水、レジャー部隊の第一線警備への支援活動等々隊員の活躍の場が多く、県民の期待に応えることができたことを深く感謝しています。

機動隊が集団警備力の中核部隊として、その力を維持し、有事に備え県民の期待に応えるためには、隊員の気力、体力、知力、そして団結力を結集する精強な部隊をつくり上げておく必要があります。しかし、治安情勢の変化によって実践の現場が少なく、その現場を知らない隊員が大部分を占めています。

また、その先頭に立つて指揮する隊長以下幹部においても実践の経験者が少なく、有事に備える精強な部隊を堅持するためには、現場を先取りした実践的訓練が必要ありません。「訓練なくして隊員個々人は守れない」を合言葉に努力していきたいと考えております。機動隊に寄せられる部内外からのご期待が大きいことを再確認し、全隊員一丸となつて取り組んでいく所存であります。

宮崎県警察機動隊長 「豊島祭」等に万全を期す



澤津 橋昭一

わが隊が発足してまもなく四十年。「練勇、融和、剛健」を隊訓に三十八名の小規模部隊ではあるが隊員は、各種の警備活動、アクアラング、レンジャー、柔・剣道に情熱を燃やし士気も極めて高い。

昨年は、暴力団の取締り、暴走族取締り、行方不明者及び重要事件証拠品の捜索、水上警察隊の支援など集団警備力や専門的技能を発揮することができ期待に応えられた。

平成七年は、全国的には「APPC」の警備対策や本県の「第十五回全国豊か海づくり大会」の警備警備など重要な警備活動を控えている。今年はず、これら多様な警備活動などにおける任務を完遂するため、アクアラング、爆発物処理などの特殊技能を更に向上させ、現場実査を徹底し、併せて、当面の警備情勢を勘案した第二機動隊の訓練を強化した。また、現在作業中の「暴騒音規制条例」に基づく騒音対策の具体的実施要領も検討し、激動が予想される新年も「実力ある機動隊」としての存在を輝かしいものとする。

鹿児島県警察機動隊長 年頭所感



田之上 政和

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は幸いにして大規模な災害の発生等もなかったことから、十分な訓練が出来たこともあり、管区大会で柔道、剣道共に優勝する

多彩な催しで会場は熱気にあふれ 第18回東北支部総会開催

社機動隊員等を励ます会
第18回東北支部総会並びに懇親パーティ



宮城県警察本部長
金澤 肇夫殿



東北管区警察局長
梅沢 五郎殿

はげまし

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 真
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

「第十八回東北支部総会並びに懇親パーティ」が去る十二月一日(木)午後六時より仙台市内「パレスへいあん」三階平安の間に於いて盛大に挙行された。会開催に先立ち、新日鐵本社の栗原三千男氏による特別講演会が行われ、「私の柔道人生」と題して、全日本実業団、新日鐵柔道部監督として活躍するに至る人生体験談をお話頂き、聞き入る隊員に多くの感銘を与えた。

支部総会は中村哲郎氏の司会で進められ、出席者は来賓として東北管区警察局長殿、宮城県警察本部長殿はじめ各県警察本部の幹部並びに管区機動隊員、各県警察機動隊員等五百五十名の参加を得、当励ます会側は支部役員、東北六県からの評議員、一般会員等約三百名の参加があり、広い会場は熱気で

溢れ、立錐の余地もない程の盛況であった。先ず支部を代表して東北支部長柴田秀次朗氏が挨拶に立ち、「度重なる警備のため、県外派遣で活躍された機動隊員のご苦労に対し感謝の意を表し、今後の活躍に対する期待、そして支部としての活発な支援活動を続ける」との決意表明があった。

次いで鈴木実理事長が挨拶に立ち「来年一月十三日全国優秀機動隊員として機動隊の中から特に優れた人七十名が選ばれるが、励ます会としても「ハワイ視察旅行」をプレゼントする事を考えているので隊員の皆様、日頃の努力を果らせるよう、頑張ってください」との激励の挨拶があった。次いで来賓祝辞に東北管区警察局長梅沢五郎殿が

立ち、当会の支援活動に対して謝辞を述べた後、「今後も重要な警備が目白押しであり機動隊員の更なる研鑽を積み高い士気を維持し、いかなる事態にも対応出来る強靱な実力を養い、一致団結してその任務を全うしていく」との力強い決意表明があった。次に宮城県警察本部長金澤肇夫殿が挨拶に立ち「本年の機動隊の数次にわたる県外出勤に対し東北部隊ならではの高い士気と精進な活動により無事任務を全うした」「今後も治安維持の最後の砦として国民の期待に応えていきたい。そのためには若い警察官の集団である機動隊員の士気を高め、心の支えとなるものは皆様の暖かい励ましであり、今後とも支援の輪を広げてほしい」との要請があった。

次いで評議員千賀孝氏の乾杯の音頭で杯を高々と挙げ、懇談に入った。最初に宮城県警察音楽隊により我々に親しみ多い曲が演奏された後、カラーガード隊による演技披露があり、会場の雰囲気盛り上げた。

今回は、隊員にゆくりくつろいでもらおうと隊員による余興は取り止め、代わって東北おもしろ競演大会で優勝した小牛田江鳴会十五名による和太鼓「江鳴打囃し」が演奏された。前回好評であった「福引」が今回も行われ警察幹部と当会会員が壇上で籤を引き、会場は熱気に溢れかえった。続いて(株)ニッテツファインプロダクツ北沢社長より各機動隊長にカイト「ぬくっ子」の寄贈があり壇上で贈呈された。

かくする中、時間が経過して後半に入り、警察幹部、機動隊員・当会会員全員が会場狭しとばかり肩を組み、「この世を花にするために」を合唱した。続いて福島県機動隊長安島隆雄殿が立ち謝辞を述べると共に今後の決意の程を力強く表明した。

謝辞の後、評議員小山田周右氏の音頭で万歳を三唱、中村哲郎氏の閉会のことばがあった、さしも盛大を極めた支部総会は閉会した。

晴天に恵まれた今年のお正月の出入は、初詣に出かけた人が過去最高を記録した昨年とほぼ同様の、八千五百二十一人、また行楽地にもたくさんの方が出かけ、各地ともにぎやかな新年の幕開けとなった。

これに対し、各都道府県警察では、正月三が日の間、約三万五千人の警察官等が出動、市民の安全確保に当たり、大きな混乱もなく、無事に新年を迎えることができた。



明治神宮 (警視庁)

今年も完全警備を祈る 新春から警備も万全



十二月一日、支部総会に先立ち東北支部に対し、昭和五十一年以来、東北管区内の機動隊員等に対する積極的支援を通じ、警察業務の推進に多大なる貢献をされた功績に対し、梅沢東北管区警察局長殿から感謝状が贈呈されました。



当会に各地で感謝状をいただく

十二月十三日、北陸支部世話人代表樋浦忠氏に、新潟県警察本部長殿から感謝状が贈呈されました。

樋浦氏は、昭和五十二年北陸支部発足当初から、会員の拡大等当会の発展のために多大の貢献をして頂きましたが、この度これらの功勞に対し、衛藤本部長殿から感謝状が贈呈されました。

全国初詣人出ベスト10

- | | | |
|-----|-------------|------|
| 1位 | 明治神宮 (東京) | 345万 |
| 2位 | 川崎大師 (神奈川) | 322万 |
| 3位 | 成田山新勝寺 (千葉) | 313万 |
| 4位 | 住吉大社 (大阪) | 288万 |
| 5位 | 伏見稲荷大社 (京都) | 250万 |
| 6位 | 熱田神宮 (愛知) | 219万 |
| 7位 | 鶴岡八幡宮 (神奈川) | 203万 |
| 8位 | 太宰府天満宮 (福岡) | 201万 |
| 9位 | 大宮氷川神社 (埼玉) | 185万 |
| 10位 | 浅草寺 (東京) | 164万 |



明治神宮 (大みそか)



新年の抱負

中国管区機動隊

吉岡 心次

私にとって一九九五年は、管区機動隊二年目の年になります。

昨年四月に管区機動隊員に指名されたから

○初めての異動に伴う勤務環境の変化

○合同警備訓練入校

○度重なる県外特別派遣

等々、一年目隊員として悪戦苦闘の毎日であったような気がします。

今は懐かしい思い出ですが、考えてみれば昨年は、私にとって正に「激動の一年」でした。

入校訓練や特別派遣等は、新隊員の私にとって分からないことばかりで大変厳しいものであったと思う反面、管区機動隊員でなければ出来ない他県警察官との交流や県外での警備警備等、数多くの貴重な体験ができたと思います。

二年目隊員になる今年は、この貴重な経験と、先輩方が築いてこられた管

区機動隊の良い伝統を後輩隊員に伝えていかなければならない責任と義務を果たせるように、自己研鑽に努めるとともに、何事にも積極的に取り組み、「俺はやったんだ」と、自分に納得できる一年にする決意です。

精強な部隊を作るために

四国管区機動隊

六車 敦士

昨年四月、管機入隊から厳しい入校訓練、数多くの出動を経て、今、管機隊員として新年を迎えるに当たって、私の心は新たな年への希望に溢れている。何故なら、私には先輩隊員から受け継いだ熱い管機の血が脈打ち、「管機魂」が宿っているからです。

入隊当時は何事に対しても不安で自信がなく、まるで何かに怯えているように萎縮していた私に、隊員としての「いろは」を身をもって示してくれたのは先輩隊員でした。

何でもやればできるという自信を私に与えてくれたのです。

そして、今年はその恩に報いる年だと思っています。先輩隊員から教わったことを土台として「より精強な部隊」を作ることが、私の使命だと思うので

そのためには、

○隊員一人ひとりが誰にも負けない体力と、何者をも恐れぬ精神力を持つ

○部隊の団結と一糸乱れぬ連携を保つことが最重要であり、それを目標に隊員の先頭に立ち、努力していくと決意を新たにしているところです。

新年を迎えるに当たり、精強な部隊作りを最重要目標として、管区機動隊員としての使命を全うしていきたいと思っています。

「努力に勝る天才はなし」この言葉を座右の銘として努力してまいります。

日本一の部隊を作るために。

新年の抱負

九州管区機動隊

新山 卓弥

九州管区機動隊に入隊し、三度目の正月を迎えた。

思えば、この二年間怪我もせず、よく無事に勤めてこれたものと我ながら感心し、ほっとしている。

さて、昨年を振り返ってみると、わが九州管機は、警備警備出動の連続で、東奔西走した一年であった。

当初、警備警備は治安警備に比べ、神経は使うものの危険は少なく幾分楽だと思っていた。

しかし、警備は思う程簡単なものではなかった。

体力を要し、精神的にも疲れる仕事であるということ、私たちは身をもって体験した。

確かに治安警備に比べ、警備は楯を持って走ったり、相手と対峙し、激しい攻防という訳ではないが、警備期間中は、護るべきものをじっと護り、突発事案には即時対応し、見えない敵を見つけ出し、事故を未然に防止するといった、常に高度の緊張感と、これに対応できる強靱な体力が必要であることを痛感させられた。

新しい年を迎えるに当たり、本年私も出動することになるであろう日本警察の威信をかけた大警備事案任務の完遂を目指し、気力、体力を充実すると共に、全国機動隊員の無事を心から祈りたい。

新年の決意

北海道警察機動隊

相崎 昭義

私が機動隊員として勤務するようになり、早くも二年九か月が過ぎようとしています。

思い起こせば、このわずかな期間中にも、一昨年の奥尻島災害警備、皇太子殿下御成婚警備等、歴史上に残る事案の経験を経ることが出来ました。

また、昨年の北海道警察視察に臨んだとき、各種出動事案の忙しい合間を縫っての訓練は、雨の日も風の日も体中泥だらけ、汗まみれになりながら、気力、体力の限界を極めるべく頑張り

ました。

非番等、前日の疲れが残り、集中力がなくなりそうなる時、上司、先輩から叱咤激励され、隊員同志励まし合い、乗り切りました。

そして迎えた視察式当日、前日から雨でぬかるグラウンドを早朝から警備し、本番では指揮官の号令の下、一糸乱れず水溜まりの中に体を倒し、泥だらけになりながら訓練の成果を出し切り、無事任務を全うすることが出来たのです。

この瞬間、見守る一般観衆の中から自然にわき上がった大きな拍手の中で、それまでの自分の辛かった苦勞は、一つの仕事を成し遂げた満足感でいっぱいになりました。

一つのことに向かって苦勞を共にした上司、先輩とは強い絆で結ばれたという充実感から、「俺は本当に機動隊員で良かった」と心の中で叫んだのです。

私もこれからは中堅隊員として、これらの貴重な体験を後輩に伝えていくとともに、私自身機動隊員としての誇りを持ち、各種事案への対応は勿論、昇任試験など何事にも自信を持って「初志貫徹」をモットーに、誠心誠意全力を尽くす決意であります。

新年の抱負

福島県警察機動隊

結城 学

あけましておめでとうございます。機動隊員として二度目の正月を迎えま

た。

昨年を振り返りますと、県警発足四十周年記念の年に、十七年ぶりの管区柔道大会優勝のメンバーだったことをはじめ、冬山遭難救助や凶器捜索など、県内各地への出動が例年より多かったりと、充実した思い出に残る一年でありました。

今年は、第五十回国民体育大会「ふくしま国体」が開催されます。

今大会は完全国体でもあり、天皇皇后両陛下をはじめ、各皇族の来県に伴う警備警備など、警備の中核として機動隊の役割も重要になります。絶対に失敗の許されない任務であることから、本部直轄部隊員としての職責を自覚して、「ゆるぎない警備で支えるふくしま国体」のスローガンのもと、誇りと使命感を持って今年一年頑張っていこうと思います。

チャレンジ精神

長野県警察機動隊

原山 伸樹

機動隊勤務の中で、治安警備、災害警備等の出動を通じ、様々な貴重な体験をすることができました。これらの体験は、これからの警察官人生において、貴重な財産になるものと思います。

長野県では、一九九八年二月から十六日間にわたり、冬季オリンピックが開催され、各国から多数の要人の来県が予定されており、長野県警察始まって以来の大警備が待ち構えています。

そこで私は、これを機会に二つの目標を立てました。

そのひとつは、学生の頃から苦手であった語学の克服です。毎日少しずつ勉強して、来たるオリンピックでは、全世界が注目する中で完璧な警備を期すため、少しでも役立てたいと思います。

その二つ目は、気力の充実と体力の強化です。これは、厳寒期の中の警

備を全うするためには、必要不可欠の要素であります。そこで、明確な目的意識のもと、日頃の訓練からチャレンジ精神で頑張りたいと思います。

今年も亥年であり、文字通り「猪突猛進あるのみ」と考えています。自分の立てた目標を達成するために、日々努力を積み重ね、前へ前へと突き進んでいきたいと思っています。

新年を迎える抱負

福井県警察機動隊

上田 裕司

あけましておめでとうございます。平成七年亥年、年男である私にとっては、いつもの年になくある種の節目のようなものを感じる年でもあります。

亥年の二十四歳で機動隊に入隊して以来、早や十二年が経過し、まさか隊員として二度目の亥年を迎えるとは思っていませんでした。

例年、新年を迎えるにあたり、その年の抱負に思い巡らせてきたわけですが、今年も「新たな挑戦」「勉強」「健康」この三つを新年の抱負として挙げたいと思っています。

一、「新たな挑戦」については、パソコン、英会話に取り組みたいと考えています。パソコンは、近年の情報化時代の進展や、警察における情報処理業務の拡大に対応していくため。英会話は、本県においても外国人の増加にともない、その必要性が迫られているため。

二、「勉強」については、巡査部長任用科入校を控え、さらに巡査部長として恥ずかしくない見識と実力を身につけるため。

三、「健康」については、昨年末、右アキレス腱を切断し、年末年始を病院で過ごす羽目になり、職場や家族に多大の迷惑をかけてしまいました。今年はこれを反省し、一年間健康を保つ。

以上が私の新年の抱負です。「猪突猛進当たって砕けろ」。節目の年にふさわしい有意義な一年でありたい。

機能別部隊のプロとして

京都府警察機動隊

辻 雅史

平成六年は、私にとって非常に有意義な年でした。「平安遷都千二百年」諸行事に伴う各種警備、警衛警護、重防警戒等の出動に明け暮れ、その任務を完遂したことはもとより、その多忙な中で、アクアラング、レンジヤーの資格を取得できたからで、他では経験できない貴重な体験でした。

そこで、新年に向けて目標とするところは、

○「機能別部隊のプロとなる」こととあります。プロとは何か。訓練で体得した技術を現場で発揮できてこそ、本当のプロといえるのではないのでしょうか。

資格取得後、出動する機会には恵まられていませんが、実際の活動現場ではいろいろなケースが考えられ、応用をきかせた対応が必要となると感じます。

しかし、今のところ私は基本的な事項しか理解、習得できていませんので、過去の教訓から学ぶとともに、先輩隊員の技術を盗み取る等して、確実に自分のものとしていくつもりです。また、知識・技能のみにとらわれることなく、体力を鍛え、体力に裏打ちされた訓練、実戦を目指します。

機能別部隊の活動は、文明の発達に伴う予測しがたい災害の発生、犯罪の多様化等によって今後ますます重要であり、国民の期待に応える警察活動の最後の砦ともいえます。

誰にでもできるのではなく、機動隊だからこそできる任務のひとつと考え、その活動に従事できることに、誇りと使命感を感じるのであります。

日本北から南から

スクーバ隊の活動

神奈川警察機動隊

昨年のスクーバ隊の出動は、海中転落車両発見に伴う遺体捜索、釣り人転落に伴う捜索のほか、各種犯罪の証拠品捜索では、金庫、ナイフ、ナンバードレット、革靴などと前年に比べて二倍近くの出動件数となり、当隊だけでも二十回以上の出動となるなど、その潜水技術能力を遺憾なく発揮している。

本県機動隊では、以前にもまして重要視されている潜水活動について、昨年九月、隊員を増強し、体制の拡充と訓練の充実感を図るとともに、部隊名称を潜水救助隊からスクーバ隊と改めた。

昨年特筆すべきは、「横浜港京浜運河母子殺人及び死体遺棄容疑事件」捜索に伴う長男発見のための潜水捜索である。

捜索本部からの緊急要請を受け、出動したスクーバ隊。現場では既に、県警、海上保安庁、民間の船舶三十隻らが海上からの捜索を行っている。潜水部隊は我々しかいない。

水深五十二メートル、視界三メートルの現場は、海水をポンプで吸い上げる発電所の取水口もあり、捜索作業は連日困難を極めた。隊員らは、重要事件の早期解決に向け、必死に潜り続けた。

こうした奮闘中の四日目、水深七メートルの海底にビニール袋を発見し、長男の遺体を確認。冥福を祈るとともに、事件の早期解決を祈らずにはいなかった。

今後とも被災者の救助をはじめ、各種犯罪の早期解決に向け、スクーバ隊員は張り切っている。



▶スクーバ隊の訓練状況



▶平成六年十一月二日横浜港での捜索

努力と実績
信頼の機動隊

東 鋼 業 (株)

大 野 興 業 (株)

(学) 嘉悦学 園

高 周 波 熱 錬 (株)

杉 尾 榮 俊

大 洋 製 鋼 (株)

(株) 上野百貨店

大 東 港 運 (株)

橋 山 和 正

西 戸 榮 一

浅 田 隆 司

竹 之 上 誠 剛

東 海 鋼 材 工 業 (株)

中 京 製 線 (株)

太 陽 シ ャ ー リ ン グ (株)

堀 口 海 運 (株)

早 達 運 送 (株)

新 潟 鋼 機 (株)

不 動 鋼 板 工 業 (株)

(社) 機動隊員等を励ます会
東 北 支 部

者場の読



空の旅の変遷 ：南廻り欧州便の廃止

落合 國雄

(理事・東京本部)

昨年の日経新聞は、南廻りの欧州便が十一月を以て休止し、四十年余の歴史に幕を閉じたと報じて居た。且つて日本人旅行者の多数が利用した東南アジア、中東經由の欧州行路線所謂「南廻り」の内最後迄サービスが続けて居たギリシャのオリピック航空が遂に十一月一日成田発の最終便を以て終止符を打ったのである。理由はシベリア上空を飛ぶ最短ルートに比較し時間がかり過ぎる事と湾岸戦争などの影響でビジネス需要が減少した事に依る。

南廻りルートは一九五二年(昭和二十七年)にエールフランスが欧州の航空会社としては初めて開設し、日航が運行を開始したのは一九六二年(昭和三十三年)の事である。

当時東京・ロンドン間は概ね八カ所に離着陸して運行され「空のシルクロード」として一般に親しまれて居た。

一九六六年(昭和四十一年)に南ア共和国に旅行した、その帰途ロンドン発南廻り東京行のパンナムPA001かPA002便に乗った事がある。物好きにも時間がかるのは承知の上の事であった。理由は此の便がフランクフルト(西独)、ウィーン(オーストリア)、イスタンブール(トルコ)、テヘラン(イラン)、ニューデリー(印度)、バンコック(泰)そして香港を経由する便であり仲々普通では行けそうもない都市を結んで居た為

で、「何でも見てやろう」的な好奇心が原動力であった。

さて飛び立つてフランクフルト、ウィーン、イスタンブールあたり迄は、着陸する度にターミナルの売店を覗いたりひやかすなど、それなりに見聞を広めたり東の間の旅情を楽しんだものだが、流石にニューデリーに着いた頃は深夜一晩方であつたせいもあり、機外に出る元氣も消え失せて了つた。

所要時間は既にジェット機になつて居たので二十八時間、乗員は此の間イスタンブールとバンコックで交替したのでクルーは三組、客は変わらずと云う飛行であつた。

然し今から考えると自己満足かも知れないが、飛行場丈にせよ各地の空氣も吸えたのは得難い経験であり、疲れたが同時に価値のある飛行であつたと思つて居る。

所て南廻り欧州線を大巾に短縮したのがスカンディナヴィア航空(SAS)に依る北極經由の空路の開設であつた。一九五七年(昭和三十二年)二月二十四日SASはダグラスDC7Cグロブ・トロター機を使い、東京よりアラスカのアンカレッジ經由コペンハーゲン行きの欧州線の開設に成功した。DC7Cはプロペラ機時代の最後を飾る優秀機で、当時プロペラ機に依る南廻りの五十六時間を一挙に三十二時間に短縮した。その後ジェット化により之が十数時間に短縮され六割の旅客が「北廻り」を選ぶ事となつた。

当時北極上空を飛ぶと磁石はどうなつて了うのか素人なりに興味を持つものがSASの広報に依れば同社技術陣がグリッド(格子形)地図(POLAR GRID MAP)ポラー・パス・ジャイロコ(POLAR PATH GYRO COMPASS)などの手法の開発採用により、着実にしかも安全に運行できるシステムを確立した事による。

何しろ北極では普通のコンパスはいつても南を指し、然も普通の地図では北極点

に近づくにつれ子午線の間隔がせばめられて居るので使えない。依而北極点を中心として所謂グリッド(格子形)地図を考案し、又北極点で一定の方向を差す北極通過ジャイロ・コンパスが考案されたのである。

欧州行の北極經由の空路と米國行が共にアラスカのアンカレッジを經由して居たので、一頃アンカレッジは空の銀座の觀を呈して居たものである。

その後一九八五年の日ソ協定によりシベリア上空の飛行制限が緩和されたので飛行時間はさらに短縮されて東京・ロンドン間は現在十二十三時間となり、アンカレッジ經由は貨物便のみとなつて了つた。時代の変遷であらうか。

国際化雑感

麻生 博

(理事・東京本部)

先日「日本人学校同窓会PTA会」が青山のとあるレストランで開かれ、当時小学校四年であつた娘と共に招かれて出席した。その娘も四十歳を過ぎているが人々と会話が弾んだ。日本語の先生をお願いした方が、学習院大学教授を定年退職する事になった機会に、此の集まりが企画され、生徒主体の同窓会にPTAが参加する形で開催された。

昭和三十年代の初期、私は富士製鉄(株)の事務所開設のためデュセルドルフに家族共々赴任した。今日デュセルドルフに住日本人は六千人を越し、日本人学校も生徒の数が千人以上を数え、サッカースタジアムに備えた海外最大規模の学校だと言う。当時のドイツはベルリン封鎖・西ベルリン援助の物資の空輸などとドイツは揺られて居た危機に瀕して居た。西ベルリンにあった多くの企業の本社が、ルールの中心都市エッセンを避けて、統一までの仮の首都ボンに近いライン河沿いのデュセルドルフに続々と移つて来た。今日デュセルドルフはドイツ最大の商工業の中心都市にまで発展しているが「ドルフ」

の意味が「村」であるように当時はまだ鄙びた街で、弾痕のある家々が残つて居たし、日本商社・銀行などの進出も少なく、富士製鉄事務所の開設が十八番目であつた。日本人の数が増えたといつても家族を含めても百名をそこそこであつた。

従つて、子供の教育も全部ドイツの学校に依頼するほか術がなかった。子供は先ずドイツ語の理解が必要であつた。着任するや、先ず小学校四年の娘と一年の息子を百キロ離れた街の寄宿舎付きのキンダーハイムに入れ、ドイツの子供の中で二か月の生活を送らせた。外国人は二人だけで町の新聞にのる程であつた。先生など言葉の判らない子供をあずかつた方々のご苦労は大変なものであつたと思え、二か月間私共親の面会も禁止され、会えなかつた孤獨の子供の苦勞も大変であつたろう。此処で日用語をマスターした子等は、ドイツのギミナジウム(中等学校・小学校に通うようになり、嬉々として通学するようになった。当時の日本人の子供のドイツ語は完全なもので、寝言もドイツ語であつた。私の子供等もプラウドイチュ(此の地方の方言)も話し、女秘書に注意されて正規のドイツ語に言いなおす程、言葉の使い分けが出来るように迄なつていた。魚が三人いるとか、傘の下行くとか、奇妙な日本語を使う子供が多かつた。ドイツの学校の教科について行くのが精一杯の子供に、日本の教科を教えるのは負担が多く無理であつた。しかし、余りにも酷すぎるので父兄有志が集まり、場所を借り、留学生ご夫妻にお願いして、土曜の午後日本語学校を開いた。当時の子供等の文集が残つて居るが、微笑ましいが酷すぎる拙い文章である。

欧州には暗算が無い。ドイツを例にとれば百二十三三百三十三と云う。暗算の出来ない仕組みになつて居る。パリとベルリンの距離が判つても、東京と大阪の距離は判らない。学校で日本に汽車があるかと言われ、憤慨して子供が帰つて来るような雰囲気の中の生活でもあつた。教科書の中の日本は半ページもなく、お

粗末なものであつた。

これらの子供たちの日本帰國後の進路は厳しかった。日本にはこれら優れた人材を受け入れるシステムがなかった。幾ら優れた人材でも日本の体制の中では劣等生であつた。大変努力されたのであろう、集まつた人々の中には一流官庁の官僚・一流の企業・商社で活躍されている方々も少なくない。又、立派な家庭の主婦として日本でお暮らしの方も多い。しかし、三分の一ぐらいの方々は欧州で暮らしたようだ。欧州の方々と結婚された方もいる。エアーフランスその他国際企業に勤務されている方々、様々な国際機関に關与されている方々が多い。国際化が叫ばれている今日、四十代の働き盛りで水を得た魚のように国際社会で活躍されておられる。日本のため心強く頼もしい限りである。

教授の話に依れば、デュセルドルフには、完備した日本人学校のはか河合塾等の塾が三校開設されていると云う。生徒は母に自動車で送られ登校し、迎えられ下校し、塾に向かって此処で学習しているとの事だ。日本の管理システムがその儘現在のデュセルで行われて居る。ドイツ語を充分に話せない子供が増えているという。何んたることであらうか。

国際化が叫ばれ、日本が大きく変わろうとしている。外国大学卒業の人材を日本企業が求め始めている時代である。「制度が完備した時その制度の衰亡は始まる」と古人が言っているが、日本の教育制度も改革に迫られているような気がしてならない。

お知らせ

◎二月九日(木)午後六時より福岡市中央区渡辺通「ホテルニューオータ」において九州支部総会を行います。

電話〇九二一七四一一一一

◎二月二十日(月)午後五時三十分より名古屋市中区東横名「古屋郵便貯金会館」において名古屋支部総会を行います。

電話〇五二九五一七六一一

皆様の参加をお待ちしております。



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 寛
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

兵庫県南部地震

一月十七日、午前五時四十六分、近畿地方をマグニチュード七・二の直下型地震が襲った。激震は約二十秒間続き、死者五千人以上、負傷者二万六千人以上、崩壊家屋は約九万九千棟を越す大惨事となった。



神戸市内を中心に火は2日間燃えつづけた



倒壊したビルの中での作業



土砂くずれの現場で

この大災害に際して、近畿地方の機動隊はもとより、全国の機動隊員がすぐさま活動を開始した。午前中には近畿および四国管内の機動隊等が出動し、夕刻までには警視庁など全国から約二千五百名が応援にかけつづけた。十九日以降は一日あたり約五千名が交代で文字どおり不眠不休の救助活動を行い、現在も一般警察活動に従事している。

これに対し、当会としては、迅速な対応を心がけ、一月十八日、十九日にかけて、大正製薬様からの寄付を含め栄養剤、補食食品、使い捨てカイロ、ばんそうこう、かぜ薬等を大阪府警との協力による輸送で、兵庫県警察本部に寄贈するとともに、二月二十日理事長が、警察庁長官、警視總監にお会いして警察活動に、心から感謝と激励を申し上げた。

この地震の震源は淡路島北東約三キロの明石海峡。この地震で交通、通信、電気、

水道といった生活を支えるライフラインが断ち切れ、倒壊した家屋の下敷きになった多くの人々への懸命の救助活動も思うような進展は進まず、水・食料といった基本的な生活物資の不足も叫ばれた。神戸市内だけで、百五十件を超す火災がおき、焼失面積は計百万平方メートルと見込まれている。山陽新幹線、阪急、阪神の線路は一部遮断、日本有数の港である神戸港は百七十の岸壁のほとんどが使用できなくなった。

停電は百万世帯、ガスは八十五万世帯、電話は二十八万を超す回線が不通となり、関西のほぼ全域で通話困難となった。特に、家を失った人々の食料の配給や生活飲料水の配給は交通事情の悪さも影響して困難をきわめ、被害のあった住民の不自由な生活は現在も続いている。

前例のない都市型の大災害となった今回の地震ではあるが、あらゆる面から想像を超えた災害であったことは間違いない。しかし、それではすまされない

今月の言葉

先日仕事帰りの車の中であまたまラジオを聞いていた折り、「昨年一年間の出来事を四文字熟語で表わしたらどうなるか」と言うテーマで全国から募集した所、大変面白いものが多数集まったと言っていました。私はその番組を聞いていて特に印象深かった言葉が「暑中眩暈」と「凶器乱舞」でした。

「暑中眩暈」の方は全くその通りで、昨年の暑さは異常とも言える様な厳しいものでありました。この事は日本が温帯から亜熱帯に移行しつつある事を感じさせるものでした。

「凶器乱舞」は昨今の新聞紙上に毎日の様に載っている銃による犯罪が激増している事を象徴したものとしての得た言葉であると思えました。

機動隊に感謝

(理事・千葉支部長 菅 浦一)

我々日本人は水と安全はいつもただであると錯覚している幸せな民族であります。世界一安全な国と言われる日本が、やや不安定になりがちな社会の中で、機動隊の方々が国民の為に職務を遂行する事は本当に大変な事であると思っております。政治経済の国際化のみならず庶民レベルの国際化は今後益々増加するものと思われまます。その結果外国人による犯罪も、もつと増えてくる事が予想されます。この様に大変厳しくなりつつある社会の中で治安を維持し、国民の生活を守る仕事をされている機動隊の皆様には大変感謝しており、有難く厚く御礼申し上げます。

今後共、日本国民の為に誇りを持って、日常の仕事に邁進されます事を願いつつ、機動隊の発展と機動隊の皆様の御健勝を心よりお祈り申し上げます。



救助活動は夜まで続いた

課題がたくさん残された。被害にあわれた方々への一刻も早い復旧を願うと同時に、災害が起きると同時に現場に向かい、救助活動に当たられた全国の機動隊の方々に対して心より感謝し、われわれとしても、出来るかぎりの支援を続け、一日も早く復興を願わずにはいられない。



中部管区機動隊

寺瀬 秀昭

今回の災害警備特別派遣の命を受けた我々中部管区機動隊は、一月十七日南機動隊長から「現地ではどのような危険が待ち受けているか分からないが被災者の為に、誠心誠意勤務するように」との訓示を受け、全隊員が強い使命感を胸に出動したのでした。

しかし、我々の意気込みを嘲笑うかのように行く手を遮る渋滞、けたたましく鳴り響くサイレンの音。それぞれが深夜の暗闇と相まって、緊張感、焦りが高まる中、現地に着き、夜明けと共に姿を表わした「惨劇の跡」の出現を受けました。そして、その光景はこれから始まる任務の困難さを想像するには充分すぎるものでした。

私は、心に芽生え始めた不安感と戦いながら、ある避難所の前を通過した際、窓ガラスにしがみついて不安気なまなざしで我々の車列を見つめる子供の姿を見つけ、胸が熱くなり、「子を持つ親として、この子供達の為にも自分ができることを精一杯しなければならぬ」と意を強くしたのでした。

我々は、芦屋市内において、便所の確保もままならないという混乱の中、人命救助、遺体収容、警ら等の任務に就きましたが、各作業は原始的な人海

戦術に頼らざるを得ない状況で、困難を極めたのです。一方、我々に向かつて涙を流しながら深々と頭を下げる女性の姿や、「頑張ってください」という被災者の方々の言葉から、我々に対する強い期待を感じ、余計に歯痒さが募るという「焦燥の日々」が続くだけでした。

「我々の活動は期待に応えられたのか。もっと応援してあげたい」との思いで一杯であった。

今回の地震で亡くなられた五千有余名の方々のご冥福と、被災された方々の「真の復興」を祈りながら、被災地を後にしたのでした。

近畿管区機動隊

柳内 芳基

「お巡りさん、地震のあった日、主人が散歩に行ったさき九日間も連絡がとれません。散歩のコースを歩いてみましたが、倒れた家が道路が塞がった二箇所しか考えられません。心は決めています。お願いですから主人を探して下さい」。

この申告を受けて、我々管区機動隊第一大隊隊員は、二箇所に分れて救出活動に入る。半壊した家が隣家にもたれかかっている。二次災害の危険もある。しかし、この切なる願いに報うべく、

必死にエンジンカッターを操る。腹這いになって少しの隙間から強力ライトを照らして中を覗く。発見できない。夜も更けてくる。止むなく作業の中断である。家族の心の中いかにばかりかと思ひながら、必ず発見せねばと心に誓う。

翌日、シヨベルカーの到着で作業は急ピッチで進む。家を概ね除去したところで我々の出番である。泥まみれになりながら、「生きていて欲しい」の一念だけで二次災害という敵と戦いながらただ黙々と作業を行ったが、結果として遺体の発見となった。

家族の方から「お巡りさん、本当に有り難うございました。ここまでしていただき、私自身、このご恩はこれからは先、お返しすることはできないと思います。せめて言葉だけでもあります。機動隊の皆様によりしくお伝えくださいませ」との言葉は、発見できてよかったと思う反面、何とも重く、また実りあるひと言となった。

その後の捜索活動でも、遺体の発見という悲しいことが続いたが、今回の災害警備に従事し、この種事案が発生した場合、「何をなすべきか」がはっきり見えてきたような気がする。

また、今後いかなる困難な事態が起ころうとも、誠心誠意、地道に努力することによって市民の信頼が得られることを教えられた出動でもあった。

九州管区機動隊

坂口 彰

我々九州管区機動隊は、兵庫県南部地震発生後、直ちに神戸に向けて出発し、翌日未明、神戸市内で最も多くの死亡者を数えることとなった東灘区に入った。

与えられた任務は、倒壊家屋の中に生き埋めとなっている被災者の救出である。

初日から、数多くの倒壊家屋の中で無念に息絶えた被災者を収容した。救

出作業三日目の一月二十日、「一家四人が生きて埋めになっているかもしれない」との通報を受けた。

倒壊家屋をよく見てみると、南北に建った長屋式の木造住宅は、二階部分が震源である南側（淡路島方向）から遠ざかるように北側に倒れ、一階部分をすべて押しつぶしている。

二階の住民の承諾を得て、タンスなどの家財道具を表に運び出し、畳を剥がして床下の柱や梁をノコギリで切断していく。モルタルの壁や階下の家財道具が目茶苦茶に埋まっている。

一階の部分に到着したと思えるころからは、遺体があるかもしれないことから、出来る限り手作業で瓦礫を取り除いていった。

二時間くらい経ったころ、瓦礫の中からかすかな気配が感じられた。

「人がいる！」——はやる気持ちで瓦礫を取り除いていく。かすかな生命への希望を抱いて作業を進める。「小隊長、鳩です。まだ生きています」。

我々が感じた気配は、鳥カゴに入った二羽の白い鳩であった。隊員の声にはこの瓦礫の中に生存者がいるかもしれない、いや、生きていくという気持ちで込められている。

それから数十分後、瓦礫の中に倒れてきた天井の梁を手で支えるように体を起こして座ったままの姿勢でいる男性を発見。その足元に横たわっているように倒れている婦人の姿があった。二人ともすでに息絶えている。

隣の部屋を掘っていた隊員から一報が入る。すでにランドセルや玩具、勉強道具、百点満点をとったテストの答案用紙などが見つかった。

「膝が見えました」：瓦礫を取り除くと子供の肩の部分であることがわかった。

兄弟二人の姿があった。弟の方はお兄ちゃんの左腕に掴まるように寄り添った姿で横たわっている。「せめてきれいな顔にしてやろう」。隊員が、持っていたタオルで兄弟の顔を拭いてや

り、一家四人の体は温かい毛布に包まれた。

「生きていてくれ」。この願いがむなしく打ち砕かれた時の無力感は、我々の胸に一生残されていくであろう身内の一人が言った。「せめて鳩だけでも自由に空を飛ばしてやろう」。

瓦礫の中で生きていた二羽の鳩を鳥カゴから出してやったが、なかなか空に向かって飛んで行かない。きつと、いまままで可愛がってくれた家族に最後のお別れをしているんだろう。

茨城県警察機動隊

鈴木 道夫

平成七年一月十七日午前五時四十分、近畿地方を直下型地震が襲った。私がこの大地震の一報を聞いたのは、十七日早朝で、当初の報道する内容からは、死者が五千人を超す大惨事に発展するとは思ひもなかった。

刻一刻と変わる状況の中、我々にも出動命令が下り、一月十九日深夜、兵庫県へと向かった。被災地に近づくにつれ、辺りの様子は一変し、道路は寸断、家屋は崩壊等とすさまじい惨状であった。

拠点である兵庫県西宮球場で当小隊は、行方不明者の捜索という任務付与を受け、分担区域の捜索に当たることになった。

捜索活動は、第一に「人命救助」をかがけ、中隊長以下一丸となって開始した。捜索は、予想されたとおり困難を極め、隊員の中には倒壊された家屋の中に入り、ワッペンや顔まで真っ黒にし、危険を顧みず捜索をする者等、その奮闘ぶりには、頭が下がる思いであった。

被災者の中には、「命が助かっただけでも感謝しなければ」と等と、涙を浮かべながら話す人もおり、捜索にも一層の力が入った。

現場での警備も一段落し、初期の目的を達成し、帰路についたわけであるが、今回の警備を通じて、多くの教訓を得ることができた。

諺に、「平常時に兵を養いて非常時に備えよ」とあったのを思い起こすが、幹部として、平常時から、この種警備等を念頭においた危機管理に努めなければと痛感した出動であった。

神奈川警察機動隊

木原信一郎

平成七年一月十九日午前五時三十分、我々は被災者の待つ兵庫県に向け出発した。

報道を通して、悲惨な状況を知っているせいか、移動中の車内は静まり返り、皆沈黙を守っている。部隊車両の赤色灯が川の流れるように光っているのがやけに物悲しく感じられた。

兵庫県入りした我々を待ち受けていたのは、倒壊した民家、横倒しになった高速道路など、廃墟と化した街並みであり、この光景を目の当たりにし、しばし茫然とさせられたのである。

給水車を列をなす被災者、避難所に集まる大勢の人々、我々が続々と現地入りする様子を涙ながらに見送る老人の姿……。私は自然に目頭が熱くなるのを覚えるとともに、「期待に応えるため、頑張らなければならぬ」と、全隊員が決意を新たにしたのであった。

神戸市内での我々の活動は、「倒壊家屋における生存者の捜索」、「緊急車両等輸送ルートの確保」、「治安維持目的の夜間警ら」等、重要な任務を帯び、全員が不眠不休、かつ危険と隣り合わせの連続であったが、被災者の心中を察し、神戸復興の一翼を担っているという気概が、氣力を奮いたさせてくれた。

厳しい勤務も一週間を過ぎ、隊員がいつの間にか身につけた「関西訛り」で、道行く人々と明るく会話を交わす一コマが私の心を和ませてくれた。

一日も早く人々に笑顔が戻ることを祈りつつ、「必要とあらば何時でも呼んでほしい」という思いを胸に、少しづつではあるが、確実に街の活気を取り戻しつつある神戸の街をあとにした。

愛知県警察機動隊

島田 明夫

その光景は、まるで特撮映画のセットを見るようであった。

まるで、何かに踏み潰されたように跡形もない木造家屋、ドミノ倒しにでもあったかのような巨大ビル群や、ずたずたに寸断された高速道路網に、鉄道。そして、炎にのまれ、焼きつくされ廃墟となった街。

平成七年一月十七日午前五時四十六分発生した「兵庫県南部地震」は、阪神地方に壊滅的な被害をもたらした。

十九日早朝からの兵庫県への派遣となったが、助けを求める人々の声は、災害現場に急行する我ら「愛知県警察機動隊」の「誇りと使命感」を奮い立たせた。

兵庫県西宮市仁川地区。ふだんは静かなこの町も、地震によって発生したと思われる土砂崩れによって、辺りの風景は一変していた。

「まだ二軒が埋まっているらしい」「あきらめるな。まだ生存者がいるかもしれないぞ」。隊長の檄が飛ぶ。行方不明者の親族らしき老人が、一人、悲痛な面持ちで私達の救出活動を見守った。

「何とかしてやりたい。発見はまだか」。ショベルを握る隊員の手にも力が入る。「無事でいて欲しい」との願いも虚しく六名のご遺体を収容する結果に終わった。

今回の派遣は、未だ余震の続く困難な状況下での捜索、救出活動ではあったが、多くの被災者の信頼と期待に応える為、「誇りと使命感」を強く心に

刻み、任務を完遂することができた。「我ら機動隊がやらねば誰がやる」機動隊が最後の砦なのだ。

大阪府警察機動隊

久保 優二

当日は、早朝から別件の警備出動が予定されており、地震の恐怖におののく妻子を残し、第一機動隊に車で出動した。途中、停電で信号機が消えている程度であり、車内ラジオでも大きな被害は伝えておらず、常日頃と同じ気持ちの出動であった。

しかし、隊に出動すると同時に、中隊長の「兵庫県下出動」の声が室内に響きわたる、その被害の大きさを知って驚くと同時に、直ちに救援部隊の一員として兵庫県下に出動した。

現場での任務は、「倒壊家屋からの被災者の救出」である。付近住民からの聞き込みにより発掘作業を開始。手作業で廃材を運び出す。エンジンカタターの音が響く。このような作業が連日続き、隊員にも疲労と焦りの色が見え始めたその時、「生存者あり！」と甲高い一報が入った。

直ちに帯同していたレスキュー車の派遣要請を行うとともに、現場に急行した。隊員の顔に緊張と焦りが見えたが、全員がよく連携した結果、ものの十分足らずで、倒壊家屋内から顔面真つ黒な男性を、無事救出した。地震発生から、実に五十六時間ぶりのことであつた。

しかし、救急車を要請するいとまがない。一刻も早く病院へと判断し、機動隊の車両で病院へ搬送した。看護婦がガーゼで顔を拭くと、すすが取れ、普通の顔色に戻った初老の男性がひと言、「水が飲みたい」とつぶやく。この言葉は今でも私の脳裏に焼きついてる。

今回の災害警備は、私自身にとって貴重な体験となり、また、災害救助の難しさを痛感するに至った。

私は、この経験を今後の訓練に大いに生かすべく、日々努力していこうと思う。

高知県警察機動隊

久保 雅資

高知県警察機動隊（県機及び管機）が、高知を出発して約四時間後、間もなく「淡路島」へ到着しようとしていた時、災害救助場所が淡路島「州本」から西宮市に変更されたのです。急遽、淡路島津名港にて甲子園フェリーに乗り、西宮港に向かいました。フェリーが淡路島を出港する頃には、あたりは真つ暗となりましたが、フェリーの進行方向である神戸方面からは、真つ赤な炎がたちのぼっているのが見えました。

西宮市内に入り、亀裂の入った道路や、至る所で倒れたり、焼けたりしている家屋やビルまた高速道が落下している現場を見ると、改めて被害の大きさに驚きました。また、三日後、神戸市長田区に転進し、一面の焼け野原を見ると、戦災写真を連想させられました。

高知県警察機動隊は、地震が発生した一月十七日から一月二十二日まで六日間にわたり、捜索救助活動にあたつた結果、遺骨を含め十三体を発見、収容しました。

救助活動を通じて、都市部における直下型大地震の恐ろしさを感じると共に、子供を亡くした人、親を亡くした人、幸運にも命は取りとめたものの一瞬にして財産の全てを失った人等、被災した人達に接し、言葉では言い尽くせない悲惨な気持ちがありました。

残念ながら生存者の救出は出来ませんでした。倒壊家屋の中から遺体を収容すると、家族や関係者の皆さんから丁寧なお礼の言葉が返ってきました。

今回の貴重な体験を生かし、突発、重大事案の発生に際し、いかなる困難な事態にも対応できる、精強な部隊を目指して今後も訓練に励む覚悟です。

誇りと伝統	栄光の機動隊	岡部	栗田工業	高周波熱錬	三栄商会	スチールセンター	日鐵流通センター	ツツミ金属	村山鋼材	木村政次	黒田一	高島浩一	国見山	谷本鐵鋼	明鋼材	岡谷鋼機	日鐵物流	丸定産業	南部建材工業	中條鋼材	北越メタル	東北
(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)	(株)

読者の広場

木の匂い

鵜川 渉
(理事・東京本部)

先頃、ある会社を訪ねた折りのこと。正門を入ると、植え込みを囲むロータリーになっていて、車寄せから張り出し玄関に至る。アプローチからして昔懐かしいたたずまい。木造の二階建てで古びてはいるが、手入れが行き届いている感じで、羽目や柱など黒光りして見える。古い木造建築によくある一種独特の匂いもする。

門をくぐったときから心惹かれるものがあつたが、玄関を入った瞬間、何かはつとずるものを感じた。懐かし、心ならずも思いがした。最近はどこへ行ってもガラスと金属とプラスチックやコンクリートのピカピカのビルばかりで、こんな様式の建物にはめつたに目にかかれない。

もう十何年か昔だったら、感じ方も違っていたかも知れない。古臭さばかりが目について、「いい加減に建て替えればいいのに」ぐらいのことは思っていたであらう。

こうしたものによさを感じるのには、もつぱら歳から来る懐古趣味かと思つていたら、同行者も「こういうのいいですね」という。若い人なのである年齢にかかわらず共感する何かがあるのかもしれない。

戦後五十年、得たものはまことに多いが、失ったものも多い。近頃、古いものを見直す動きがそこかしこで見ら

れる。かつては夢でしかなかった贅沢な暮らしが庶民レベルでも日常的になつてすでに久しく、人々の求めるものはようやく変わろうとしているのであらうか。

長引く不況の中で閉塞感が募っているようであるが、不況対策は心の問題でもある。いつまでも同じ尺度で感じたり、ものごとを測り続けるかぎり、行き詰まり感は避けられない。

木の匂いのする古い建物の中で、ふと心をかすめたささやかな感想にすぎなかったが、思い返すと、近頃貴重な体験だつたようにも思えるのである。

共同溝について

西野 公庸
(理事・大阪支部)

兵庫県南部地震が一月十七日未明に勃発し、死者五千人以上と報道されております。私の家は宝塚の高台にありまして今までにない横揺れとすごい上下動を感じました。停電の中すこしたつて窓を開けると、目下西の方西宮・神戸方面に炎と煙が上がり、夜明け前の薄明かりの中で不気味な雰囲気でした。時々余震の中これは大変なことになったとすぐに戦の日のことが頭を横切りました。

直後から機動隊の皆様には大変なお力添をいただいて、生き埋めになった方の救助をはじめ親身になった活動を繰り広げられました事ににつきまして、紙上より厚くお礼申し上げます。また長い日時のご協力を衷心お願い申し上げます。

この様な時にすぐに問題になりますのは水・ガス・電気・電話のことです。都市居住人間の生活に欠かすことの出来ないライフラインと言われるこの四種の、破壊されてしまつて都市生活がストップしてしまうことです。以前から共同溝のことを再三関係先にお願ひしておりました。共同溝の中にこれらの電気・ガス・水・電話が収納されて

あるならば、共同溝から枝を出すことが可能ですので地震・火災によつて地上の物件が破壊されても直ちに復旧が可能です。今のままでは水道管・ガス管は地中に自由に引き込まれてまして、地震が起これば土地の液化化や地震のエネルギーによつてこれらの配管が用をなさなくなることは今回の地震だけでなく今までも何回も経験していることです。

又電柱・電線・電話線については前回にも申しましたが、都市の美観を壊している最大のものですし、今回のこととTV等を見て下さることで理解いただけてますがトランス・電柱等大変危険です。これらのものも今後必要な光ファイバーも含め、共同溝を作れば一挙に問題解決の方向に向かうと考えられますが、英知を集めて難問題を解決したいと考えている一人です。

共同溝をつくることは大変高額のお金が必要です。料あたり二〜三十億から五十億ぐらいかかりますが、共同溝を作つてしつかりした都市基盤と言う位置づけを確立させればそれなりの国民の財産になります。どうかお金がかつても安全な国民生活に寄与することはやるべきだと考えますが、如何ですか。二十世紀を生きた私等が水・電気・土地を汚して自分等のエゴだけに生きたとしたら、次の世代の人に一体何をプレゼント出来るのか本当に心配している一人です。

お知らせ



◎六月九日(金)午後五時より東京都港区元赤坂「明治記念館」において、通常総会を開催いたします。皆様たくさんのご参加をお待ち申し上げます。
電話〇三三四〇三一一七

兵庫県南部地震

戦慄の現場



▼早朝から夜間まで不休の活動



▲必要品だけを持って現場へ



はげまし

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144
発行人 鈴木 寛
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

阪神淡路大震災 復興への願いを込めて



二月十日には、婦人警官が被災地を巡回して困りごと相談を受ける「のじぎくパトロール隊」が発足し、避難所や仮設住宅で暮らす高齢者や身体障害者、病人などを中心に、生活上の悩みを聞いたり、防犯活動などを行っている。兵庫県警察を中心に他府県からの

応援を含め百五十人で活動中である。当会としても、災害発生直後に救援物資を贈るなど積極的な支援を心がけたが、前号の隊員からの特集でもあったように、現場での機動隊等の活動の厳しさは想像に難くない。しかし、自らの危険も省みず、身を挺しての救助

一月十七日に発生した兵庫県南部地震は、この三月で二か月を経過した。当初は三十二万人を超す市民が避難生活を余儀なくされた。しかし、日が経つにつれ避難者もそれぞれ新しい生活を歩みはじめ、一月下旬には序々に小・中学校などの避難所も閉鎖されていった。そんな中で、災害発生当初から全国から機動隊がかけつけ、がれきに埋もれた被災者の捜索、避難所付近の警備にあたった。状況が落ちついてくると崩れ落ちた家屋や避難所内での盗難が相次ぎ、現在では一日四千五百名の機動隊等が被災地の治安維持活動を中心に、夜間のパトロールや、緊急輸送車両の選別などの交通対策にあたっている。

活動には本当に頭の下がる思いで一杯になる。機動隊の活躍は新聞やテレビなどでは大きく報道されないが、今後ともわれわれの出来る限りの活動、声援を続け、「最後の砦 機動隊」の更なる活躍と、被災地の一日も早い復興を願い、今後の活動に結び付けていこうではありませんか。



◆のじぎく隊とは…
「のじぎく」とは、兵庫県の県花である。ワッペンデザインの、つばみゆ中咲き全開花の三段階表示になっている。これは復興の意味を示している。
(下図)
こんなところにも復興への祈りが込められている。

今月の言葉

今回の阪神大震災について政府の対応の悪さが批判されている。総理が地震についての最初の報告を受けたのが、発生後二時間後だという。批判されて当然である。初動が迅速であつたら、多くの人命が助けられたであろうと聞くと、やはり責任は重いと云わざるをえない。
だが待てよ、と別の声もする。筋道はそうかもしれないが、現実はその簡単ではない。
実は、その日、私は大阪のホテルに宿泊していた。翌日から大阪方面の需要家さんに、挨拶しようとしてかけていたのである。「だだーん」と感じ、十二階のフロアーは大きなベッドごと叩きつけられた。部屋においてあったテレビはとび、ガラスの花瓶は床にとんで壊れる。瞬間これは大きな地震だと思った。それでも、縦揺れに叩きつけられていたのは、後で聞けば二十秒か三十秒とのこと、時間的には短かった。自家発電が作動したのか電気はすぐついた。ラジオはダイヤルを廻したがうまく音が出ない。倒れているテレビの線をつないだら、うまく映った。関西で激震があつたことを伝えていた。震源地の洲本で震度七、神戸で六、大阪で五と報じていた。その後一時間位の報道ではNHKの屋上からみて、火災が二・三カ所発生していること、家屋の倒壊も若干見られること、人的災害も数十名の規模と報じていた。
その時点での私の判断は瞬間的には

危機の情報について

(副理事長・東京本部 佐々木喜朗)

強い地震であつたが、時間的に短かつたため大きな被害にはつながらなかった。部屋の窓から大阪の街をみても、火災の様子はない。道路の車も普通に走っている。大したことはない、がその時の判断であつた。
そのため、大阪の支店長から連絡の電話が入った時には、行ける所があつたら挨拶に行こうと話をし、事実二カ所挨拶に赴いたのである。相手先の認識もその時点では私と同じ程度のものではあつた。
危機管理の重要さがいわれている。私自身も生意気なことを云っているけれども、今回の地震に際しての最初の判断を誤つたのである。
何故誤つたのか。それは情報の不正確さと、解析能力のなさであつたと思う。自分の経験から、災害時の被害を最小限に抑えようとするためにも、危機管理のシステムを早急に整備してもらいたい。そのために次のことが重要であると思う。
第一 危機管理の責任者を明確にすること
第二 現場の生の情報が責任者に迅速に伝達されること
第三 専門家を配置して災害のための情報解析能力を常時保持すること
第四 危機の状況を認識できたなら直ちに対応策を実行すること
昨今の政治経済の当局の対応をみると、リーダー達に災害以外のことで本場の情報が入っているのかどうか疑問を感じざるをえないといった状況になるであろうか。



のじぎくワッペン

兵庫県南部地震

特別派遣を終えて

警視庁機動隊

戦後最大の惨事となった兵庫県南部地震から約三ヶ月。

現在も全国機動隊員の復興へ向けての必死の活動が続いている。

ひと足先に現地から戻った隊員の方々にその活動状況について伺った。

警視庁第一機動隊

成田 貢

阪神大震災に伴う特別派遣を下命されたのは、地震発生から三時間後のことであつた。竹下元首相の私邸警備に従事していた時、突然「緊急で自隊に戻り、レスキュー部隊に合流し、直ちに兵庫県へ向かえ」との連絡があつた。

西宮警察署に到着し、初めて任務を聞かされ、仁川百合野町で被災者の救出にあたることとなつた。

現場に向かう途中、道路には亀裂が入り、高速道路は横倒しになり、家屋は炎上倒壊しており、全てがパニック状態である。戦場のようであつた。一方、幹線道路は避難する車両で渋滞しており、緊急車両でさえ通行困難な状況であつた。現場は、炎上した家屋が土砂崩れにより土砂の下に埋まっている状況で、消防団と協力しながら必死の救助活動を展開した。三十名近い人が生き埋めになっているとの情報であつたが、発見されるのは焼死体ばかりで、「救助」という当初の任務を遂行できなかったことは、言葉に言い表せない悔しさで一杯であつた。

過去の経験をはるかに超えた今回の大地震の爪痕は惨状を極めていた。私はこの悔しさと経験を糧にし、もし

東京で発生したならば全力で被災者の救護と治安の維持に当たる決意を新たにするとともに、収容した遺体に合掌し、その冥福を祈った。

警視庁第二機動隊

根岸 実

死者五千四百人以上、倒壊家屋十萬九千戸以上の被害を出し、戦後最悪の災害となった兵庫県南部地震に伴い、第二機動隊長指揮の下、一月二十八日から兵庫県下に派遣された。

私たちはその中でも、特に被害が大きいと報道された神戸市長田区における集団パトロール等の活動に従事したが、実際に見た被害の状況は想像していた以上に、地震に伴って発生した火災により、一面焼野原となつている所もあり、かつて写真で見た戦時中の空爆による被害状況と同じ様な状態を呈していた。

また、火災による被害を免れた家屋も大きく傾いたり倒壊したりしており、連日の報道より一段と被害が大きく感じられ、極めて深刻な状況であつた。しかし、この厳しい状況の中に身を置きながらも、被災者からは「いつまでも泣いていられない」「地震なんかに負けてたまるか」といったような力強さと再建に立ち向かう息吹が感じられた。

私は、この派遣を通じて得た経験を貴重な教訓とし、起きてはならないことではあるが、「備えあれば憂いなし」の言葉通り、憂いのないよう、危機感を持って防災意識を高め、地震、火災の避難訓練等を行い、また有事の際、都民を守る警察官としてどう対処するか認識を改め、万全を期すよう日々努めていきたい。

警視庁第三機動隊

坂元 巖夫

「あつ生きてるぞー」と叫ぶ声とともに我々の顔に歓喜の色が蘇り、徹夜に及ぶ救出活動の疲れも一瞬にして消え去つた。そこは木造二階建てアパートで、

一階と二階の区別がつかないほど無残に倒壊し、空間というには余りにも狭く、家具や柱などに囲まれた「奇跡の隙間」での出来事でした。

地震発生直後、ヘリコプターで現地入り、直ちに西宮地区の倒壊現場で救出活動を開始し、夜中までに三名を発見しましたが残念ながら亡くなられていました。休む間もなく、次の現場に向かうと、「母親が生きて埋め込まれている。助けて下さい」との男の人の必死の訴えを受け、今にも崩れそうなる二階から進入し、慎重に掘り進んでいったところ、隙間から布団を発見した。

私が手を掛けようとした瞬間「ゴソゴソ」と動き、「生きてるぞー」と夢中で掘り起こし、救出したのです。

私はこの女性を救出できたことで、自分自身が救われた様な気分になり、息子さんが泣きながら喜んでる姿を見ると、自分の事の様に嬉しく感じました。

この特別派遣を通じて学んだ、地震の恐ろしさや自然に対する人間の無力さ、命の尊さなど、貴重な経験を忘れる事なく、これからの警察人生に生かしていきたいと思っています。

警視庁第四機動隊

秋山 和昭

平成七年一月十七日の朝、テレビの電源をつけると、とても日本とは思えない様な凄まじい映像が映し出されていた。そして十九日、私は警視庁機動隊救助隊員として兵庫県へ出発した。

活動場所は予想以上に凄まじいもので、鉄筋コンクリートのマンションが根元から倒れ、原形がほとんど残っていない瓦礫の山と化した現場など、どこから手をつけてよいのか分からないほどであつた。しかし、我々はまだ生存者が残っているという希望を捨てることなく活動が続けた。いつ崩れるかわからない倒壊した建物の隙間に入り、瓦礫を手作業で搬出、柱や鉄筋などはチェーンソー、エンジンカッター等の資材を活用し、建物が崩れ

落ちないよう、細心の注意をして切斷していった。地震があつたのは、ほとんどの人がまだ寝ていた時間だったというところから、布団が見えてくると皆の顔に緊張が走つたが、そこには私たちの望みも虚しく、変わりはた姿になった遺体が横たわつていた。土やほこりまみれの遺体の顔を水筒の水で濡らしたタオルで丁寧に拭き、遺族の待つ所まで搬送するという活動が続いた。

八日間の派遣を終えた今、忘れられないのは、生存者を救出できなかった悔しさと遺族の方々の悲しみの顔です。

私は今後の活動において、地震災害の恐ろしさを忘れないとともに、災害で亡くなった方の死を決して無駄にしないよう、防災の大切さを都民に広報し、常に訓練を重ねていきたいと思っています。

警視庁第五機動隊

武田 易美

一月十七日我々五機レスキュー隊員を乗せた車は緊急で東京へリポートへ向かった。

ヘリポートには報道関係者多数が取材のため集まつており、慌ただしくうごきまわる隊員にカメラが向けられる。刻々と被害状況が入り、周囲が異常な興奮に包まれる中、隊員約八十名を乗せたヘリコプターは一路、神戸へと飛び立った。

被災地で我々を待ち受けていたのは、地獄絵図を思わせる現場であつた。活動現場は、阪急伊丹駅、西宮市内の崩壊家屋及び土砂崩れ現場であり、遺体収容が主な活動内容であつた。

特に、土砂が一瞬にして約四十名の命を奪った仁川の土砂崩れ現場は凄惨を極め、スコップで土砂を排除していくと、両親が子供を庇うようにして亡くなっていく姿や、幸せそうに写っている写真やアルバムが発見され、体がブルブルと震えるような悲しみがこみ上げてくるのを抑えることができなかった。

第一次派遣は四日間という短い期間でしたが、不眠不休、かつ常に危険を伴う

難しい捜索活動において、怪我人が一人も出なかったことは、「訓練の成果」と思っております。これからも、「有事に備え」多様な災害現場を想定し、訓練に励んでいくとともに、亡くなられた方の冥福をお祈りいたします。

警視庁第六機動隊

山下 憲一

休日の朝、何気なくつけたテレビに破壊された町並み、凄まじい光景が映し出されている。「映画か」「どこの国なんだろう」次の瞬間、現実を知って愕然とする。翌日、レスキュー部隊出動命令。

東京から十六時間余、実際に目のあたりにした光景はテレビで見るとより大きな衝撃で、地震の大きさを物語つていた。ラジオからは救援物資の呼び掛けや「死者不明者〇〇名、倒壊家屋〇〇棟」といった情報が刻々と流れてくる。

地震発生から三日目、西宮市の土砂崩れ現場で、私は不明者の捜索にあたつていた。土砂の下からはまだ煙が立ち上り炎が燃り続けている。「生存者は必ずいる。どこかで助けを求めているのだ」。

はやる気持ちを抑えて作業を進めるが、発見される居住者は変わりにはた姿ばかり。「さぞ苦しい思いをしたのだろう」と胸が締めつけられる思いがした。

翌日は灘区、そして長田区へと転進命令が入る。テレビで見た高速道路の横倒れ、原爆でも落ちたかと思われるような家屋の倒壊。しかし、驚いてばかりいられない。任務遂行に自然と力が入る。

日が増すにつれ疲労もたまが、被災者に比べれば……と自らに言い聞かせ続けて派遣の八日間もあつたという間に過ぎた。この街が一日も早く復興し、活気を取り戻すことを心から願わずにはいられない。

警視庁第七機動隊

片岡 健吾

神戸で生まれ育ち、実家が西宮市にある私にとって今回の兵庫県南部地震は、

誇り と伝 統	輝 けり 機 動 隊	鈴木 實	愛知産業 (株)	高周波熱錬 (株)	山陽特殊製鋼 (株)	次郎丸嘉介	小川運輸 (株)	姫田清美	橋本尚吾	村上益一	(株)テクノ・タジマ	豊田通商 (株)	宮崎精鋼 (株)	三和鉄構建設 (株)	藤田金属 (株)	金森藤平商事 (株)	自見産業 (株)	ブルマン (株)	北海鋼機 (株)	東 北 支 部
---------------	------------------------	------	----------	-----------	------------	-------	----------	------	------	------	------------	----------	----------	------------	----------	------------	----------	----------	----------	---------

(社) 機 動 隊 員 等 を 励 ま す 会

読者の広場

阪神大震災

小林 直樹
(理事・名古屋支部)

今まで見聞きしたことのない大震災の有り様がテレビや新聞などで報道された。私の知人も神戸におられ大震災に遭遇され大変な経験をされた。亡くなられた人も伊勢湾台風の時よりも多く、助かった人々の物的被害や心労はとうてい筆舌につくせないものである。心からお見舞い申し上げる次第である。

第二次世界大戦終了直後も似たようなものではなかったかと想像しているが、年輩の人以外はまさに生まれて初めて経験であろう。

厳寒時の避難所生活はもとより、今後の生活がどうなるか、会社は存続しているのかなど極度の肉体的、精神的な圧迫感に想像に絶するものがある。もし私が遭遇していたら、この圧迫感にどれだけ耐えていけるだろうか。生来こらえ性があまりない私なので気が狂ってしまうのではなからうかと思ふ。

復興のために機動隊、自衛隊の方々がすぐ駆けつけて日夜活動されており、まことに苦勞なことだと思つて、非常にありがたい事だと思つている。こういった活動に対しマスコミや世間の一部の人は対応の仕方がまずい、何故もっと早く活動できなかったのかなど批判がでているが、これは当を得ていないと思つている。たしかに全体

の統括指揮の点で効率よく事が運ばなかったことはあったにしても、当事者の御努力は並大抵なものではなかった。これだけの震災が出て、即座に完璧な対応がとれる人や機関があるだろうか。ある程度のことは誰でもやっているのだが今回の震災は今までの尺度では計れなかったのではなからうか。世間一般事でも予期していなかったこと、計算できなかったことが必ず出てくるものである。

私も会社の中で労働災害絶滅についていつもみんなに口うるさく言っているが、怪我は思わぬ場所、予期せぬ時に発生するものである。大昔に苦い経験をすることがある。

ともあれ、今回の大震災で会社で常時大量に使用している資材の供給元が阪神地区にあり、被害にあわれたためこちらは大いにあわててしまった。幸い被害は少なく済み大事に至らなかったが、これを教訓にして資材や機械部品などいざという時のことを十分考慮した対応策をすぐ講じるように指示をしている。

この二十年

滋岡 長平
(東京本部)

昨年の五月二十七日、一九七〇年にノーベル文学賞を受け、一九七四年初めソ連邦から体制批判者として追放された、ソルジェニチンが、二十年振りに米國からウラジボストクに帰國したとの報道がなされた。そのニュースは私に取って、初めてのヨーロッパ訪問の記憶をまざまざと呼びさした。

一九七四年、六月のある朝、私達を乗せたスイスエア機は、朝露の白樺林を掠めてデュッセルドルフ空港に着陸した。高校生の時から四十年來憧れていたヨーロッパの大地に降り立つた感慨は強烈であった。鋼線関係の経営者を集めたツアーであったから、ドイツの鉄鋼取引の中心、デュッセルに三泊

その間、鍛冶と線引の博物館のあるアルテナの古城を訪れた後、チューリッヒに飛んだ。此処で約一週間滞在し、ラインの上流に面したバーゼルで催されて居る世界ワイヤ博に毎日バスで通うこととなった。

チューリッヒは湖を囲む風光明媚で、落着いた町であり、小じんまりとしたホテルも清潔であった。フロントを預かるマネージャーは七年前にプラハの動乱で脱出、亡命した小肥りで愛想の良い男であった。湖畔にシックなオペラハウスがあり、折よく連夜「白鳥の湖」が上演されて居り、一夜、ギヤラリー席を求めて見物した。座付の主役は年配だが有名な人らしく、「騎兵の踊」のトリオは日本の青年達であった。幕間にはミンヘンから来て居た邦人と雑談したりした。

我々一行の世話にアルバイトで来て居る、チューリッヒ大学工科の留學生M君は、私と同じ関西出身で特に親しくなり、街に出て夕食にフオンデューやポトフのスイス料理をつき合う仲となった。チューリッヒ大学は、既に七人のノーベル賞受賞者を出して居ると彼は誇らかに云う。その彼が、スターリンとソ連の体制を批判して追放されたソルジェニチンが、西独からチューリッヒに移り住んで、毎日定った時間に湖畔を散歩して居り、友人達と待ち受けて二度ばかり有益な話を聞いた由。よければ私を案内しようと言ってくれた。

当時私も、ソ連の体制や政策に嫌悪感を持つ一人であったが、彼の因人としての体験を書いた「イワン・デニソヴィチの一日」の外、二、三の短編を走り讀みた程度であり、言葉に自信もなかったのだ。辞退する事とした。約十年を経て、一九八五年、ペレストロイカを掲げたゴルバチョフは九〇年に大統領となったが、ソ連邦は解体に向かい、自らも失脚、八九年にはベルリンの壁が崩れて、東西ドイツは統一され、東欧諸國もソ連の支配を離れる。然も旧共産黨の政治、経済秩序の

再建は容易ではない。

五月末、帰國したソルジェニチンは、祖國の復興を標榜してシベリアを遊説し、モスコオに居を定めたと言が、既に過去の人にして老齡、混沌を収める神通力などは無いと評されて居る。また東西の冷戦は一応収まった形であるが、中欧、中近東、アフリカ、それにアジアの諸地域に於ける紛争はおさまらず、飢饉と環境問題は地球規模で進行し、正に人類が背負う宿業の深さと思わざるを得ない。

さて、チューリッヒでM君と別れた日、彼は内ポケットから恋人の寫眞を数葉取り出して私に見せてくれた。何と、彼女は人気女優のR・S嬢であった。

水上バイク隊発進

岐阜県は海なし県ではあるが、宝暦の大治水工事の舞台となつた長良・揖斐・木曾の三大河川を有しており、過去に幾度かの氾濫をまねき災害出動事案が発生し、また近年のアウトドアレジャーの拡大により水上事故も多発傾向にある。

そこで岐阜県警では、より迅速に、よりスマートな警戒警備にあたるべく、水上バイク四台を新規導入し、水上バイク隊を発足させた。

訓練にあつては、スラローム・旋回・急転回はもちろん、いかに素早く事故現場に到着し目的を達成することができるといった実戦さながらの厳しい訓練を実施している。

訓練当初は、バイクから降り出し、川に飛び込む隊員もおり、この暴れん坊達（水上バイク）に四苦八苦していたが、連日の訓練によ



私は心から彼を祝福し激励した。その後絶えて彼と会う機会に恵まれなかったが、M君は就職し、程なく彼女と結婚し、実業人としても成功、子宝に恵まれて幸福な家庭を築き上げて居る事を数年前、雑誌記事で讀み、蔭ながら喜んで居る。

そして私はと云えば、この二十年の約半分は企業経営に追われた後引退し、残り半分を碌々として、毎日が日曜日の如き余生を送つて居る。晴耕雨讀などと稱しても耕すべき土地も無く、庭の掃除と、雑書を拾ひ讀みする位であるが、たまさか語り部の翁を真似て、かかる駄文を綴つたりして居る。

岐阜県警察機動隊

りみるみる上達し、競技会に出ても引けをとらないほどのプロ集団が誕生した。

「責任と自覚が支える万全警備」をモットーとし、俊敏性と機動力を兼ね備えた水上バイク隊発足を機に、よりいっそうの水上警備の万全に努めたい。

お知らせ

◎五月二十日(火)警視庁機動隊観閲式が行われま

場所 東京都明治神宮外苑 絵画館前
時間 午前七時より
荒天の場合は、六月六日(火)に順延となります。

参加ご希望の方は、五月十日(木)までに事務局まで連絡をお願いします。

◎六月一日(木)午後五時より、東京都港区元赤坂「明治記念館」において、第二十二回通常総会を開催します。

※当初予定の六月九日(火)が変更になりましたのでお間違いないようお願いします。

電話 〇三三四・〇三三・一一七一
皆様たくさんの方の参加をお待ち申し上げます。